横須賀美術館

年報 ANNUAL REPORT YOKOSUKA MUSEUM OF ART

令和３年度版［2021.4.1-2022.3.31］

横須賀美術館

年報 ANNUAL REPORT YOKOSUKA MUSEUM OF ART

令和３年度版［2021.4.1-2022.3.31］

目　　次

1 事 業

1-1 展覧会事業…… 5
　1　企画展
　2　所蔵品展
　3　谷内六郎館
1-2 教育普及事業 …… 44
　1　展覧会関連の教育普及事業
　2　単独開催の教育普及事業
　3　学校との連携
　4　ボランティアの活動
　5　託児サービス
1-3 広報関連事業…… 56

2 刊行物

2-1 出版物…… 57
2-2 配布物…… 58

3 調査・研究活動

3-1 論文等…… 60

4 収集・管理

4-1 作品収集…… 61
4-2 保存・修復 …… 62
　1　保存
　2　修復・額装
4-3 作品の貸出…… 63

5 図書室

5-1 図書室…… 64
　1　所蔵資料数
　2　利用統計

6 記 録

6-1 組織…… 65
　1　外部組織
　2　委員会の開催記録
　3　職員等
6-2 開館日数・観覧者数 …… 66
6-3 歳入・歳出 …… 66
　1　歳入
　2　歳出

7 資 料

7-1 条例等…… 67
　1　美術館条例
　2　美術館条例施行規則
　3　美術館運営評価委員会条例
　4　美術館美術品評価委員会条例

8 紀 要

8-1 横須賀美術館における
　新型コロナウイルス感染症対応記録 …… 73
8-2「コロナ禍」と横須賀美術館2
　教育普及事業の実施状況を中心に …… 74
　冨田康子
8-3 ふるさと納税を活用した美術作品
　購入の取り組み …… 83
　工藤香澄

1 事業

1-1 展覧会事業

横須賀美術館令和3年度展覧会事業は、下記一覧のとおりである。
なお、P.6以降に各展覧会の概要を掲載する。
1-1-1 企画展（P.6）、1-1-2 所蔵品展（P.18）、1-1-3 谷内六郎館（P.38）
＊開催日数は休館日を除く。
＊臨時休館：8月23日㈪～ 9月30日㈭［新型コロナウイルス感染拡大防止のため］

1-1-1 企画展

名　　称	会　　期	開催日数	観覧者数（人）	一日平均（人/日）
「糸で描く物語　刺繍と、絵と、ファッションと。」展	2021年4月24日㈯～ 6月27日㈰	63	18,010	285.9
「みみをすますように　酒井駒子」展	2021年7月10日㈯～ 9月5日㈰	43	14,383	334.5
ビジュツカンノススメ アートを楽しむ4つのヒント	2021年9月18日㈯～ 11月7日㈰	36	10,967	304.6
くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展	2021年11月20日㈯～ 12月26日㈰	36	9,514	264.3
第74回児童生徒造形作品展	2022年1月13日㈭～ 1月31日㈪	19	12,979	683.1
ミロコマチコ いきものたちはわたしのかがみ	2022年2月11日（金・祝）～ 4月10日㈰	57	21,449	376.3

＊観覧者数は企画展会期中の発券数
＊8月23日㈪～ 9月30日㈭は臨時休館

1-1-2 所蔵品展

名　　称	会　　期	開催日数	観覧者数（人）	一日平均（人/日）
第1期所蔵品展 特集　第32回全国「みどりの愛護」のつどい 開催記念　特集　みどり輝く	2021年4月10日㈯～ 7月11日㈰	90	18,344	203.8
第2期所蔵品展 特集　いきものたちの情景	2021年7月17日㈯～ 9月19日㈰	36	11,516	319.9
第3期所蔵品展 生誕100年 谷内六郎展 いつまで見ててもつきない夢	2021年9月25日㈯～ 12月12日㈰	70	19,030	271.9
第４期所蔵品展 特集　横須賀市立横須賀総合高校　美術活動の歩み 特別展示　令和2年度　横須賀市新指定　重要文化財	2021年12月18日㈯～ 2022年4月3日㈰	99	16,320	164.8

＊8月23日㈪～ 9月30日㈭は臨時休館

1-1-3 谷内六郎館

名　　称	会　　期	開催日数	観覧者数（人）	一日平均（人/日）
谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 第32回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念 「みどりのちから」	2021年4月10日㈯～ 7月11日㈰	90	9,933	110.4
谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 鳥のいる風景	2021年7月17日㈯～ 9月19日㈰	36	5,317	147.7
改修工事のため休館	2021年9月20日（月・祝）～ 12月17日㈮	0	0	0
谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 谷内六郎にみる“雪月花”	2021年12月18日㈯～ 2022年4月3日㈰	99	11,006	111.2

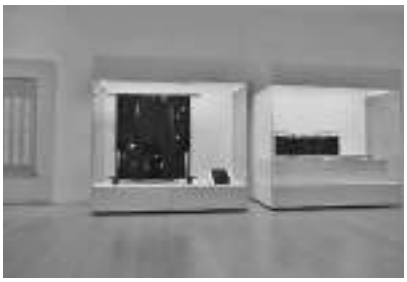
＊8月23日㈪～ 9月30日㈭は臨時休館

展覧会名

糸で描く物語　刺繍と、絵と、ファッションと。

会　　期	2021年4月24日㈯～ 6月27日㈰　開催日数63日間（休館日を除く）	
休 館 日	5月10日㈪、6月7日㈪	
観 覧 料	一般1,100円／高大生・65歳以上900円	
主　　催	横須賀美術館	
後　　援	スロヴァキア共和国大使館、在日ルーマニア大使館、カナダ大使館	
協　　力	スロヴァキア民族芸術制作センター、北海道立北方民族博物館	
企画協力	株式会社イデッフ	
事業概要	手で一針一針、縫い進めていく「刺繍」。糸や布などから生まれる多彩な表情に加え、制作に注ぎ込まれた時間や、作り手の身体性までもが一体となった濃密な表現技法です。 本展は、この刺繍に注目し、その魅力を幅広い分野の作品約を通してご紹介するものです。中・東欧の民族衣装、イヌイットの壁掛け、フランスのオートクチュール刺繍から現代の絵本原画やイラスト、アートなど、さまざまな分野を横断しながら、時代や地域を越えて今なお私たちの心を捉える刺繍の魅力を探ります。	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	18,010	285.9
主な展覧会評等	・下野綾「伝わる手仕事の温かみ」神奈川新聞文化欄、5月10日朝刊 ・「Marie　Claire」WEB版「刺繍になぜ魅せられるのか？　その理由を横須賀で考える」、6月8日配信	
印 刷 物	図録	
	内容	ごあいさつ 目次 第1章　刺繍と民俗衣装 第2章　イヌイットの壁掛け 第3章　刺繍と絵 第4章　刺繍とファッション 谷崎聖子「トランシルヴァニアの装いとしつらえの文化」 柴田勢津子「スロヴァキア民俗芸術制作センターとその活動」 笹倉いる美「岩崎コレクションとイヌイットの布絵」 樹田紅陽インタビュー／小林モー子インタビュー／蝸牛あやインタビュー 出展作家略歴（第3章） 柴田勢津子「メゾン・ヴェルモンの刺繍コレクションと制作」 刺繍の技法 作品リスト
	版型／ページ数	A4判/120ページ
	価格（税込）	2,200円
	製作	執筆：谷崎聖子、笹倉いる美（北海道立北方民族博物館学芸員）、 冨田康子（横須賀美術館）、柴田勢津子（株式会社イデッフ） 翻訳：山本仁志 編集：冨田康子（横須賀美術館）、立浪佐和子（横須賀美術館）、 柴田勢津子（株式会社イデッフ） アートディレクター：柿木原政宏（株式会社10）、西川友美（株式会社10） デザイナー：内堀結友（株式会社10） 印刷：株式会社気生堂印刷所 発行：株式会社イデッフ
	その他	
	ポスター	B2判　950枚／ B1判　45枚／ A3判　450枚
	チラシ	A4判　30,000枚
	チケット	一般　15,000枚／高大生・65歳以上　10,000枚／無料　12,000枚
	DMハガキ	1,000枚
	製作	株式会社気生堂印刷所

展示風景



印 刷 物

B1ポスター

B2ポスター

A4チラシ（表）

A4チラシ（裏）

DMハガキ

チケット

展覧会名

みみをすますように　酒井駒子

会　　期	2021年7月10日㈯～ 9月5日㈰　開催日数43日間（休館日を除く）	
休 館 日	8月2日㈪　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館　8月23日㈪～ 9月5日㈰	
観 覧 料	一般1,100円／高大生・65歳以上900円	
主　　催	横須賀美術館	
企画協力	ブルーシープ株式会社	
巡 回 館	PLAY! MUSEUM（2021年4月10日～ 7月4日、2021年9月18日～ 11月14日）、長島美術館（2021年12月11日～ 2022年1月30日）	
事業概要	『よるくま』『金曜日の砂糖ちゃん』（いずれも偕成社）などで知られる絵本作家・酒井駒子は、静謐さをたたえた美しい絵と詩的な文との響き合いにより、これまでも多くの人々を魅了してきました。ブラティスラヴァ世界絵本原画展での金牌受賞、オランダでの「銀の石筆賞」受賞など、海外でも高い評価を得ています。本展は、酒井駒子初となる本格的な個展です。これまでに刊行された20冊を超す絵本を中心に、約250点の原画を厳選。原画は、画用紙や段ボールに黒い絵具を下塗りした上に色が配され、少女や動物たちがひそやかに描かれています。 会場では「ある日」「ひみつ」「こみち」などの6つのエリアを分け、特製の額やケースに収められた原画と、物語や文の断片をめぐっていきます。また、酒井が制作を行う山のアトリエ周辺の映像や音、小さなおもちゃやオブジェを配します。 散歩するように、ゆっくりと歩きながら、時に立ち止まりながら。耳をすますように絵とことばに出会う、新しい体験を提供する展覧会です。	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	14,383	334.5
主な展覧会評等	・「五感で楽しむ絵本の世界」神奈川新聞（2021.8.2）	
印 刷 物	図録	
	内容	はじめに 目次 序文にかえて　酒井駒子 よるくま／リコちゃんのおうち／よるくま　クリスマスのまえのよる／ぼく　おかあさんのこと…／金曜日の佐藤ちゃん／ロンパーちゃんとふうせん／赤い蝋燭と人魚／こりゃ　まてまて／きつねのかみさま／こうちゃん／ゆきが　やんだら／ビロードのうさぎ／ BとIとRとD ／くまとやまねこ／くさはら／はんなちゃんがめをさましたら／しろうさぎとりんごの木／七夜物語／まばたき／ヨルクルとひな／なきむしこぞう／すやすや　おやすみ／ねえさんといもうと／梨の子ペリーナ／森のノート 夢でもし会えたら　管啓次郎 作品リストと本の情報
	版型／ページ数	A5変形／422ページ
	価格（税込）	4,180円
	製作	編集：藤井瑶（cozfish）、森田藍子（ブルーシープ） 翻訳：管啓次郎 原画撮影：吉次史成 資料提供：有限会社エルイーイー デザイン：祖父江慎+藤井瑶（cozfish） 印刷：サンエムカラー 発行：ブルーシープ株式会社
	その他	
	ポスター	B2判　900枚
	チラシ	A4判　32,000枚
	チケット	一般　20,000枚／高大生・65歳以上　10,000枚／無料　10,000枚
	DMハガキ	1,000枚
	作品目録	1,000部
	製作	ニューカラー写真印刷株式会社

展示風景

印 刷 物

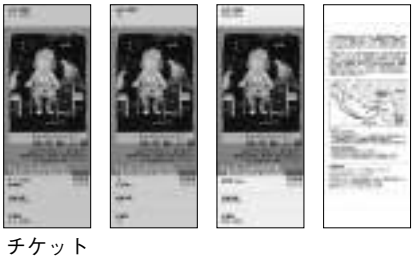
B1ポスター

B2ポスター

A4チラシ（表）

A4チラシ（裏）

DMハガキ


チケット

展覧会名

ビジュツカンノススメ　アートを楽しむ4つのヒント

会　　期	2021年9月18日(土)～11月7日(日)　開催日数36日間（休館日を除く）	
休 館 日	10月4日(月)、11月1日(月) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館　9月18日(土)～9月30日(木)	
観 覧 料	一般1,000円／高大生・65歳以上800円　※11月3日（火・祝）は無料観覧日	
主　　催	横須賀美術館	
事業概要	「ビジュツカンノススメ」展は、作品や、横須賀美術館について深く知るための「アトリエのひみつ」「絵画とブックデザイン」「作品のつくりかた」「美術館を探検」の4つのキーワードに沿ってコレクションも積極的に活用して構成した。油彩、日本画、ドローイング、グラフィック・デザイン、写真など19人（組）の作家による約100点を展示。 1章　アトリエのひみつ――洋画家・朝井閑右衛門の横須賀・田浦時代のアトリエを油彩、写真で探る 2章　絵画とブックデザイン――古賀春江や東郷青児など1920～30年代のモダニズム絵画や、書籍の装幀 3章　作品のつくりかた――日本画、油彩など現代作家の制作方法や画材、インタヴュー映像を公開 4章　美術館を探検――若林奮、高田安規子・政子、鈴木昭男による屋外彫刻や開閉館時のサウンド・ロゴ、グラフィックデザイナー廣村正彰のピクトグラムの紹介	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	10,967	304.6
主な展覧会評等	・工藤香澄「ビジュツカンノススメ　美術館の面白さって何だろう?」『新美術新聞』9月11日 ・「鑑賞楽しむ4つのヒント」『タウンニュース横須賀版』10月1日号 ・「横須賀在住の作家2人に聞く「見て、感じて」鑑賞のススメ」『タウンニュース横須賀版』10月22日号	
印 刷 物	図録	
	内容	ごあいさつ 1章アトリエのひみつ 2章　絵画とブックデザイン 3章　作品のつくりかた 　インタビュー　内田あぐり／浅見貴子／滝波重人／中川久／川田祐子 4章　美術館を探検 　インタビュー　高田安規子・政子／廣村正彰 作品リスト Commentaries on the Chapters 主要参考文献
	版型／ページ数	A5変形／96ページ
	価格（税込）	1,300円
	製作	編集・執筆：工藤香澄（横須賀美術館） 執筆：立浪佐和子、冨田康子（横須賀美術館） 翻訳：小川紀久子 イラストレーション：樋口たつ乃 印刷：ニューカラー写真印刷株式会社 発行：横須賀美術館
	その他	
	ポスター	B2判　950枚
	チラシ	A4判　40,000枚
	チケット	一般　15,000枚／高大生・65歳以上　10,000枚／無料　10,000枚
	DMハガキ	1,500枚
	作品目録	1,000部
	製作	ニューカラー写真印刷株式会社

展示風景

印 刷 物

B1ポスター

B2ポスター

A4チラシ（表）

A4チラシ（裏）

DMハガキ

チケット

展覧会名

くもんの子ども浮世絵コレクション　遊べる浮世絵展

会　　期	2021年11月20日㈯～12月26日㈰　開催日数36日間（休館日を除く）	
休 館 日	12月6日㈪	
観 覧 料	一般1,100円／高大生・65歳以上900円	
主　　催	横須賀美術館	
特別協力	公文教育研究会	
企画協力	青幻舎プロモーション	
事業概要	江戸時代の文化を生き生きと表現した浮世絵には、役者絵や美人画だけでなく、子どもが主役といえる作品が数多く存在します。公文教育研究会が子ども文化研究のために収集した史料約3200点のうち半数以上を占めるのは、子どもの生活を描いた「子ども絵」や親子の情愛を描いた風俗画や物語絵、子どもが鑑賞や遊びに用いる「おもちゃ絵」などの「子ども浮世絵」です。 本展では、くもんの子ども浮世絵コレクションから鈴木春信や喜多川歌麿、歌川広重、歌川国芳、歌川芳藤らの浮世絵、絵巻、屏風、絵本、貝合わせなど約170点を展示します。 江戸時代の子どもたちの生活の様子や当時の遊びを題材に、大人も子どもも楽しめる浮世絵の世界を是非ご覧ください。	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	9,514	264.3
主な展覧会評等	・「横須賀美術館　企画展『浮世絵』で触れる子どもの日常」（タウンニュース横須賀版No.749・11月19日号） ・「冬の美術館めぐり」（湘南よみうりVol.510・12月号）	
印 刷 物	図録	
	内容	はじめに ―「かつて子どもだった大人」と「リアルタイムの子ども」の皆さまへ― 目次 総論　藤澤紫「浮世絵にみる遊び心」 プロローグ　浮世絵と江戸文化 様々なジャンルに掛かれた子どもたち 美人画／役者絵／名所絵／武者絵／戯画／見立絵／風刺画／子ども絵／おもちゃ絵／横浜絵・開化絵／錦絵の技法と出版 コラム　登場人物の見分け方―浮世絵にみる髪型と衣装― 第1章　愛される子どもたち　江戸の暮らしと四季風俗 母と子、兄弟姉妹の情景／子どもと祭礼年中行事／子どもとおしゃれ／子どもは「子宝」／病とまじない 第2章　遊びと学び　子ども絵から知る江戸文化 子どもと遊び／子どもと学び／「生きもの」を愛でる／子どもと異国文化／文明開化と子どもたち 第3章　子どもと人気キャラクター　ヒーロー・妖怪大集合 子どものヒーロー／お伽噺の世界／妖怪大集合 第4章　遊べる浮世絵　おもちゃ絵の楽しみ 遊べるおもちゃ絵／「おもちゃ絵」芳藤／「判じ絵」「尽くし絵」国芳･重宣／「みんなで遊ぼう」 絵師略伝／絵師年表／作品リスト
	版型／ページ数	A5変形／ 232ページ
	価格（税込）	2,530円
	製作	編著者：藤澤紫、加藤陽介 発行：青幻舎プロモーション 印刷：株式会社ムーヴ
	その他	
	ポスター	B2判　900枚／ B1判　100枚
	チラシ	A4判　30,000枚
	子どもワークシート	A4判　1,000枚
	チケット	一般　8,000枚／高大生・65歳以上　4,000枚／無料　8,000枚
	DMハガキ	1,000枚
	目録	1,000枚
	製作	株式会社気生堂印刷所

展示風景

印 刷 物

B1ポスター

B2ポスター

A4チラシ（表）

A4チラシ（裏）

DMハガキ

子ども用ワークシート

チケット

展覧会名

第74回児童生徒造形作品展

会　　期	2022年1月13日㈭～1月31日㈪　開催日数19日間		
休 館 日	なし		
観 覧 料	無料		
主　　催	横須賀市教育委員会・横須賀美術館・横須賀市造形教育研究会		
協　　賛	久里浜中央自動車学校		
事業概要	横須賀市立の幼・小・中・高・ろう・養護、すべての学校園の子ども達による作品展。日頃の授業でつくり上げた平面作品や立体作品など約3,000点（平面：1806点、立体：949点、計2755点）の展示を通して、子ども達の制作意欲や作品への思いを紹介します。 小学校の立体作品は委託題材から各校が選択し、研究成果を題材別に展示。平面作品は各学校園ごとに展示しました。		
同時開催	田村　健　イラストレーションの世界		
観覧者数	実績（人）		一日平均（人）
	12,979		683.1
印 刷 物	ポスター	B2判　450枚	
	チラシ	A4判　37,800枚	
	製作	株式会社千代田プランニング	

展示風景

印 刷 物

B2ポスター

A4チラシ（表）

A4チラシ（裏）

展覧会名

ミロコマチコ　いきものたちはわたしのかがみ

会　　期	2022年2月11日（金・祝）～ 4月10日㈰　開催日数57日間（休館日を除く）	
休 館 日	3月7日㈪、4月4日㈪	
観 覧 料	一般1,100円／高大生・65歳以上900円　※2月13日㈰は無料観覧日	
主　　催	横須賀美術館、朝日新聞社	
	亜紀書房、朝日出版社、朝日新聞出版、味の手帖、iTohen、岩崎書店、幻冬舎、講談社、小学館、newton、ブレーメン、ブロンズ新社	
巡 回 館	宇都宮美術館（2020年9月13日～ 11月29日）、刈谷市美術館（2021年4月24日～ 6月7日）、高知県立美術館（2021年7月24日～ 9月20日）、神戸ゆかりの美術館（2021年10月2日～ 12月19日）	
事業概要	デビューから約10年、ミロコマチコは、絵本作家、そして画家として、男女問わず、幅広い世代から支持され、デザイナーやアーティストからも一目置かれる存在となりました。とりわけ近年の表現は、従来のエネルギッシュで破天荒なイメージに加えて、どこか霊的な存在をも感じさせるものへと変化し、その世界のさらなるひろがりを感じさせます。自然豊かな奄美大島へ住まいを移し、これまでとは異なる時間の流れや環境のなかで暮らしはじめたこと、そして、この地の伝統的な染色文化に触れたことも、少なからず影響しているのかもしれません。 本展は、「ミロコマチコとは何者なのか」をテーマに、近作・新作を中心とした絵画や絵本原画、書籍の装画や企業とのコラボレーションを展示すると同時に、奄美大島での暮らしや制作風景も紹介しながら、ミロコマチコの底知れぬ魅力に迫ろうとするものです。	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	21,449	376.3
主な展覧会評等	・「横須賀美術館　躍動感あふれる「いきもの」たち」（タウンニュース横須賀版No.762・2月11日号） ・「目に見えないいきものを描く」（SPUR2022年4月号） ・「生き物の気配　感覚刺激　絵本作家・ミロコマチコ展 横須賀美術館で10日まで」（朝日新聞朝刊（神奈川全県）2022年4月1日） ・「「ミロコマチコとは何者か?」テーマの展覧会　横須賀美術館」（神奈川新聞2022年4月5日）	
印 刷 物	図録	
	内容	ミロコマチコ「いきもののわたし」 伊勢武史「ミロコマチコといういきもの」 中村貴絵「ミロコマチコ試論」 目次 1　近作 2　装画・アートディレクション 3　絵本原画 4　山形ビエンナーレ 5　新作 ミロコマチコのカケラ ①人形劇／②小さい頃に読んでいた絵本／③なんでもノート／④身の回りのもの／⑤海のおまもり インタビュー「金色の夢を見る」 奄美大島取材カット ミロコマチコとは何者なのか。 仕事リスト／年譜／作品目録
	版型／ページ数	A4変形／ 268ページ
	価格（税込）	3,850円
	製作	編集執筆：中村貴絵（横須賀美術館）、小堀修司（宇都宮美術館）、松本育子（刈谷市美術館）、沓沢耕介（横須賀美術館）、朝日新聞社 編集協力：鷹箸廉（call） デザイン：漆原悠一、栗原茉奈（tento） 印刷：サンエムカラー 発行：朝日新聞社
	その他	
	ポスター	B2判　860枚／ A3判　500枚
	チラシ	A4判　100,000枚
	チケット	一般　30,000枚／高大生・65歳以上　10,000枚／無料　30,000枚
	DMハガキ	1,000枚
	作品目録	5,000部
	製作	半七写真印刷工業株式会社

展示風景

印 刷 物

B2ポスター

A3ポスター

A4チラシ（表）

A4チラシ（裏）

DMハガキ

チケット

1-1-2 所蔵品展の記録

展覧会名

令和3年度第1期所蔵品展

会　　期	2021年4月10日㈯～ 7月11日㈰　開催日数90日間（休館日を除く）	
休 館 日	5月10日㈪、6月7日㈪、7月5日㈪	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主　　催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4　第32回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念　「特集：みどり輝く」［日本画］ 展示室5　第32回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念　「特集：みどり輝く」［洋画］ 展示室8　朝井閑右衛門室「明るい未来を願って」	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	18,344	203.8

展示風景

第1期所蔵品展　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	備考
1	藤島武二	アッシジ風景	明治41-42（1908-09）年	油彩・板	23.3×33.0	
2	有島生馬	西洋婦人像	明治42（1909）年頃	油彩・画布	40.0×32.0	
3	岸田劉生	木村荘八像	大正2（1913）年	油彩・板	34.0×23.5	
4	萬鐵五郎	ガス灯	大正2（1913）年頃	油彩・画布	33.1×24.5	
5	木村荘八	畑（雑司が谷）	大正2（1913）年	油彩・画布	61.0×46.3	

◆展示室4　第32回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念「特集：みどり輝く」［日本画］

6	川端龍子	自画像（草露行）	大正9（1920）年	絹本着色	141.3×85.3	
7	横山大観	陶靖節	大正8（1919）年頃	紙本着色	各113.5×40.5	
8	鏑木清方	江の島　箱根	大正5（1916）年	絹本着色	各135.0×49.8	
9	小茂田青樹	虫魚画巻	昭和6（1931）年	紙本着色	51.0×520.2	場面替え 前期～5/31 ／後期6/1～
10	堅山南風	日午	昭和10（1935）年	紙本着色	77.0×94.0	
11	小野竹喬	初夏の海	大正8（1919）年頃	絹本着色	163.1×71.6	
12	小野竹喬	梅の家	大正6（1917）年	絹本着色	135.7×42.0	
13	中村岳陵	白狗	昭和4（1929）年	紙本着色	167.0×197.0	
14	山本丘人	草上の秋	昭和24（1949）年	絹本着色	161.7×258.8	
15	杉山寧	翠陰	昭和8（1933）年	紙本着色	174.7×181.5	
16	平山郁夫	吉祥瑞応	昭和36（1961）年	紙本着色	125.0×59.0	
17	森田曠平	阿弥陀堂（大原女三題のうち）	昭和47（1972）年	紙本着色	181.7×100.0	
18	鈴木竹柏	丘の家	昭和49（1974）年	紙本着色	168.0×216.0	
19	鈴木竹柏	山響	平成14（2002）年	紙本着色	220.0×160.0	

20	中川一政	風景（下板橋火薬庫附近）	大正8（1919）年	油彩・画布	41.0×53.3	
21	矢崎千代二	上海風景	大正7（1918）年	油彩・画布	33.2×45.2	
22	藤田嗣治	ル・アーブルの港	大正6（1917）年	油彩・画布	45.8×60.9	
23	国吉康雄	毛皮の女	昭和5（1930）年	油彩・画布	71.5×64.3	
24	岡鹿之助	魚	昭和14（1939）年	油彩・画布	60.5×72.8	
25	高崎剛	サーカス	昭和4（1929）年	油彩・画布	116.0×89.0	
26	須田国太郎	河原	昭和14年（1939）年	油彩・画布	130.0×162.0	
27	金山康喜	静物（コーヒーミルのある静物）	昭和32（1957）年	油彩・画布	80.5×100.3	
28	山口薫	水と畑と残雪	昭和27（1952）年	油彩・画布	80.2×99.8	

◆展示室5　第32回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念「特集：みどり輝く」［洋画］

29	金沢重治	夏の山門	昭和4（1929）年	油彩・画布	130.3×130.3	

30	矢崎千代二	秋の園	明治33（1900）年	油彩・画布	81.3×60.8	寄託作品
31	梅原龍三郎	モレー	明治44（1911）年	油彩・画布	60.5×73.7	
32	三岸好太郎	植物園	昭和3（1928）年	油彩・画布	41.3×53.1	
33	青山義雄	アマリリス	昭和12（1937）年頃	油彩・合板	53.2×45.6	
34	青山義雄	菊	昭和16-20（1941-45）年	油彩・画布	73.4×60.7	
35	麻生三郎	くちなしの花	昭和22（1947）年	油彩・画布	45.0×37.0	
36	高間惣七	夏草	大正7（1918）年	油彩・画布	134.0×122.5	
37	伊藤久三郎	花	昭和10（1935）年	油彩・画布	115.6×90.9	
38	伊藤久三郎	〔池〕	昭和17（1942）年	油彩・画布	96.5×130.5	
39	伊藤久三郎	農村風景	昭和18（1943）年	油彩・画布	112.0×144.5	
40	伊藤久三郎	堂のある山	昭和22（1947）年	油彩・画布	116.8×91.0	
41	松本竣介	お濠端	昭和15（1940）年	油彩・画布	65.0×90.0	
42	植松眞治	UNTITLED	制作年不詳	油彩・画布	53.0×45.5	
43	朝井閑右衛門	バラ（夜明け前の）	昭和37（1962）年	油彩・画布	38.5×68.9	
44	朝井閑右衛門	薔薇（嘉靖青花唐子紋中壺）〈絶筆〉	昭和58（1983）年	油彩・画布	45.5×53.5	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	備考
45	朝井閑右衛門	三色菫	制作年不詳	油彩・画布	45.3×60.5	
46	高間惣七	ひなげし咲く庭	昭和44（1969）年	油彩・画布	60.8×72.5	
47	高間惣七	花園	昭和35（1960）年	油彩・画布	65.5×91.0	
48	青山義雄	バラ園	平成5年（1993）年	油彩・画布	130.0×162.0	
49	島田章三	ひまわり	昭和30（1955）年	油彩・画布	65.5×53.0	
50	島田章三	花鳥A	昭和40（1965）年	油彩・画布	161.5×112.0	
51	島田章三	花鳥B	昭和40（1965）年	油彩・画布	162.4×112.0	
52	最上壽之	シリカラテッポウ	昭和62（1987）年	ケヤキ、柿	215.0×70.0×70.0	
53	最上壽之	テレンテクダ	昭和62（1987）年	ケヤキ、柿	68.0×200.0×110.0	
54	最上壽之	ウワノソラ	昭和61（1986）年	松	47.5×218.0×16.0	
55	江口週	長い舟	平成3（1991）年	樟	77.0×457.0×60.0	
56	最上壽之	キソウテンガイアトハナシ	昭和58（1983）年	赤松	230.0×320.0×140.0	
57	海老塚耕一	水夫の眼差し	平成26（2014）年	栃、砂鉄	16.5×206.5×167.0	
58	海老塚耕一	水、像と仮象の両義性	平成25（2013）年	欅、公孫樹、錆	204.0×114.0×20.5	
59	加納光於	繁み・運動・エレメント−G	昭和63（1988）年	油彩・画布	227.0×162.0	
60	元永定正	無題	昭和38（1963）年	エナメル、アクリル絵具・画布	112.0×146.0	
61	菅井汲	ナショナル・ルート　6	昭和40（1965）年	油彩・画布	235.0×194.0	
62	川端実	リズム　緑	昭和34（1959）年	油彩・画布	194×257.5	

◆展示室8　朝井閑右衛門室「明るい未来を願って」

63	朝井閑右衛門	不動明王尊像	制作年不詳	油彩・板	33.5×24.4	
64	朝井閑右衛門	偉大なる慈悲の物象	昭和45（1970）年	油彩・板	42.4×22.7	
65	朝井閑右衛門	不動明王尊像	制作年不詳	油彩・紙	39.8×31.5	
66	朝井閑右衛門	鍾馗図	昭和18（1943）年頃	墨、油彩・紙	104.2×43.0	
67	朝井閑右衛門	蓬莱	昭和28（1953）年頃	油彩・紙	36.6×19.3	
68	朝井閑右衛門	蓬莱	制作年不詳	油彩・板貼	33.5×40.2	
69	朝井閑右衛門	蓬莱	制作年不詳	油彩・板に紙貼	39.5×27.2	
70	朝井閑右衛門	ファンタジア（七福神の内）	制作年不詳	油彩・板	39.7×48.5	
71	朝井閑右衛門	蓬莱	昭和28（1953）年頃	油彩・厚紙	44.7×20.7	
72	朝井閑右衛門	蓬莱	昭和28（1953）年頃	油彩・画布	29.2×41.5	
73	朝井閑右衛門	蓬莱	昭和28（1953）年頃	油彩、顔料・板に紙貼り	120.1×65.1	
74	朝井閑右衛門	蓬莱	昭和28（1953）年頃	油彩、顔料・板に紙貼り	138.3×69.0	
75	滝波重人	Untitled 93-P-9	平成5（1993）年	油彩、テンペラ・画布	205.0×480.0	寄託作品
76	嶋田しづ	オリゾン・ヴェール	平成5（1993）年	油彩・画布	194.6×259.2	
77	若林砂絵子	Untitled［Works7］	平成14-16（2002-04）年	油彩・画布	197.0×197.0	
78	小山利枝子	未知の記憶	平成20（2008）年	アクリル・画布	227.5×437.0	
79	神谷清和	SAJIMA '95 ゲール1	平成7（1995）年	アクリル、染料、綿ロープ、木、金属・画布	176.5×478.0	

◆屋外設置作品

	若林奮	Valleys（2nd stage）	1989（平成元）	鉄	305.0×150.0×4586.0	
	高田安規子・政子	修復（通路）	2019（平成31）	インスタレーション		
	高田安規子・政子	修復（中庭）	2019（平成31）	インスタレーション		
	鈴木昭男	点音	2013（平成25）	インスタレーション		

展覧会名

令和3年度第2期所蔵品展

会　　期	2021年7月17日(土)～ 9月19日(日)　開催日数36日間（休館日を除く）	
休 館 日	8月2日(月)、9月6日(月)　※8月23日(月)～ 9月19日(月)臨時休館	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主　　催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4　朝井閑右衛門室　夜想曲　夜の朝井閑右衛門 展示室5　特集：いきものたちの情景 展示室6・7　素描による人間像 展示室8　鈴木竹柏　新寄贈作品を迎えて	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	11,516	319.9

展示風景

第2期所蔵品展　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	備考
1	赤松麟作	水辺裸婦	不詳	油彩・画布	33.5×45.0	
2	中村彝	少女	1913（大正2）頃	油彩・画布	53.5×45.5	
3	萬鐵五郎	水辺風景	1911（明治44）頃	油彩・画布	19.1×27.1	
4	萬鐵五郎	ガス灯	1913（大正2）頃	油彩・画布	33.1×24.5	
5	南薫造	風景	不詳	油彩・画布	73.0×100.0	
6	朝井閑右衛門	薔薇（嘉靖青花唐子紋中壺）〈絶筆〉	1983（昭和58）	油彩・画布	45.5×53.5	

◆展示室4　朝井閑右衛門室　夜想曲　夜の朝井閑右衛門

7	朝井閑右衛門	たそがれの雲	1958（昭和33）頃	油彩、コンテ・紙	46.0×63.3	
8	朝井閑右衛門	灯ともし頃	1947（昭和22）	油彩・画布	72.5×90.1	
9	朝井閑右衛門	灯ともし頃	1947（昭和22）頃	油彩・画布	33.0×45.3	
10	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩・板	14.8×20.5	
11	朝井閑右衛門	車内読書	1932（昭和7）頃	油彩・画布	60.7×50.0	
12	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1935（昭和10）頃	油彩・板に画布	32.0×41.2	
13	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1936（昭和11）頃	油彩・画布	38.1×45.5	
14	朝井閑右衛門	二人	1947（昭和22）頃	油彩・厚紙	24.5×18.0	
15	朝井閑右衛門	よっぱらい	1947（昭和22）頃	油彩・画布	33.1×24.2	
16	朝井閑右衛門	秋日夢	1931（昭和6）	紙本墨画着色	127.9×57.5	
17	朝井閑右衛門	茶館	1941（昭和16）	紙本墨画着色	42.3×31.2	
18	朝井閑右衛門	蘇州星橋宵月	1941（昭和16）	紙本墨画淡彩	51.0×62.5	
19	朝井閑右衛門	星橋宵月影	1942（昭和17）	紙本墨画	128.3×30.4	
20	朝井閑右衛門	蘇州星橋宵月	1941（昭和16）	紙本墨画	69.1×57.0	
21	朝井閑右衛門	寒山拾得	不詳	紙本墨画	（左右）139.3×61.0 （中）129.7×41.0	
22	朝井閑右衛門	除夜前一夜	1952（昭和27）	紙本墨画	76.4×61.2	
23	朝井閑右衛門	晩来天欲雪能飲一杯無	1955（昭和30）頃	紙本墨画着色	38.5×53.5	
24	朝井閑右衛門	序曲	1964（昭和39）	油彩・画布	38.5×28.4	
25	朝井閑右衛門	フィナーレ	不詳	油彩・板	14.8×27.2	
26	朝井閑右衛門	浜橋サーカス	1972（昭和47）頃	油彩・テックスボード	33.2×24.2	
27	朝井閑右衛門	天神祭	1972（昭和47）頃	油彩・板	9.0×14.2	
28	朝井閑右衛門	川の上の祭り	不詳	岩彩、油彩・紙	27.0×38.8	
29	朝井閑右衛門	バラ（夜明け前の）	1962（昭和37）	油彩・画布	38.5×60.9	
30	朝井閑右衛門	夕月	1973（昭和48）頃	油彩・板	10.2×23.5	
31	朝井閑右衛門	月とサーカス	1973（昭和48）頃	油彩・板	16.2×31.8	
32	朝井閑右衛門	夕月	1973（昭和48）	油彩・板	17.9×10.2	
33	朝井閑右衛門	夕月	1973（昭和48）頃	油彩・板	18.0×7.4	

34	高間惣七	夏草	1918（大正8）	油彩・画布	134.0×122.5	
35	金沢重治	夏の山門	1929（昭和4）	油彩・画布	130.3×130.3	
36	山崎省三	布良風景	1920（大正9）	油彩・画布	45.5×53.0	山崎慶子氏寄贈
37	前田寛治	麦わら帽の子	1920（大正9）頃	油彩・板	23.8×33.2	
38	安井曾太郎	外房風景（太海）	1932（昭和7）	油彩・画布	34.3×42.5	
39	海老原喜之助	海と船	1927（昭和2）	油彩・画布	45.0×60.0	
40	藤田嗣治	ル・アーブルの港	1917（大正6）	油彩・画布	45.8×60.9	
41	今西中通	裸婦	1938（昭和13）	油彩・画布	45.2×27.5	
42	井上長三郎	王朝の森（巴里）	1941（昭和16）	油彩・画布	131.0×162.0	井上リラ氏寄贈
43	鶴岡政男	天使	1951（昭和26）	油彩・画布	65.6×53.3	
44	麻生三郎	赤い空と人	1957（昭和32）	油彩・画布	112.0×162.5	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	備考
◆展示室5　特集：いきものたちの情景						
45	川村吾蔵	ジャージー種乳牛 牡	1923（大正12）頃	ブロンズ	46.0×63.0×22.5	川村栞氏寄贈
46	鑁光	グラジオラス	1942（昭和17）頃	油彩・板	33.1×23.7	
47	清宮質文	ある空間（蝶）	1962（昭和37）	木版・紙	22.1×25.4	
48	清宮質文	べにひかげ	1970（昭和45）	木版・紙	26.0×16.1	
49	清宮質文	早春の静物	1977（昭和52）	木版・紙	26.0×22.0	
50	清宮質文	夕日と猫Ⅰ	1979（昭和54）	木版・紙	20.0×17.5	
51	猪熊弦一郎	三人の娘	1954（昭和29）	油彩・画布	100.0×80.5	
52	脇田和	鳩と静物	1966（昭和41）	油彩・画布	116.5×91.2	
53	深澤孝哉	抽象（鳥）	1964（昭和39）	油彩・画布	38.3×45.5	冨久尾まり氏寄贈
54	月岡榮貴	鷺	不詳	紙本着色	82.7×56.8	後藤人基氏寄贈
55	奥村土牛	鵜	1938（昭和13）	絹本着色	181.8×209.1	
56	須田国太郎	河原	1939（昭和14）	油彩・画布	130.0×162.0	
57	山口猛彦	雨	1941（昭和16）	油彩・画布	162.0×130.5	橘弘子氏寄贈
58	島田章三	よこすか	1995（平成7）	油彩・画布	97.0×130.3	
59	高崎剛	サーカス	1929（昭和4）	油彩・画布	116.0×89.0	
60	水谷愛子	瘤牛	1995（平成7）	紙本着色	167.5×213.2	
61	石井茂雄	快楽	1957（昭和32）	油彩・画布	130.7×162.0	
62	佐々木豊	翔ぶ豚	2002-05（平成14-17）	油彩・画布	130.3×162.1	作家寄贈
63	野見山暁治	工事場	1954（昭和29）	油彩・画布	80.7×102.5	
64	鑁嘔	クレーンと人	1954（昭和29）	油彩・板	77.3×92.0	
65	菅野圭介	夏	1960（昭和35）	油彩・画布	90.8×73.0	武田光司氏・武田香葉子氏寄贈
◆展示室6・7　素描による人間像						
66	安井曾太郎	裸婦	不詳	木炭・紙	62.0×47.0	
67	山崎省三	裸婦	1918（大正8）	木炭・紙	87.5×41.3	
68	村山槐多	のらくら者	1916（大正5）	木炭、コンテ・紙	76.5×57.5	
69	国吉康雄	乳しぼる男	1922（大正11）頃	鉛筆・紙	28.0×21.6	
70	三岸好太郎	海浜の裸婦	1934（昭和9）	インク、鉛筆・紙	29.0×38.5	
71	小出楢重	裸婦	1929（昭和4）	コンテ・紙	49.0×32.0	
72	中西利雄	H嬢	1940（昭和15）頃	鉛筆・紙	41.0×29.5	中西利一郎氏寄贈
73	林武	女の横顔	不詳	コンテ・紙	33.5×26.3	武田光司氏・武田香葉子氏寄贈
74	鶴岡政男	人	1953（昭和28）頃	インク・紙	30.5×21.0	
75	四谷十三雄	無題	不詳	インク・紙		
76	麻生三郎	人3	1966（昭和41）頃	色鉛筆、鉛筆・紙	54.3×38.3	
77	島田章三	楽器をもつ人	1988（昭和63）	鉛筆・紙	24.0×19.0	作家寄贈
78	島田章三	白い机	1992（平成4）	油彩・画布	97.0×130.2	作家寄贈
79	島田章三	大和思考（かほばな）	1992（平成4）	油彩・画布	194.0×112.0	大沼嘉寿江氏寄贈
80	島田章三	林の中	2002（平成14）	油彩・画布	162.0×194.0	
81	小山田二郎	食卓	1954（昭和29）	油彩・画布	116.7×80.3	
82	渡辺恂三	仏滅	1958（昭和33）	油彩・合板	175.0×221.0	作家寄贈
83	上野泰郎	押し流される民族	1964（昭和39）	岩彩他・麻紙	162.0×227.1	上野淑子氏寄贈
84	堂本尚郎	連続の溶解 #16	1966（昭和41）	油彩・画布	114.5×147.5	
85	白髪一雄	天敗星活閻羅	1960（昭和35）	油彩・画布	182.0×272.3	
86	村井正誠	四人	1972（昭和47）	油彩・画布	162.2×130.6	
87	斎藤義重	Drum　P	1998（平成10）	ﾗｯｶｰ・金属ﾜｲﾔｰ用木製ﾄﾞﾗﾑ	255.0×375.0×260.0	
88	斎藤義重	Drum　S	1998（平成10）	ﾗｯｶｰ・金属ﾜｲﾔｰ用木製ﾄﾞﾗﾑ	255.0×460.0×260.0	
89	嶋田しづ	行進歌・遥かなる大地より	1998（平成10）	油彩・画布	194.0×162.4	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	備考
◆展示室8　鈴木竹柏　新寄贈作品を迎えて						
90	鈴木竹柏	夕陽の里	2004（平成16）	紙本着色	220.0×130.0	作家寄贈
91	鈴木竹柏	山響	2002（平成14）	紙本着色	220.0×160.0	作家寄贈
92	鈴木竹柏	耀	1995（平成7）	紙本着色	158.0×218.0	鈴木美津子氏寄贈
93	鈴木竹柏	烟雨	1976（昭和51）	紙本着色	186.0×194.0	鈴木美津子氏寄贈
94	鈴木竹柏	夕晴れ	1966（昭和41）	紙本着色	151.0×214.0	鈴木美津子氏寄贈
95	鈴木竹柏	丘の家	1974（昭和49）	紙本着色	216.0×168.0	作家寄贈
96	川端実	絵画　No.2	1963（昭和38）	油彩・画布	194.0×259.0	川端家寄贈
97	中川久	QB-86-8-A	1986（昭和61）	アクリル・布、木	210.0×23.5×12.0	作家寄贈
98	中川久	QB-86-8-B	1986（昭和61）	アクリル・布、木	210.0×23.5×12.0	作家寄贈
99	中川久	QB-86-8-C	1986（昭和61）	アクリル・布、木	210.0×23.5×12.0	作家寄贈
100	中川久	QB-86-8-D	1986（昭和61）	アクリル・布、木	210.0×23.5×12.0	作家寄贈
101	中川久	QB-86-8-E	1986（昭和61）	アクリル・布、木	194.5×22.5×12.0	作家寄贈
102	中川久	QB-86-8-F	1986（昭和61）	アクリル・布、木	194.5×22.5×12.0	作家寄贈
103	滝波重人	楕円の中の二つの形	1991（平成3）	油彩、テンペラ、廃材など・画布	200.0×390.0	作家寄贈
104	岡本健彦	24の丸	2002（平成14）	油彩、鉛、ステンレススチール、和紙、天蚕糸、画布、合板	183.0×368.0	
◆屋外設置作品						
	若林奮	Valleys（2nd stage）	1989（平成元）	鉄	305.0×150.0×4586.0	
	高田安規子・政子	修復（通路）	2019（平成31）	インスタレーション		
	高田安規子・政子	修復（中庭）	2019（平成31）	インスタレーション		
	鈴木昭男	点音	2013（平成25）	インスタレーション		

展覧会名

令和3年度第3期所蔵品展

会　　期	2021年9月25日㈯～12月12日㈰　開催日数70日間（休館日を除く）	
休 館 日	10月4日㈪、11月1日㈪、12月6日㈪　※9月25日㈯～30日㈭臨時休館	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円　※11月3日（火・祝）は無料観覧日	
主　　催	横須賀美術館	
展示構成	ギャラリー、展示室4、5、6、7 生誕100年 谷内六郎展 いつまで見ててもつきない夢 （協力：谷内達子、谷内広美、株式会社 新潮社　後援：東京新聞　助成：芸術文化振興基金） 1章　谷内六郎の根っこ　幼少期から「文藝春秋漫画賞」受賞まで 幼少期から20歳まで／漫画家の夢と病気の影／貧しくも楽しい「らくだ工房」の日々／第1回文藝春秋漫画賞受賞の衝撃 2章　ライフワーク『週刊新潮』表紙絵 『週刊新潮』表紙絵のはじまり／『週刊新潮』表紙絵の描き方／ B5版におさまらない活躍 ―新潮社の顔として／「表紙の言葉」で知る『週刊新潮』表紙絵 3章　ひろがる世界―『週刊新潮』表紙絵を超えて 広く愛される谷内六郎イメージ／谷内六郎の装画、挿絵／谷内六郎と宮沢賢治／谷内六郎を知る本／谷内六郎の絵本 4章　人間・谷内六郎を知る 家族とともに／驚異の子ども達のために 5章　現代に息づく谷内六郎 街角で出会う谷内六郎―モザイク壁画と包装紙 展示室8　朝井閑右衛門室「天使とキューピッド」	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	19,030	271.9
印 刷 物	生誕100年 谷内六郎展 いつまで見ててもつきない夢	
	ポスター	B1判　70枚、B2判　850枚
	チラシ	A4判　25,000枚
	子ども向けチラシ	A4判　35,000枚
	DM	1,200枚
	製作	㈱山田写真製版所

展示風景

印刷物

B2ポスター

A4チラシ（表）

A4チラシ（裏）

第3期所蔵品展　出品目録

作品名	制作年	技法	材質	画面縦	画面横	所蔵
生誕100年　谷内六郎展　いつまで見ててもつきない夢						
第1章　谷内六郎の根っこ 幼少期から「文藝春秋漫画賞」受賞まで						
わが幼年時代	1975年	水彩	厚紙	42.0	30.0	個人蔵
回覧板風景	『市電文化ニュース』1940年1月号附録、市電文化ニュース社			22.0	29.5	個人蔵
コドモノページ	『市電文化ニュース』1940年1月号、市電文化ニュース社			18.5	10.0	個人蔵
習作絵本 ハマベノコ	1941年	水彩、インク、鉛筆	紙	26.0	18.5	個人蔵
海の駅	1945年	水彩	紙	18.2	25.4	個人蔵
海辺の町	1945年	水彩、墨	紙	13.3	18.0	個人蔵
椿	1946年	水彩	紙	12.6	17.6	個人蔵
北蟹谷道	1945年	水彩	紙	12.0	13.7	個人蔵
上総御宿	1944年	水彩	紙	56.5	162.0	個人蔵
古いもの同志／ドロボーの自殺／真実一郎君	『民報』1946年3月4日号、民報社			40.0	24.7	個人蔵
『シンジツイチロ―クン』	民報社、1947年			18.3	12.7	個人蔵
『魔の地中城』	漫画の友社、1948年			17.8	12.5	個人蔵
『笛吹き小次郎』	漫画の友社、1948年			17.8	12.5	個人蔵
重患の室	1950年	インク、鉛筆	紙	30.8	34.0	個人蔵
院長先生の来た日	1950年	水彩、インク、鉛筆	紙	28.0	40.2	個人蔵
タイトルなし	1951年	水彩、インク	紙	22.1	15.2	個人蔵
病気の子	1951年	ペン	紙	25.6	35.0	個人蔵
レントゲン室に行く道	1952年	水彩	厚紙	33.0	19.5	個人蔵
楽書 病院日記	1950年-1951年	インク、鉛筆、水彩、クレヨン	紙	16.0	21.0	個人蔵
変な物語	不詳	インク	紙	39.0	27.0	個人蔵
マッチ売りの少女	1950年	インク、水彩、クレヨン	紙	各30.5～31.0	各21.0	個人蔵
ろうけつ染ハンカチ	不詳	ろうけつ染	布	37.5	38.0	個人蔵
ろうけつ染ハンカチ	不詳	ろうけつ染	布	38.0	38.0	個人蔵
ろうけつ染ハンカチ	不詳	ろうけつ染	布	45.0	44.5	個人蔵

作品名	制作年	技法	材質	画面縦	画面横	所蔵
らくだ工房　ろうけつ染ハンカチ	不詳	ろうけつ染	布	33.5	36.0	個人蔵
らくだ工房　ろうけつ染ハンカチ	不詳	ろうけつ染	布	38.5	37.0	個人蔵
上馬交響楽団	不詳	インク	紙	79.0	114.0	当館蔵
ろうけつ染風炉先屏風	1956年	ろうけつ染	布	51.5	154.0	個人蔵
ろうけつ染風炉先屏風　自転車と機関車	不詳	ろうけつ染	布	67.5	84.8	当館蔵
ろうけつ染帯	不詳	ろうけつ染	布	351.0	30.5	個人蔵
ろうけつ染帯	不詳	ろうけつ染	布	336.0	29.5	個人蔵
ろうけつ染風呂敷	不詳	ろうけつ染	布	86.0	85.0	個人蔵
ろうけつ染風呂敷	不詳	ろうけつ染	布	90.0	90.0	個人蔵
ろうけつ染帯地	不詳	ろうけつ染	布	455.0	35.5	個人蔵
ろうけつ染帯地	不詳	ろうけつ染	布	457.0	35.5	個人蔵
泣きながら帰った道	1949年	水彩	紙	24.9	26.0	個人蔵
電車カバンを買った夜	1951年	水彩	紙	34.1	24.0	個人蔵
人買いの話	1950年	水彩、インク	厚紙	53.0	37.6	個人蔵
電気飴	1950年	水彩	紙	49.6	36.0	個人蔵
春の来る音	1951年	水彩、インク、鉛筆	紙	38.2	53.8	個人蔵
しんせきに行った日	1955年頃	水彩、インク、鉛筆	紙	26.5	35.0	個人蔵
九段坂	1950年	水彩、インク、鉛筆	紙	27.5	34.5	個人蔵
劇薬という言葉	1948年	水彩、インク、コラージュ	紙	19.8	17.6	個人蔵
人さらいのあった晩	1950年	水彩	厚紙	26	37.5	個人蔵
溶接工場の青鬼	1951年	水彩	厚紙	37.3	25.8	個人蔵
終戦の秋	1945年	水彩	紙	39.9	28.8	個人蔵
風船屋さん	1951年	水彩	紙	52.8	36.8	個人蔵
変電所の池	1950年	水彩	紙	25.6	18.0	個人蔵
こわーい話	1948年	水彩	紙	37.5	25.8	個人蔵
幼い記憶	1951年	水彩	紙	33.4	23.7	個人蔵
北風	1955年	水彩	厚紙	40.6	19.5	個人蔵
タイトルなし	1953年	水彩、インク、鉛筆	紙	38.2	53.5	個人蔵
砂町のタンポポ	1953年	水彩	紙	44.2	38.4	個人蔵
つぎだらけの春	1954年	水彩	厚紙	29.5	40.5	個人蔵
雨後	1951年	水彩	紙	26.0	37.5	個人蔵
ぬりえ	1953年	水彩	紙	24.5	30.4	個人蔵
フィルムの中の二挺拳銃	1950年	水彩、インク	紙	22.2	32.8	個人蔵
雪の空	1949年	水彩、インク、鉛筆	紙	25.8	36.3	個人蔵
キャンデーの箱の悲しみ	1950年	水彩、インク	紙	25.3	34.8	個人蔵
色セロファンの中	1952年	水彩、インク	厚紙	21.7	31.0	個人蔵
沼の中	1951年	水彩	紙	26.5	18.5	個人蔵
宿題	1951年	水彩	紙	34.4	26.1	個人蔵
鏡の中	1955年	水彩、インク	厚紙	23.5	21.0	個人蔵
湯気	1950年	水彩	紙	21.2	15.9	個人蔵

第2章　ライフワーク『週刊新潮』表紙絵

『週刊新潮』表紙絵　上總の町は貨車の列 火の見の高さに海がある	1956年2月19日号	水彩	紙	34.3	24.5	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　オーマイパパの歌	1956年2月26日号	水彩	紙	32.5	23.3	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　名曲の店	1956年3月11日号	水彩	紙	29.7	22.2	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　なまずのつれた日	1956年3月4日号	水彩	紙	31.9	22.8	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　天井の記憶	1968年 4月13日号	水彩	厚紙	39.1	27.9	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　迷った町の知らない子	1971年11月13日号	水彩	厚紙	40.7	28.8	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　夢の中の道	1969年10月11日号	水彩	厚紙	40.5	30.0	当館蔵

作品名	制作年	技法	材質	画面縦	画面横	所蔵
『週刊新潮』表紙絵　夜の公衆電話	1959年11月16日号	水彩	厚紙	40.5	29.8	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　るす番の夜	1974年2月21日号	水彩	厚紙	39.3	28.8	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　かげふみの記憶	1966年10月29日号	水彩	厚紙	39.0	28.5	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　夜ふけの幻想	1963年11月18日号	水彩	厚紙	41.5	30.5	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　冬の曲	1967年12月23日号	水彩	厚紙	39.8	27.8	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　ミシンの音	1963年7月8日号	水彩	厚紙	39.2	27.8	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　すりばちの音	1964年3月23日号	水彩	厚紙	39.3	28.2	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　色々な雨だれの音がきこえる	1977年3月31日号	水彩	厚紙	39.5	27.6	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　太鼓の音はおなかにひびく	1960年9月12日号	水彩	厚紙	38.0	28.0	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　雪の落ちる音	1970年1月24日号	水彩	厚紙	40.7	30.0	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　タネを吹く子	1960年5月23日号	水彩	紙	39.8	27.8	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　おじさんに似てるわよ	1959年4月27日号	水彩、レース	紙	32.5	23.6	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　月光の曲	1962年10月1日号	水彩	厚紙	38.7	27.5	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　しずくが横綱になるまで	1975年5月29日号	水彩	厚紙	42.5	29.0	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　枯葉は昔の遊び	1978年11月9日号	水彩	厚紙	40.2	30.0	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　金魚はユカタで夏まつり	1979年4月5日号	水彩	厚紙	40.5	29.5	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　虫のハイウェイ	1971年8月28日号	水彩	厚紙	40.5	29.2	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　砂の万博	1970年3月28日号	水彩	厚紙	39	28.0	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　月夜の夢	1975年7月17日号	水彩	厚紙	40.5	29.5	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　火星人だ	1971年9月25日号	水彩	厚紙	39	29.2	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　光は一晩中は無し合うの	1973年3月29日号	水彩	厚紙	40.5	30.5	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　あした天気になあれ	1964年11月23日号	水彩	厚紙	40.7	29.7	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　会議場	1981年2月26日号	水彩	紙	42.3	30.2	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　星空の幕	1967年9月30日号	水彩	厚紙	41.3	29.7	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　魚とり	1960年6月13日号	水彩、網	厚紙	39.0	29.0	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　ベビーカメラマン	1965年4月26日号	水彩、筆の毛	厚紙	38.9	27.8	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　船が編むレース	1967年 4月15日号	水彩、レース	厚紙	39.0	28.5	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵　春の日	1977年4月21日号	ろうけつ染、着色	布	40.7	30.0	当館蔵
『週刊新潮』表紙絵のためのメモ	不詳					個人蔵
使っていた道具、材料						個人蔵
「表紙の言葉」原稿						個人蔵、当館蔵
『週刊新潮』						当館蔵
アイデア帽	不詳					個人蔵
《春の日》下絵	1977年	鉛筆、インク	紙	40.6	30.0	個人蔵
『週刊新潮』表紙絵　貝の夢	1961年8月28日号	水彩	厚紙	36.2	27.5	当館蔵
谷内六郎カレンダー原画　貝の夢	1965年	水彩	厚紙	25.3	32.7	個人蔵
谷内六郎カレンダー	1964年～			各13.0	17.5	個人蔵
谷内六郎カレンダー原画　泳ぎすぎた夜	1972年	水彩	厚紙	29.8	38.0	個人蔵
『週刊新潮』中吊り広告原画	1974年5月19日号	水彩、アクリル	厚紙	36.3	102.8	個人蔵
『週刊新潮』中吊り広告原画	不詳	水彩、アクリル	厚紙	36.2	102.7	個人蔵
『週刊新潮』中吊り広告原画	1978年1月5日号	水彩、アクリル	厚紙	36.3	102.8	個人蔵
『週刊新潮』中吊り広告原画 ぼく的の真ん中に当ったよ	1978年5月4日号	水彩、アクリル	厚紙	36.3	102.8	個人蔵
夕やけちゃんデザイン画	1964年頃	水彩	紙	26.2	30.7	個人蔵
夕やけちゃんデザイン画	1964年頃	水彩	紙	26.0	31.3	個人蔵
夕やけちゃん	1964年		ソフトビニール	高さ36.2		個人蔵
こやけちゃん	1964年		ソフトビニール	高さ10.0		個人蔵
『週刊新潮』5月10日増大号新聞広告原画	1965年	水彩、インク	紙	20.6	37.6	個人蔵
『週刊新潮』新聞広告原画	不詳	水彩、インク	紙	25.6	35.3	個人蔵
『週刊新潮』新聞広告原画	不詳	水彩、インク	紙	20.5	37.3	個人蔵

作品名	制作年	技法	材質	画面縦	画面横	所蔵
カード型カレンダー	新潮社、1972-82年					個人蔵
切符入れ	国鉄、1971-80年頃					個人蔵
『週刊新潮』紙袋	新潮社、不詳					個人蔵

第3章　ひろがる世界―『週刊新潮』表紙絵を超えて

「日立衣類乾燥機サンサン青空 総合カタログ」原画	1979年	水彩	水彩	30.0	23.6	個人蔵
「日立衣類乾燥機サンサン青空」傘型広告原画	1976年頃	水彩、インク	水彩、インク	28.3	23.0	個人蔵
「日立衣類乾燥機サンサン青空 総合カタログ」	日立製作所、1979年					個人蔵
「日立衣類乾燥機サンサン青空」傘型広告	日立製作所、1976年頃			44.5	36.2	個人蔵
花王新聞広告原画	1969年	水彩	水彩	36.8	36.8	花王ミュージアム・資料室
花王 新聞広告用原画	1975年頃	水彩	水彩	17.5	17.5	花王ミュージアム・資料室
花王 新聞広告用原画	1975年頃	水彩	水彩	15.5	18.0	花王ミュージアム・資料室
花王 新聞広告用原画	1975年頃	水彩	水彩	11.5	6.0	花王ミュージアム・資料室
花王 新聞広告用原画	1975年頃	水彩	水彩	11.0	6.0	花王ミュージアム・資料室
「花王の4洗剤」販促用のれん	花王、1975年頃			28.5	115.5	個人蔵
東西履物大会（新宿 伊勢丹）用草履	1960年			縦23.0×横7.5×高さ6.0		個人蔵
東西履物大会（新宿 伊勢丹）用草履原画外国模様	1960年	水彩	水彩	26.8	27.4	当館蔵
東西履物大会（新宿 伊勢丹）用草履原画里の子	1960年	水彩	水彩	26.9	27.5	当館蔵
「イーゼルペイント」ポスター	資生堂絵具工業、1958年頃			52.5	37.0	個人蔵
劇団仲間「かぐや姫」3幕ポスター	東横ホール、1956年			75.0	53.0	個人蔵
劇団仲間「かぐや姫」3幕ポスター	東横ホール、1957年			36.5	51.6	個人蔵
新作座第一回公演ポスター	有楽町 ヴィデオホール、1956年			75.0	53.1	個人蔵
宝塚歌劇50周年記念「虹色のタングステン」ポスター	宝塚大劇場、1964年			36.0	37.5	個人蔵
映画「鬼畜」ポスター	1978年公開			103.0	73.0	個人蔵
映画「風と樹と空と」挿入画	1964年	水彩	水彩	51.5	236.5	当館蔵
土曜スペシャル 芸能博物館（NHK） タイトルなし	1971年頃	水彩	水彩	75.2	88.8	個人蔵
土曜スペシャル 芸能博物館（NHK） タイトルなし	1971年頃	水彩	水彩	47.1	64.0	個人蔵
パパは独身（TBS） 挿入画	1976年	水彩	水彩	38.0	54.0	個人蔵
パパは独身（TBS） 挿入画	1976年	水彩	水彩	37.9	53.6	個人蔵
樋屋製薬CM原画　春編	1970年代後半	水彩	水彩	47.0	62.6	個人蔵
樋屋製薬CM原画　夏編	1970年代後半	水彩	水彩	36.3	51.5	個人蔵
みんなのうた（NHK）「ちいさい秋みつけた」原画	1972年	水彩	水彩	38.3	57.7	個人蔵
みんなのうた（NHK）「ちいさい秋みつけた」原画	1972年	水彩	水彩	39.0	51.7	個人蔵
『伊奈だより』表紙絵冬の序曲	1963年11月号、伊奈製陶株式会社			47.0	58.0	個人蔵
『伊奈だより』表紙絵屋外映画会	1964年6月号、伊奈製陶株式会社			47.0	58.0	個人蔵
『伊奈だより』表紙絵聖火の見える道	1964年10月号、伊奈製陶株式会社			47.0	58.0	個人蔵
『伊奈だより』表紙絵虹	1965年4月号、伊奈製陶株式会社			47.0	58.0	個人蔵
「遠い日の歌」ジャケット原画	1962年	水彩	水彩	36.5	37.0	個人蔵
「赤とんぼ 素晴しき日本旋律集」ジャケット原画	1971年	水彩	水彩	29.5	30.5	個人蔵
遠い日の歌	ビクター、1962年					個人蔵
郷愁のムード第1集	ビクター、1960年					個人蔵
郷愁のムード第2集	ビクター、1960年					個人蔵
郷愁のムード第3集	ビクター、1961年					個人蔵
郷愁のムード第4集	ビクター、1961年					個人蔵
赤とんぼ 素晴しき日本旋律集	発売元日本コロムビア株式会社、1971年					個人蔵

作品名	制作年	技法	材質	画面縦	画面横	所蔵
母と子のうた	ドリームレコード、1974年					個人蔵
Season of Lights	Columbia Records、1977年					個人蔵
虹のコンサート No.1 故郷	東京テレビアート株式会社、不詳					個人蔵
虹のコンサート No.2 祭りとおはやし	総発売元 東京テレビアート株式会社、不詳					個人蔵
NHKみんなのうたより うたえばたのし 勁文社フォノカラー NO.88	勁文社、不詳					個人蔵
歌謡百年大全集	アポロン音楽工業、1969年					個人蔵
「新派十二月公演」パンフレット	新橋演舞場、1957年					個人蔵
第3回芝居をみる会「泥かぶら」パンフレット	中野公会堂、1957年					個人蔵
UDカレンダー	UDトラックス、1967年					個人蔵
「日興證券本社ビル竣工記念」ハガキ	日興證券、1963年					個人蔵
さくら8ミリ絵コンテシリーズ お正月販促用パンフレット	小西六写真工業、1963年					個人蔵
AJOC（オールジャパンメガネチェーン） 児童画コンクールメダルデザイン画	AJOC、1975年	鉛筆、インク、水彩	紙	20.1	18.5	個人蔵
AJOC（オールジャパンメガネチェーン） 児童画コンクールメダル	AJOC、1975年			（大）直径5.0（小）直径3.5		個人蔵
「鳴子ホテル」パンフレット	鳴子ホテル、1960年代					個人蔵
うちわ	中外製薬株式会社、不詳					個人蔵
うちわ	武藤薬品、不詳					個人蔵
マッチ箱						個人蔵
しおり「日本の郷愁 秋」原画	1978年	水彩	紙	21.0	9.2	個人蔵
しおり「日本の郷愁」	日本書店組合連合会、1978年					個人蔵
『かとれや』	大阪天満橋松坂屋					個人蔵
『すこやかファミリー』	社会保険法規研究会					個人蔵
『日本のトラック事業』	輸送経済新聞社					個人蔵
北杜夫著『マンボウぼうえんきょう』表紙原画	1973年	水彩	厚紙	28.3	44.0	個人蔵
北杜夫著「父っちゃんは大変人」挿絵	1981年	水彩	紙	12.8	19.0	個人蔵
北杜夫著『マンボウ周遊券』表紙原画	1976年頃	水彩	厚紙	13.5	13.0	個人蔵
「マンボウマブセ共和国」紙幣、硬貨	1981年			20.0	9.5	個人蔵
石濱恒夫著『メルヘン動物園』装幀原画	1977年	水彩、鉛筆	紙	19.0	28.5	個人蔵
石濱恒夫著『メルヘン動物園』 第1話　赤鼻のライオン	1977年	インク	紙	22.7	16.1	個人蔵
石濱恒夫著『メルヘン動物園』 第3話　大酒のみのワニ	1977年	インク	紙	20.2	15.7	個人蔵
石濱恒夫著『メルヘン動物園』 第6話　ひとりぼっちのヒョウ	1977年	インク	紙	22.7	16.0	個人蔵
石濱恒夫著『メルヘン動物園』 第12話　黄金のエビ	1977年	インク	紙	18.8	13.0	個人蔵
宮沢賢治著『雪渡り』（『太陽』）挿絵	1976年	水彩	厚紙	16.6 10.0 18.0	13.0 10.3 18.0	当館蔵
宮沢賢治著『雪渡り』（『宮沢賢治童話集4』）挿絵	1971年頃	水彩	紙	31.6	30.3	個人蔵
宮沢賢治著『ほらくま学校を卒業した3人』挿絵	1968年頃	水彩	厚紙	23.6	19.3	個人蔵
宮沢賢治著『注文の多い料理店』挿絵	1968年頃	水彩	厚紙	22.8	19.5	個人蔵
宮沢賢治著『いちょうの実』挿絵	1971	水彩	厚紙	30.0	31.7	個人蔵
李家正文著『らくがき昭和史』	河出書房、1956年					個人蔵
源氏鶏太著『千客萬來』	東方社、1957年					個人蔵
幸田文著『おとうと』	中央公論社、1957年					個人蔵
中村武志著『目白三平の日日』	新潮社、1958年					個人蔵

作品名	制作年	技法	材質	画面縦	画面横	所蔵
深沢七郎著『笛吹川』	中央公論社、1958年					個人蔵
有吉佐和子著『新女大学』	中央公論社、1960年					個人蔵
KENJI MIYAZAWA『WINDS AND WILDCAT PLACES（宮沢賢治童話集）』	KODANSHA INTERNATIONAL、1967年					個人蔵
北島春信著『サクタロウの村ができた ひらけゆく郷土のはなし』	ホプラ社、1969年					個人蔵
小松左京著『闇の中の子供』	新潮社、1970年					個人蔵
北杜夫著『マンボウぼうえんきよう』	新潮社、1973年					個人蔵
壺井栄『二十四の瞳 他二編』	旺文社、1974年					個人蔵
スズキヘキ友達会編『スズキヘキ童謡集』	おてんとさんの会、1975年					個人蔵
西村滋著『母恋い放浪記 しゃくなげの詩』	エルム、1976年					個人蔵
甘糟幸子著『野草の料理』	中央公論社、1977年					個人蔵
石濱恒夫著『メルヘン動物園』	日本教文社、1977年					個人蔵
森南海子著『ちっちゃいママと呼ばれて』	ミネルヴァ書房、1978年					個人蔵
森南海子著『からだの不自由な人のおしゃれ』	朱鷺書房、1978年					個人蔵
石浜紅子著『海よ、私はくじけない』	光文社、1979年					個人蔵

『北風とぬりえ』より セコンドの中の工場	（初出は『新潟日報 夕刊』1974年10月21日号）	鉛筆、インク	紙	21.5	16.6	個人蔵
『北風とぬりえ』より ぴろよん秋のぷうとる汽車	1974年頃	鉛筆、インク、水彩	紙	18.0	25.0	個人蔵
『北風とぬりえ』より 虹色のタングステン	（初出は『新潟日報 夕刊』1974年11月11日号号）	鉛筆、インク	紙	22.0	15.0	個人蔵
『北風とぬりえ』より 回転木馬	1974年頃	鉛筆、インク	紙	22.5	16.5	個人蔵
『北風とぬりえ』より ぬりえ	1974年頃	鉛筆、インク、水彩	紙	16.5	22.0	個人蔵
『谷内六郎詩画集 ねむの木』より 澄明に落ちたビー玉	（初出は『季刊ひろば』25号、1965年4月号）	水彩	厚紙	26.7	18.7	個人蔵
『谷内六郎詩画集 ねむの木』より 古きひな様	（初出は『季刊ひろば』29号、19664月号）	水彩、墨、鉛筆	紙	26.0	18.2	個人蔵
『谷内六郎詩画集 ねむの木』より 山のまつり	（初出は『季刊ひろば』47号、1970年9月号）	水彩、墨、鉛筆	紙	24.4	17.5	個人蔵
『谷内六郎詩画集 ねむの木』より 冬のかざぐるま	（初出は『季刊ひろば』32号、1966年12月号）	水彩	紙	21.7	14.6	個人蔵
『限定版 遠い日の絵本 谷内六郎画集』函原画	1975年	インク	紙	38.2	54.0	個人蔵
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』（新潮社）より 写真構成「星空もラムネ」	1975年	水彩	写真	27.0	21.5	個人蔵
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』（新潮社）より 写真構成「インデアン」	1975年	水彩	写真	18.7	25.0	個人蔵
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』（新潮社）より 写真構成「帰り道」	1975年	水彩	写真	17.5	25.5	個人蔵
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』（新潮社）より 写真構成「月夜の夢」	1975年	水彩	写真	18.5	25.3	個人蔵
『旅の絵本』より車窓の秋	1980年	水彩	紙	16.5	11.6	個人蔵
『旅の絵本』より三軒茶屋附近	1980年	水彩	紙	16.5	11.0	個人蔵
『旅の絵本』より渋谷の灯	1980年	水彩	紙	17.7	13.0	個人蔵
『旅の絵本』よりこけし祭り	1980年	水彩	紙	16.2	10.7	個人蔵
『ぎんのわっか』（至光社）より	（初出は『こどものせかい』第23巻1号、1971年）	水彩	紙	28.3 20.0 20.5 20.2 20.4 20.2 20.3	28.3 24.8 24.7 25.1 25.2 24.8 24.9	個人蔵

作品名	制作年	技法	材質	画面縦	画面横	所蔵
『びんのそら』より	（初出は『こどものせかい』第23巻3号、1973年）	水彩	紙	25.0 25.1 25.6 25.5 26.0 23.5	40.6 40.6 40.7 40.6 40.5 39.0	個人蔵
『海と風船』より 忘れた風船	1960年	油彩	キャンバス	51.5	44.0	当館蔵
『海と風船』より 潮騒	1960年	油彩	キャンバス	51.5	64.0	当館蔵
『海と風船』より 漁場	1960年	油彩	キャンバス	51.6	64.0	当館蔵
『海と風船』より 船出	1960年	油彩	キャンバス	51.3	64.0	当館蔵

第4章　人間・谷内六郎を知る

砂丘の星　静岡県浜岡大砂丘とねむの木学園	1980年頃	油彩	キャンバス	91.1	116.7	個人蔵
浜岡砂丘とねむの木学園	1980年	油彩	キャンバス	72.4	91.0	個人蔵
映画「太陽の詩」ポスター	1975年公開			72.5	51.5	個人蔵
映画「太陽の詩」ポスター	1975年公開			36.5	51.5	個人蔵
ねむの木学園の秋	不詳	インク	和紙	10.0	15.0	個人蔵
ねむの木美術館と学園と大砂丘	不詳	インク	紙	20.3	31.0	個人蔵
白壁と赤い屋根　春	不詳	インク	紙	20.5	30.7	個人蔵
たけのこ学級土器はにわ作品展パンフレット	1974年					個人蔵
「名作シリーズ絵はがき第3集」ハガキ	青鳥会、1962年					個人蔵
仲よし絵はがき	手をつなぐ親の会、1962年					個人蔵
熊谷達子 肖像画	1955-56年頃	鉛筆	紙	36.0	26.0	個人蔵
人生之 重荷背 歩くもの他他	1960年代	インク、鉛筆	和紙	26.8	37.6	個人蔵
七転八起	1960年代	インク、鉛筆	紙	39.4	29.7	個人蔵
太郎 1才10ヶ月の言葉	1967年	インク	紙	31.2	22.4	個人蔵
谷内達子　目玉のマー坊	1961年		布・紙・針金・竹	マー坊：37.0×25.5 鯉のぼり：10.5×35.0 菖蒲：17.0×10		個人蔵
「ぼくの家族旅行」（『旅』より）豆汽車	1972年	水彩、インク	紙	23.5	18.5	個人蔵
「ぼくの家族旅行」（『旅』より）とまこまいの牧場にて	1972年	水彩	紙	21.6	19.5	個人蔵
ポロライドカメラ	1970年代	インク、鉛筆	紙	13.5 ～ 13.8	5.6 ～ 9.7	個人蔵
人形	1970年代	水彩、鉛筆	紙、木	高さ 11.6 ～ 31.2		個人蔵
ゆかりバス	1970年頃	クレヨン、インク	厚紙	15.8	42.7	個人蔵
おもちゃ	1970年代	インク	厚紙	各14.0	各5.5	個人蔵
たろうとちいちゃん	1970年代	水彩、インク	紙	13.5	8.0	個人蔵
くつ入れ	1967年頃	インク	合皮	36.0	17.5	個人蔵
「楽焼に描く高原の旅情・浅間山」（『旅』より）楽焼「軽井沢」	1969年			直径26.0		個人蔵
楽焼「浅間山 軽井沢にて」＊「楽焼に描く高原の旅情・浅間山」未掲載作品	1969年			直径26.0		個人蔵
「楽焼に描く高原の旅情・浅間山」	『旅』1969年7月、日本交通社					個人蔵
観音崎アトリエ表札	1975年	ペンキ	板	58.3	71.5	個人蔵
ミチ童話スタジオ	不詳	ペンキ	板	22.7	60	個人蔵
『成城っ子 創立60周年記念特別号』表紙原画	1977年	水彩	紙	28.5	41.0	個人蔵
『成城っ子』表紙原画	1977年	水彩	紙	26.0	17.5	個人蔵
『成城っ子』表紙原画	1975年	水彩	紙	26.5	18.5	個人蔵
『成城っ子』挿絵	1968-69年	インク	紙	11.0 26.0 12.0 10.5 12.3	10.0 3.0 10.5 14.5 8.0	個人蔵

作品名	制作年	技法	材質	画面縦	画面横	所蔵
テネーの漫画手紙		インク、ペン、色鉛筆	紙			個人蔵
ホノルルにいる太郎とソロモネ	1980年	油彩	キャンバス	116.0	90.5	個人蔵

5章　現代に息づく谷内六郎

山陽堂書店モザイク壁画原画 傘の穴は一番星	1975年	水彩	厚紙	76	22.2	個人蔵
堀越ビル（元 金竜堂書店） モザイク壁画原画砂山	1969年	水彩	厚紙	73.4	22	個人蔵
くまざわ書店 八王子店モザイク壁画 水面のライト	1975年	水彩	厚紙	92	19	個人蔵
元 清明堂書店 総曲輪店モザイク壁画原画 立山早春	1972年	水彩	紙	65.0	39.5	個人蔵
元 谷島屋書店モザイク壁画原画 西洋館の思い出	1978年	水彩	紙	50.0	64.0	個人蔵
文悠（東京・神楽坂）、横浜相鉄構内キヨスク等 内照式看板原画	不詳	水彩	厚紙	14.8	87.5	個人蔵
ロクロービル（広島市・中区） 壁画用ラフスケッチ	1971年頃	水彩	厚紙	24.7	109.5	個人蔵
大津坂倉（横須賀市・大津町）包装紙						個人蔵
風月堂（横浜市・妙蓮寺）包装紙						個人蔵
ニュージャーマンベーカリー（東京都・新井薬師）包装紙						個人蔵
ぽんじゅーる（東京都･四谷､巣鴨　茅野市･蓼科）包装紙						個人蔵
漆器龍文堂（宮城県・鳴子）包装紙						個人蔵
岩田屋（福岡市・中央区）包装紙						個人蔵
神田志乃田寿司（東京都・千代田区） 手提げ袋、折箱の蓋	不詳					個人蔵
AJOC（オールジャパンメガネチェーン） 手提げ袋	1972年頃					個人蔵
AJOC（オールジャパンメガネチェーン） 紙袋	1972年頃					個人蔵

凡例

※このリストは、2021年9月25日から12月12日まで横須賀美術館で開催する「生誕100年 谷内六郎展」の出品目録です。
　おおよそ、展示されている順に記載しています。

※各作品資料については、タイトル、制作年（出版年［出版物の場合は出版社も記載］、公開年）技法･材質、寸法（縦×横、㎝）、所蔵の順に記載しています。
　作者が谷内六郎以外の場合は、冒頭の行に作家名を嘉指しています。

※制作年は、原画は描かれた年としています。ただし、印刷物（雑誌、書籍、ハガキ等）については、原則として原画も含め、印刷物が発行、発表された年としました。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	備考
◆展示室8　朝井閑右衛門室　天使とキューピッド						
1	朝井閑右衛門	パン	1963（昭和38）年	油彩・板	10.3×3.6	
2	朝井閑右衛門	牧神と天使	不詳	油彩・板	16.6×4.2	
3	朝井閑右衛門	牧神	不詳	油彩・板	10.5×4.8	
4	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩・板	16.5×11.0	
5	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩・板	14.8×20.5	
6	朝井閑右衛門	ドン・キホーテの没落	1954（昭和29）年	油彩・画布	91.4×56.0	
7	朝井閑右衛門	キューピッド	1957（昭和32）年	油彩・画布	45.3×27.3	
8	朝井閑右衛門	牧神とキューピッド	不詳	油彩・板	33.1×23.8	
9	朝井閑右衛門	ロミオとジュリエット	1972（昭和47）頃	油彩・板	36.8×23.2	
10	朝井閑右衛門	独身主義の人魚 （エロスに狙われる）	1969（昭和44）頃	油彩・板に画布	19.3×26.1	
11	朝井閑右衛門	独身主義の人魚	1961（昭和36）年	油彩・画布	21.9×27.0	
12	朝井閑右衛門	独身主義の人魚とキューピッド、シリーズ（D）	1961（昭和36）年	油彩・板	26.8×21.7	
13	朝井閑右衛門	独身主義の人魚とキューピッド	1969（昭和44）年	油彩・板	14.2×18.2	
14	朝井閑右衛門	独身主義の人魚とキューピッド、シリーズ	1961（昭和36）年	油彩・板	19.7×10.2	
15	朝井閑右衛門	独身主義の人魚 （エロスに狙われる）	不詳	油彩・板	22.7×15.7	
16	朝井閑右衛門	人魚	1969（昭和44）年頃	油彩・板	24.0×12.3	
17	元永定正	無題	1963（昭和38）年	エナメル、アクリル絵具・画布	112.0×146.0	
18	宮脇愛子	作品	1963（昭和38）年	油彩、大理石粉・合板	181.2×120.9	
19	宮脇愛子	作品	1962（昭和37）年	油彩、大理石粉・合板	90.7×116.8	
20	李禹煥	線より	1977（昭和52）年	顔彩・画布	162.0×194.0	
21	岡本健彦	貼交図	1992（平成4）年	ミクストメディア	199.0×162.0	
22	オノサト・トシノブ	一つの円（作品C-B）	1965（昭和40）年	油彩・画布	130.9×162.3	
23	山口長男	かたち（青春）	1957（昭和32）年	油彩・画布	162.0×130.0	
24	磯辺行久	Work 62-18	1962（昭和37）年	ミクストメディア・板	137.0×121.5	
25	堀浩哉	ローマで鳥を見た1	1991（平成3）年	墨、アクリル、岩絵具、和紙・画布	227.3×361.8	
26	宮崎進	泥土	2004（平成16）年	ミクストメディア、麻布・画布	194.0×320.3	
◆屋外設置作品						
	若林奮	Valleys（2nd stage）	1989（平成元）	鉄	305.0×150.0×4586.0	
	高田安規子・政子	修復（通路）	2019（平成31）	インスタレーション		
	高田安規子・政子	修復（中庭）	2019（平成31）	インスタレーション		
	鈴木昭男	点音	2013（平成25）	インスタレーション		

展覧会名

令和3年度第4期所蔵品展

会　　期	2021年12月18日(土)～ 2022年4月3日(日)　開催日数99日間（休館日を除く）	
休 館 日	2021年12月29日(水)～ 2022年1月3日(月)、2月7日(月)、3月7日(月)	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円　※2月13日(日)は無料観覧日	
主　　催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4　朝井閑右衛門室　ギャラリートーク・ボランティアが選ぶ“推し”の1点 展示室5　所蔵作品で見る1960、70代日本の抽象表現 追悼：嶋田しづ 展示室6・7　特別展示　令和2年度　横須賀市新指定　重要文化財 北側ギャラリー、展示室8　特集：横須賀市立横須賀総合高校　美術活動の歩み	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	16,320	164.8
印 刷 物	特集：横須賀市立横須賀総合高校　美術活動の歩み	
	チラシ	A3二つ折り　5,000枚
	特別展示　令和2年度　横須賀市新指定　重要文化財	
	チラシ	A4判　5,000枚
	製作	ニューカラー写真印刷株式会社

展示風景

印刷物

A4チラシ

A3二つ折りチラシ

第4期所蔵品展　出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	備考
1	藤島武二	夢想	1904（明治37）	油彩・画布	45.7×33.4	
2	原撫松	男二人	1907-08（明治40-41）頃	油彩・画布	37.9×50.7	
3	梅原龍三郎	モレー	1911（明治44）	油彩・画布	60.5×73.7	
4	赤松麟作	水辺裸婦	不詳	油彩・画布	33.5×45.0	
5	木村荘八	畑；雑司が谷	1913（大正2）	油彩・画布	24.4×33.5	

◆展示室4　朝井閑右衛門室　ギャラリートーク・ボランティアが選ぶ“推し”の1点

6	朝井閑右衛門	自画像	c.1930（昭和5頃）	油彩・画布	30.3×24.0	
7	朝井閑右衛門	素描する人	c.1934（昭和9頃）	油彩・画布	91.0×72.5	
8	朝井閑右衛門	寒山拾得	不詳	墨、岩彩・紙	右95.6×30.5, 左76.9×30.5	
9	朝井閑右衛門	寒山拾得	不詳	墨、岩彩・紙	各67.5×29.4	
10	朝井閑右衛門	豊干入国清寺	1942（昭和17）	墨・紙	85.1×40.5	
11	朝井閑右衛門	蘇州城外月一照	1945（昭和20）	墨、岩彩・紙	94.6×52.7	
12	朝井閑右衛門	蘇州風景	c.1941（昭和16頃）	油彩・画布	61.0×72.7	
13	朝井閑右衛門	豊収（誉ノ家族）	1944（昭和19）	油彩・板	117.0×73.0	
14	朝井閑右衛門	猫の木のある交番	c.1947（昭和22頃）	油彩・画布	45.4×53.0	
15	朝井閑右衛門	ガラス台鉢	1959（昭和34）	油彩・画布	53.0×72.7	
16	朝井閑右衛門	ガラス台鉢	1948（昭和23）	油彩・画布	38.1×45.5	
17	朝井閑右衛門	蓬莱	c.1958（昭和23）	油彩、顔料・紙	138.3×69.0	
18	朝井閑右衛門	蓬莱	c.1958（昭和23）	油彩、顔料・紙	120.1×65.1	
19	朝井閑右衛門	蓬莱	c.1953（昭和28）	油彩・板	39.5×27.2	
20	朝井閑右衛門	蓬莱	c.1953（昭和28）	油彩・厚紙	44.7×20.7	
21	朝井閑右衛門	不動明王尊像	不詳	油彩・紙	39.8×31.5	
22	朝井閑右衛門	偉大なる慈悲の物象	1970（昭和45）	油彩・板	42.4×22.7	
23	朝井閑右衛門	ドン・キホーテの没落	1954（昭和29）	油彩・画布	91.4×56.0	
24	朝井閑右衛門	やけ跡	1952（昭和27）	油彩・画布	116.6×90.9	
25	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩・板	38.8×26.8	
26	朝井閑右衛門	サーカス	不詳	油彩・板	16.1×5.4	
27	朝井閑右衛門	［とら］	不詳	油彩・板	9.5×14.2	
28	朝井閑右衛門	サーカス	不詳	油彩・板	12.5×5.2	
29	朝井閑右衛門	ピエロ	不詳	油彩・板	12.7×5.3	
30	朝井閑右衛門	シラノ・ド・ベルジュラック	不詳	油彩・板	16.7×4.3	
31	朝井閑右衛門	［ヴァイオリンを弾くピエロ］	不詳	油彩・板	12.7×5.3	
32	朝井閑右衛門	ピエロ	不詳	油彩・板	12.8×4.5	

33	藤田嗣治	ル・アーブルの港	1917（大正6）	油彩・画布	45.8×60.9	
34	海老原喜之助	海と船	1927（昭和2）	油彩・画布	45.0×60.0	
35	中川紀元	カフェ	1920（大正9）	油彩・画布	115.7×80.0	
36	佐伯祐三	窓のある建物：パリ風景	1925（大正14）	油彩・画布	65.2×80.3	
37	国吉康雄	毛皮の女	1930（昭和5）	油彩・画布	71.5×64.3	
38	井上長三郎	スエズ	1943（昭和18）	油彩・画布	60.5×80.0	
39	井上長三郎	王朝の森（巴里）	1941（昭和16）	油彩・画布	131.0×162.0	

40	鶴岡政男	天使	1951（昭和26）	油彩・画布	65.2×53.0	
41	野見山暁治	室内の人	1959（昭和34）	油彩・画布	100.0×73.3	
42	川端実	リズム　茶	1958（昭和33）	油彩・画布	131.0×193.5	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（cm）	備考
◆展示室5　所蔵作品で見る1960、70代日本の抽象表現						
43	元永定正	無題	1963（昭和38）	エナメル、アクリル絵具・画布	112.0×146.0	
44	堂本尚郎	連続の溶解 #16	1966（昭和41）	油彩・画布	114.5×147.5	
45	白髪一雄	天敗星活閻羅	1960（昭和35）	油彩・画布	180.0×275.0	
46	磯辺行久	Work 62-18	1962（昭和37）	ミクストメディア・板	137×121.5	
47	オノサト・トシノブ	一つの円（作品C-B）	1965（昭和40）	油彩・画布	130.9×162.3	
48	芥川（間所）紗織	スフィンクス	1964（昭和39）	油彩・画布	130.3×162.0	
49	中西夏之	山頂の石蹴り No.6	1970（昭和45）	油彩・画布	73.0×91.5	
50	高松次郎	紙の単体#324	1971（昭和46）	紙、麻布・パネル	122.5×220.5	
51	李禹煥	線より	1977（昭和52）	岩彩・画布	162.0×194.0	
◆追悼：嶋田しづ						
52	嶋田しづ	地平線のかなた	1978（昭和53）	油彩・画布	113.4×161.5	作家寄贈
53	嶋田しづ	行進歌・遥かなる大地より	1998（平成10）	油彩・画布	194.0×162.4	
54	嶋田しづ	オリゾン・ヴェール	1993（平成5）	油彩・画布	194.6×259.2	
55	嶋田しづ	東方の賢人：ランコントルの歓び	1994（平成6）	油彩・画布	181.8×227.3	作家寄贈
56	島田章三	スザンナの部屋	1967（昭和42）	油彩・画布	162.0×130.5	
57	島田章三	横須賀	1988（昭和63）	油彩・画布	130.3×193.3	
◆展示室6・7　特別展示：令和2年度　横須賀市新指定　重要文化財						
58		銅造観音菩薩立像	鎌倉時代	銅、鍍金	H30.2	浄土寺蔵
59		銅造観音菩薩立像 ＊参考出品	鎌倉時代	銅、鍍金	H30.2	個人蔵
60		銅造阿弥陀如来立像 ＊参考出品	鎌倉時代	銅、鍍金		個人蔵
61	長島雪操	墨梅図	1888（明治21）	紙本墨画	151.0×48.0	個人蔵
62	長島雪操	墨梅図	1890（明治23）	紙本墨画	151.0×48.0	個人蔵
63	長島雪操	墨梅図	1892（明治25）	紙本墨画	135.5×65.5	個人蔵
◆北側ギャラリー、展示室8　特集：横須賀市立横須賀総合高校　美術活動の歩み						
◆屋外設置作品						
	若林奮	Valleys（2nd stage）	1989（平成元）	鉄	305.0×150.0×4586.0	
	高田安規子・政子	修復（通路）	2019（平成31）	インスタレーション		
	高田安規子・政子	修復（中庭）	2019（平成31）	インスタレーション		
	鈴木昭男	点音	2013（平成25）	インスタレーション		

1-1-3 谷内六郎館の記録

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展
第32回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念「みどりのちから」

会　　期	2021年4月10日(土)～ 7月11日(日)　開催日数90日間（休館日を除く）		
休 館 日	5月10日(月)、6月7日(月)、7月5日(月)		
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円		
主　　催	横須賀美術館		
観覧者数	実績（人）		一日平均（人）
	9,933		110.4
印 刷 物	チラシ	A4判　1,500枚	
	製作	ニューカラー写真印刷株式会社	

展示風景

印刷物

A4チラシ

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展　第32回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念　みどりのちから

No.	作　品　名	技法・支持体	発行年月日	備考
1	春の音	水彩・紙	1956（S31）年4月8日号	
2	けむり	水彩・紙	1956（S31）年5月8日号	
3	公園	水彩、コラージュ・紙	1956（S31）年5月22日号	
4	郊外電車	水彩、コラージュ・紙	1956（S31）年9月10日号	
5	青葉もまわる	水彩・紙	1957（S32）年5月6日号	
6	とんぼ	水彩・紙	1957（S32）年8月12日号	
7	雲のかげ	水彩・紙	1959（S34）年6月22日号	
8	せみがビー 自動車がビー	水彩・厚紙	1960（S35）年8月8日号	
9	山間小駅	水彩・厚紙	1961（S36）年5月29日号	
10	かぶと虫見つけた気持	水彩・厚紙	1961（S36）年7月17日号	
11	ひとりぼっちのスミレ	水彩・厚紙	1962（S37）年4月9日号	
12	水車もクルクル 傘もクルクル	水彩・厚紙	1962（S37）年6月4日号	
13	通り雨	水彩・厚紙	1962（S37）年8月6日号	
14	かやの峠道	水彩・厚紙	1962（S37）年8月20日号	
15	蝶の住む電車	水彩・厚紙	1963（S38）年4月29日号	
16	独自で行く子	水彩・厚紙	1963（S38）年5月13日号	
17	ベビーカメラマン	水彩、コラージュ・厚紙	1965（S40）年4月26日号	★
18	忍者のワッペン	水彩・厚紙	1965（S40）年5月3日号	
19	ハチのフロク	水彩・厚紙	1965（S40）年8月21日号	
20	若葉もパチパチアンコール	水彩・厚紙	1966（S41）年5月7日号	
21	小さなヒッチハイク	水彩・厚紙	1966（S41）年7月16日号	
22	山びこ	水彩・厚紙	1968（S43）年6月15日号	
23	工事中	水彩・厚紙	1968（S43）年7月6日号	
24	水面のライト	水彩・厚紙	1969（S44）年5月3日号	
25	タンポポのヘリコプター	水彩・厚紙	1969（S44）年5月24日号	
26	とったんじゃない　かりたの	水彩・厚紙	1969（S44）年6月7日号	
27	小鳥のマイク	水彩・厚紙	1970（S45）年3月21日号	
28	おいしい宿題	水彩・厚紙	1970（S45）年4月25日号	
29	廃線の駅	水彩・厚紙	1970（S45）年7月11日号	
30	蝶の生れるところ	水彩・厚紙	1971（S46）年4月3日号	
31	あずかっておいて	水彩・厚紙	1971（S46）年7月3日号	
32	自分で作った落とし穴	水彩・厚紙	1972（S47）年4月29日号	★
33	しずくのテレビ	水彩・厚紙	1972（S47）年6月3日号	
34	漂流	水彩・厚紙	1973（S48）年5月3日号	
35	薬やのくれた風船	ろうけつ染、着色・布	1973（S48）年5月10日号	
36	リボンについてくる蝶	水彩・厚紙	1974（S49）年4月4日号	
37	小川の音	水彩・厚紙	1974（S49）年6月6日号	
38	しずくが横綱になるまで	水彩・厚紙	1975（S50）年5月1日号	
39	こぼれ陽の映画館	水彩・厚紙	1975（S50）年5月29日号	
40	線路の音の記憶	水彩・厚紙	1976（S51）年4月8日号	
41	田んぼもカスリを着てる	水彩・厚紙	1976（S51）年6月17日号	
42	追いかけてくるつむじ風	水彩・厚紙	1977（S52）年4月7日号	
43	蝶のヨットレース	水彩・厚紙	1977（S52）年4月14日号	
44	年輪の夢	水彩・厚紙	1978（S53）年4月20日号	
45	ハートの夢　デンマークにて	水彩・厚紙	1979（S54）年3月22日号	
46	霧の汽車	水彩・厚紙	1979（S54）年6月14日号	
47	緑の波	水彩・厚紙	1980（S55）年5月8日号	
48	シャボン玉のけむり	水彩・厚紙	1980（S55）年7月17日号	
49	かげろうの記憶	水彩・厚紙	1981（S56）年4月23日号	
50	虹	水彩・紙	1981（S56）年5月14日号	

＊特に記載のない谷内六郎表紙絵作品および雑誌は、すべて横須賀美術館所蔵。ただし展示されている直筆原稿は個人蔵です。
＊作品名は、原則として作家による作品への書き入れに従っています。
＊リストに★をつけた号の『週刊新潮』をケース内に展示しています。

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展　鳥のいる風景

会　　期	2021年7月17日(土)～ 9月19日(日)　開催日数36日間（休館日を除く）	
休 館 日	8月2日(月)、9月6日(月)　※8月23日(月)～ 9月19日(日)臨時休館	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主　　催	横須賀美術館	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	5,317	147.7

展示風景

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展　鳥のいる風景

No.	作　品　名	技法・支持体	寸法（㎝）	発行年月日	備考
1	破船	水彩・紙	30.7×21.6	1958（S33）年1月27日号	
2	なぎさの虹	水彩、砂石・厚紙	40.5×29.6	1968（S43）年8月3日号	
3	船の家	水彩・厚紙	41.0×29.0	1976（S51）年6月10日号	
4	かもめをとるつもり	水彩・厚紙	41.0×30.3	1975（S50）年1月30日号	
5	つめたくて片足で立ってる	水彩・厚紙	40.5×28.5	1971（S46）年2月27日号	
6	冬の鳥	水彩、砂石・厚紙	35.0×24.0	1959（S34）年2月16日号	
7	雨やどり	水彩・厚紙	40.5×29.5	1970（S45）年9月5日号	
8	空の楽譜	水彩・厚紙	39.0×28.0	1968（S43）年4月20日号	★
9	ツバメフィルハーモニー訪日	水彩・紙	32.5×22.0	1958（S33）年5月26日号	
10	制限速度で来てよ	水彩・厚紙	40.8×29.5	1968（S43）年6月29日号	
11	特急ツバメの通る駅	水彩・厚紙	40.5×28.8	1972（S47）年6月17日号	
12	つばめの似合う店	水彩・厚紙	42.7×30.0	1975（S50）年6月26日号	
13	ツバメの来る夢	水彩・厚紙	40.5×30.0	1977（S52）年3月10日号	
14	ツバメが空を切る	水彩・厚紙	40.4×29.0	1977（S52）年7月7日号	
15	ツバメもモーニング	水彩・厚紙	40.3×30.4	1979（S54）年5月17日号	
16	スズメの椅子	水彩・厚紙	39.0×28.7	1966（S41）年2月19日号	
17	満員で困ってる	水彩・厚紙	40.7×29.5	1981（S56）年3月5日号	
18	とくい気なからす	水彩、筆の毛・厚紙	39.0×29.2	1966（S41）年11月26日号	
19	からすの火の番	水彩・厚紙	41.5×30.0	1969（S44）年3月15日号	
20	からすの郵便やさん	水彩・厚紙	40.8×28.8	1969（S44）年12月5日号	
21	からすのたき火	水彩・厚紙	40.5×29.2	1970（S45）年1月31日号	
22	廃線の駅	水彩・厚紙	42.2×30.5	1974（S49）年10月31日号	
23	雪が川から降る	水彩・厚紙	42.1×30.5	1975（S50）年2月13日号	
24	羽根	水彩・厚紙	41.0×29.8	1969（S44）年1月4日号	
25	タイプライターみたい	水彩・厚紙	41.0×29.7	1969（S44）年10月25日号	
26	招かざる客	水彩・厚紙	41.5×30.5	1974（S49）年6月20日号	
27	もちつきの日	水彩・厚紙	40.3×29.4	1972（S47）年12月23日号	
28	ふくろうの思い出	水彩・厚紙	40.3×28.5	1966（S41）年11月12日号	
29	ライトの中の幻想	水彩・厚紙	40.6×30.0	1973（S48）年10月18日号	
30	尺八ふいていた	水彩・厚紙	40.4×29.3	1976（S51）年9月23日号	★
31	ひばりの測量係	水彩・厚紙	40.5×30.0	1970（S45）年6月6日号	
32	小鳥のマイク	水彩・厚紙	40.5×29.8	1970（S45）年3月21日号	
33	はとのタキ火はもみじの葉	ろうけつ染、着色・布	40.0×30.0	1978（S53）年12月7日号	
34	羽根	水彩・厚紙	41.7×30.5	1974（S49）年1月3日号	
35	雪から生れる白い鷺	水彩・厚紙	40.8×29.3	1980（S55）年2月21日号	
36	トリもまねしてる	水彩・厚紙	42.0×30.5	1975（S50）年11月27日号	
37	キツツキ	水彩・厚紙	40.9×29.5	1971（S46）年10月23日号	
38	赤い鳥	水彩・紙	28.6×20.5	1958（S33）年2月3日号	
39	シーッきじがいる	水彩・厚紙	41.0×28.5	1971（S46）年1月23日号	
	『週刊新潮』	表紙《空の楽譜》《尺八ふいていた》			
	『メルヘン動物園』挿絵原画	《ペンギン鳥の旅》墨・紙	22.0×16.0	1977（S52）年	個人蔵
	『メルヘン動物園』挿絵原画	《カラスと虹》インク、墨・紙	22.5×15.8	1977（S52）年	個人蔵
	『メルヘン動物園』挿絵原画	《ペリカンの舞踏会》墨、鉛筆・紙	18.7×13.0	1977（S52）年	個人蔵
	『メルヘン動物園』挿絵原画	《白クジャク夫人》墨・紙	20.5×14.7	1977（S52）年	個人蔵
	『メルヘン動物園』			1977（S52）年	個人蔵
40	枯葉の季節	水彩・厚紙	37.5×27.7	1961（S36）年10月23日号	
41	鳥のお礼	水彩・厚紙	39.0×27.6	1963（S38）年2月25日号	
42	失敗	水彩・厚紙	39.1×28.8	1967（S42）年10月28日号	
43	切符	水彩・厚紙	39.2×28.0	1965（S40）年11月13日号	
44	花びらの切符	水彩・厚紙	40.5×29.5	1979（S54）年4月5日号	
45	小鳥も秋の手紙	水彩・厚紙	42.0×29.5	1979（S54）年10月25日号	
46	鳥がしらべて行った	水彩・厚紙	39.3×29.0	1967（S42）年9月16日号	
47	水鳥の織物工場	水彩・厚紙	40.5×29.0	1971（S46）年11月6日号	
48	山を切る鳥	水彩・厚紙	42.6×30.0	1975（S50）年10月9日号	
49	渡り鳥の話	水彩・厚紙	40.0×29.0	1967（S42）年11月18日号	
50	鳥も親子連れ	ろうけつ染、着色・布	40.0×30.0	1979（S54）年2月8日号	

＊特に記載のない谷内六郎表紙絵作品および書籍資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。
＊出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。
＊パネル内の誤字脱字は当時のままとしてあります。
＊リストに★のついた『週刊新潮』をケース内に展示しています。
＊〈週刊新潮　表紙絵〉の他にも鳥が登場する作品として、『メルヘン動物園』挿絵原画（個人蔵）を展示しました。

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展　谷内六郎にみる“雪月花”

会　　期	2021年12月18日(土)～ 2022年4月3日(日)　開催日数99日間（休館日を除く）	
休 館 日	2021年12月29日(水)～ 2022年1月3日(月)、2月7日(月)、3月7日(月)	
観 覧 料	一般380円／大学生・65歳以上280円　※2月13日(日)は無料観覧日	
主　　催	横須賀美術館	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	11,006	111.2

展示風景

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展　谷内六郎にみる“雪月花”

No.	作　品　名	技法・支持体	発行年月日	備考
1	初雪は北風の赤ちゃん	水彩・厚紙	1962（昭和37）年12月24日号	★
2	初雪のレース	水彩、レース・紙	1978（昭和53）年12月14日号	
3	初雪は物語めいて降る	水彩・厚紙	1970（昭和45）年12月19日号	
4	山から雪を運んできた	水彩・厚紙	1971（昭和46）年12月18日号	
5	吹雪のわたあめ屋	水彩・厚紙	1968（昭和43）年2月10日号	
6	雪夜の虹	水彩・厚紙	1974（昭和49）年1月24日号	
7	電燈の中	水彩・厚紙	1967（昭和42）年2月18日号	
8	雪の日	水彩・紙	1959（昭和34）年1月12日号	
9	人形のリフト	水彩・厚紙	1965（昭和40）年1月25日号	
10	雪の軍勢　火の子の軍勢	水彩・厚紙	1964（昭和39）年2月10日号	
11	とれすぎちゃった	水彩・厚紙	1970（昭和45）年2月7日号	
12	お家が空にのぼるよう	水彩・厚紙	1961（昭和36）年2月6日号	
13	赤い鳥	水彩・紙	1958（昭和33）年2月3日号	
14	牛も残雪	水彩・厚紙	1978（昭和53）年3月2日号	
15	上にいるお父さんへ	水彩・厚紙	1975（昭和50）年3月6日号	
16	お月さまの帽子	水彩・厚紙	1968（昭和43）年3月9日号	
17	月夜しずくの思い出	水彩・厚紙	1980（昭和55）年9月18日号	
18	月夜のプリズム	水彩・厚紙	1966（昭和41）年9月24日号	
19	月夜の蚊帳	水彩・厚紙	1974（昭和49）年8月29日号	★
特別出品	ドックの祝日	水彩・厚紙	1976（昭和51）年3月25日号	
20	月夜の音	水彩・厚紙	1962（昭和37）年7月30日号	
21	月夜のスポットライト	水彩・厚紙	1961（昭和36）年9月18日号	
22	コオロギのまつり	水彩・厚紙	1973（昭和48）年11月1日号	
23	月の出	水彩・厚紙	1969（昭和44）年10月4日号	
24	犬が沢山吠える夜	水彩・厚紙	1972（昭和47）年2月19日号	
25	光りもピンピン凍る夜	水彩・厚紙	1962（昭和37）年2月5日号	
26	月夜の童話	水彩・厚紙	1971（昭和46）年2月20日号	
27	ねこやなぎの水銀灯	水彩・厚紙	1977（昭和52）年3月17日号	
28	花はポンポン咲く	水彩・厚紙	1976（昭和51）年3月11日号	
29	花のぼんぼり	水彩・厚紙	1964（昭和39）年3月2日号	
30	桃の花もお風呂から出た色	水彩・厚紙	1961（昭和36）年3月20日号	
31	ひとりぼっちのスミレ	水彩・厚紙	1962（昭和37）年4月9日号	★
32	リボンについてくる蝶	水彩・厚紙	1974（昭和49）年4月4日号	
33	おこってるよ	水彩・厚紙	1973（昭和48）年5月24日号	
34	ハチもレストラン	水彩・厚紙	1961（昭和36）年8月14日号	
35	蝶はいつでもストロー持参	水彩・厚紙	1965（昭和40）年5月29日号	
36	海の庭	水彩・厚紙	1969（昭和44）年8月16日号	
37	月見草もついた	ろうけつ染、着色・布	1962（昭和37）年9月3日号	
38	帰えり道	水彩・厚紙	1965（昭和40）年10月16日号	
39	寒椿	水彩・厚紙	1980（昭和55）年1月10・17日合併号	
40	ぼくのクリスマスツリー	水彩・厚紙	1971（昭和46）年12月25日号	
41	ヤッコダコが相撲になった	水彩・厚紙	1974（昭和49）年2月7日号	
42	冬のかざぐるま	水彩・厚紙	1961（昭和36）年12月18日号	
43	波紋の幻想	水彩・厚紙	1964（昭和39）年10月12日号	
44	こおろぎの音	水彩・厚紙	1960（昭和35）年9月5日号	
45	月夜の標識	水彩・厚紙	1967（昭和42）年10月21日号	
46	花びらの踊る晩	水彩・厚紙	1972（昭和47）年4月8日号	
47	蝶のヨットレース	水彩・厚紙	1977（昭和52）年4月14日号	
48	朝顔の格子戸	水彩・厚紙	1977（昭和52）年7月28日号	
49	ケイトウの記憶　とれない手まり	水彩・厚紙	1977（昭和52）年11月24日号	
50	薬やのくれた風船	ろうけつ染、着色・布	1973（昭和48）年5月10日号	

＊特に記載のない谷内六郎表紙絵作品および書籍資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。
＊出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。
＊パネル内の誤字脱字は当時のままとしてあります。
＊リストに★のついた『週刊新潮』をケース内に展示しています。

1-2 教育普及事業

横須賀美術館令和3年度教育普及事業および関連するその他の事業について、下記の分類に基づき掲載する。

1-2-1　展覧会関連の教育普及事業
1-2-2　単独の教育普及事業
1-2-3　学校等との連携
1-2-5　教育普及に関連するその他の事業

凡例）場所／A：展示室、B：ワークショップ室、C：エントランスホール、D：海の広場、E：山の広場、F：オンライン（ZOOM）、G：オンライン（Youtube）
参加方法／a. 当日自由参加、b. 当日先着制、c. 事前申込制
参加料／※印：要観覧券

1-2-1 展覧会関連の教育普及事業（展覧会ごと）

展覧会名　**糸で描く物語　刺繍と、絵と、ファッションと。**

No.	日にち	時間	タイトル	出演者	場所・公開場所	参加者数（人）	対象	参加料	参加方法
1	2021年 5月13日(木)公開	6分43秒	出品作家トーク「糸で描く物語:樹田紅陽」（動画）	樹田紅陽 （出品作家）	A、G			無料	
2	2021年 5月23日(土)公開	2分44秒	出品作家トーク「糸で描く物語:蝸牛あや」（動画）	蝸牛あや （出品作家）	A、G			無料	
3	2021年 6月9日(水)公開	5分24秒	出品作家トーク「糸で描く物語:小林モー子」（動画）	小林モー子 （出品作家）	A、G			無料	
4	2021年 5月30日(日)	14:00 ～ 15:10	海の広場の東欧音楽コンサート	森裕美子（ソプラノ）、山崎千晶（バイオリン）、遠藤万里（バイオリン）、渡辺雅之（ビオラ）、永富さおり（チェロ）、原田遼太郎（コントラバス）	D	234	どなたでも	無料	b
4	2021年 6月25日(金) 公開	35分 38秒	海の広場の東欧音楽コンサート アーカイブ配信	森裕美子（ソプラノ）、山崎千晶（バイオリン）、遠藤万里（バイオリン）、渡辺雅之（ビオラ）、永富さおり（チェロ）、原田遼太郎（コントラバス）	G				

展覧会名　**みみをすますように　酒井駒子展**

※教育普及事業なし

展覧会名　**ビジュツカンノススメ　アートを楽しむ4つのヒント**

No.	日にち	時間	タイトル	出演者・講師	場所・公開場所	参加者数（人）	対象	参加料	参加方法
1	2021年 9月25日(土)公開	11分 02秒	「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー：廣村正彰	廣村正彰 （出品作家）	A、G			無料	
2	2021年 9月29日(水)公開	7分25秒	「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー：中川久	中川久（出品作家）	A、G			無料	
3	2021年 10月2日(土)公開	10分 02秒	「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー：浅見貴子	浅見貴子 （出品作家）	A、G			無料	
4	2021年 10月6日(水)公開	8分23秒	「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー：滝波重人	滝波重人 （出品作家）	A、G			無料	
5	2021年 10月9日(土)公開	11分 11秒	「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー：内田あぐり	内田あぐり （出品作家）	A、G			無料	
6	2021年 10月13日(水)公開	10分 11秒	「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー：高田安規子・政子	高田安規子・政子（出品作家）	A、G			無料	
7	2021年 10月9日(土)	13:30 ～ 16:00	内田あぐり+松原東洋のムーヴィング・ドローイング・ワークショップ～ダンサーの動きを描いてみよう！	内田あぐり（出品作家）、松原東洋（舞踏家）	B	6	18歳以上	1,000円	c
8	2021年 10月23日(土) 13時～ 16時	13:00 ～ 16:00	オンライン哲学カフェ ビジュツについておしゃべりしよう！	清水将吾 （アーダコーダ理事、立教大学兼任講師）	F	5	18歳以上	無料	c

展覧会名　くもんの子ども浮世絵コレクション　遊べる浮世絵

No.	公開日	時 間	タ イ ト ル	出演者	公開場所	参加者数（人）	対　象	参加料	参加方法
1	2021年 ①②③ 11月22日(月) ④12月10日(金) ⑤12月21日(火) 公開	①7分09秒 ②5分47秒 ③5分01秒 ④4分45秒 ⑤5分15秒	「遊べる浮世絵」WEB講演会 ①浮世絵と江戸文化―「遊べる浮世絵展」のあそびかた― ②おもちゃの浮世絵 ③おかしな浮世絵 ④なぞ解き浮世絵 ⑤怖～い！浮世絵	藤澤紫 （國學院大學文学部教授・国際浮世絵学会常任理事）	F				
2	2021年 ①11月22日(月) ②11月25日(木) ③11月30日(火) ④12月7日(火) ⑤12月20日(月) 公開	①5分52秒 ②4分52秒 ③5分53秒 ④6分37秒 ⑤4分52秒	「遊べる浮世絵」WEBワークショップ （期間限定） ①風車をまわそう！ ②うつしゑ劇場であそぼう ③きれいな小箱をつくろう！ ④よろいかぶとを組み立てよう！ ⑤すごろくで運だめし！	制作： 國學院大學 藤澤紫研究室 松浦里彩 （國學院大學兼任講師） 石隈聡美 （國學院大學特別研究生） 山口希 （國學院大學大学院） 浅川綾菜 （國學院大學大学院） 長瀬由香 （國學院大學大学院）	F				

展覧会名　第74回児童生徒造形作品展

※教育普及事業なし

展覧会名　ミロコマチコ　いきものたちはわたしのかがみ

No.	日にち	時 間	タ イ ト ル	出演者・講師	場所・公開場所	参加者数（人）	対　象	参加料	参加方法
1	2022年 2月26日(土)	①10:00～11:00 ②11:30～12:30 ③13:30～14:30	子どもオンライン美術鑑賞会～絵をみておしゃべりしよう！	NPO法人芸術資源開発機構ARDA （アルダ）	F	①6 ②4 ③0	①小学1、2年生 ②小学3、4年生 ③小学5、6年生	無料	c
2	2022年 3月20日(日)	10:30～12:00	ワークショップ くさっぱらのふね	ミロコマチコ	B	10 （5組）	4～8歳	500円	c
3	2022年 3月20日(日)	15:00～17:00	LIVE PAINTING 海を混ぜるV	ミロコマチコ （出品作家）、 haruka nakamura （音楽家）、 原田郁子 （clammbon・音楽家）	E	300	どなたでも	無料	c
4	2022年 3月20日(日) 公開	15:00～17:00	LIVE PAINTING 海を混ぜるV ライブ配信	ミロコマチコ （出品作家）、 haruka nakamura （音楽家）、 原田郁子 （clammbon・音楽家）	横須賀美術館 Instagram				
5	2022年 3月30日(水) 公開	5分08秒	LIVE PAINTING 海を混ぜるV ダイジェスト配信	ミロコマチコ （出品作家）、 haruka nakamura （音楽家）、 原田郁子 （clammbon・音楽家）	F				

展覧会名　令和3年度第3期所蔵作品展　谷内六郎展

No.	日にち	時間	タイトル	出演者・講師	場所	参加者数（人）	対象	参加料	参加方法
1	2021年 10月30日(土)	10:00～ 16:00	谷内六郎　アート縁日 出店	iriki（木製チャームorプッシュトイ）、mameritsuko（やじろべえ他）、CHATOY（ラッキーボール）、baby toi（レオナールサトコの似顔絵）、ニコニカ（スプレーシルク印刷トートバック）、ベーゴマ部、地球すくい、lantern（アイシングクッキー）	D	591	どなたでも	無料 （各出店で支払）	a
2	2021年 10月31日(日)	10:00～ 16:00	谷内六郎　アート縁日 出店	iriki（木製チャームorプッシュトイ）、ニコニカ（スプレーシルク印刷トートバック）、lantern（アイシングクッキー）、ベーゴマ部、地球すくい、馬場わかなの撮影会、CHATOY（ラッキーボール）、saitoe（似顔絵）	D		どなたでも	無料 （各出店で支払）	a
3	2021年 10月30日(土)	①10:30 ～12:00 ②14:00 ～15:30	谷内六郎　アート縁日 モビールづくり	UNICORN& UNICORN	B	①5 ②6	小学生～ 中学生	1,500円	c
4	2021年 10月30日(土)	①10:30 ～12:30 ②14:00 ～16:00	谷内六郎　アート縁日 カルトナージュの折り紙箱づくり	coffret	B	①4 ②4	小学 5年～	1,500円	c
5	2021年 10月31日(日)	①10:30 ～12:00 ②14:00 ～15:30	谷内六郎　アート縁日 ゴムパチンコづくりとパチンコ遊び	CHATOY	B	①8 ②9	年中～ 中学生	1,000円	c
6	2021年 10月31日(日)	①10:30 ～12:00 ②14:00 ～15:30	谷内六郎　アート縁日 創作昆虫ムシボットとムシバトル	ザリガニワークス　武笠太郎	B	①8 ②8	年中～ 中学生	1,000円	c

1-2-2 単独開催の教育普及事業

◆ワークショップ

No.	開催日 公開時期	時間	タイトル	講師・担当	場所	参加者数（人）	対象	参加料	参加方法
1	2021年 8月18日(水) 8月19日(木)	①9:30 ～12:00 ②14:00 ～16:30	こっちの街とあっちの街 衣笠商店街と谷内六郎 〈週刊新潮 表紙絵〉	当館学芸員	衣笠 ガレリア 会館	①9 ②9	衣笠小学校 の5・6年生	無料	c
	2021年 10月2日(土)～ 12月12日(日)		同サテライト展示	当館学芸員	衣笠 商店街 空店舗		どなたでも	無料	a
2	2021年 7月3日(土)	①10:00 ～13:00 ②14:00 ～17:00	オトナ・ワークショップ あずま袋を美術館で チョキチク	三橋友美 （服飾作家）	B	①5 ②3	18歳以上	3,000円	c
3	2021年 11月23日 （火・祝）	14:00～ 16:00	おやこワークショップ 「干支(寅)の絵付け教室」	五十嵐祐輔 （張子人形職人）	B	16 （8組）	どなたでも	1,500円	c
4	2022年 1月23日(土)	①10:00 ～12:00 ②13:30 ～15:30	オトナ・ワークショップ 「和紙にほどこす キラキラ箔もよう」	森田千晶 （和紙作家）	B	①6 ②5	18歳以上	3,000円	c

◆福祉関連事業

No.	開催日	時間	タイトル	講師・担当	場所	参加者数（人）	対象	参加料	参加方法
1	2022年 2月14日(月)	①14:00 ～15:00 ②15:15 ～16:00	認知症当事者と介護者を対象とした美術鑑賞プログラム「アートリップ」 ①デモンストレーション ②レクチャー	林容子 （一般社団法人アーツアライブ代表理事）	A, B	①6 ②6	認知症当事者 および 介助者	無料	c

◆障害児者ワークショップ「みんなのアトリエ」 →来館型ワークショップは全て中止、代替として自宅でできる活動をオンラインで紹介

No.	公開日	所要時間	タイトル	講師・担当	公開場所	参加者数（人）	対象	参加料	参加方法
1	2021年 7月6日(火)公開	6分8秒	つくって・コレクション！ 触覚ボール	ゆにここ （造形作家）	G		どなたでも	無料	
2	2021年 7月13日(火)公開	5分24秒	コネコネンド	後藤敦史 （イラストレーター・造形作家）	G		どなたでも	無料	
3	2021年 7月20日(火)公開	4分20秒	ペタペタペストリー	後藤敦史 （イラストレーター・造形作家）	G		どなたでも	無料	
4	2022年 2月15日(火)公開	4分06秒	バンバンハクバン！	後藤敦史 （イラストレーター・造形作家）	G		どなたでも	無料	
5	2022年 2月18日(金)公開	6分32秒	えのぐのえ！	後藤敦史 （イラストレーター・造形作家）	G		どなたでも	無料	
6	2022年 6月20日(月)公開 （3月制作）	8分31秒	くんくんウォーク	井上尚子 （アーティスト）	G		どなたでも	無料	

◆その他

No.	開催日	時間	タイトル	企画・実施	場所	参加者数（人）	対象	参加料	参加方法
1	2021年 10月23日(土) 10月24日(日)	10:00 ～ 17:00	koyart ～小屋とアートと地域の新鮮野菜に出会う	koyart 実行委員会	D		どなたでも	無料 （各店舗で支払）	a
2	2022年 3月29日(火)	13:30 ～ 16:00	先生のための美術館 活用講座 2021	村上智彦氏 （横須賀市立衣笠小学校教諭） 高松智行氏 （横須賀市立明浜小学校ことばの教室教諭）	F	17	教員、 美術館学芸員	無料	c

ボランティアイベント→全て中止。代替として「すかび隊のこれまで」をすかび隊FBおよびInstagramで公開。

No.	公開時期	タイトル
1	2021年 6月6日(土)	絵の具の海をおよごう ガリバーキャンバス
2	2021年 6月9日(水)	顔かおレンガ
3	2021年 7月7日(水)	空想水族館
4	2021年 7月8日(木)	どろんこキャンバス
5	2021年 7月12日(月)	みんなで月夜の音楽会 ～つくる・あそぶ・きく～
6	2021年 7月13日(火)	海の広場のメリークリスマス
7	2021年 7月20日(火)	爆裂色四舞鬼―絵の具の海で鬼ごっこ
8	2021年 7月21日(水)	海の広場のメリークリスマス2
9	2021年 7月27日(火)	海の広場のお花畑
10	2021年 8月12日(木)	ぺったんこアート ―海の広場でスタンプ遊びをしよう！
11	2021年 8月18日(水)	海の広場のメリークリスマス3 光るプチハウスに描こう
12	2021年 8月21日(土)	海風に泳げ！こいのぼり
13	2021年 8月23日(月)	絵の具の海のパイレーツ
14	2021年 8月29日(日)	海の広場のメリークリスマス4 光るプチツリーをつくろう！
15	2021年 9月5日(土)	描こう！キャンバスのトンネル
16	2021年 9月8日(水)	飛ばそう！シャボン玉

No.	公開時期	タイトル
17	2021年 9月14日(火)	海の広場のメリークリスマス5 光りの船をつくろう！
18	2021年 9月16日(木)	海風のみちを彩ろう
19	2021年 9月23日(木)	絵の具の海でおよごう ガリバーキャンバス2
20	2021年 9月27日(月)	海の広場のメリークリスマス6 光るプチくるケーキをつくろう！
21	2021年 10月3日(日)	空想動物園
22	2021年 10月13日(水)	シャボン玉仮面の夕べ
23	2021年 10月27日(水)	海の広場のメリークリスマス7 光るクリスマスドームをつくろう！
24	2021年 11月10日(水)	みんなであそぼう！ダンボールタウン
25	2021年 11月11日(木)	どろんこキャンバス2
26	2021年 11月16日(火)	海の広場のメリークリスマス8 光るプレゼントボックスをつくろう！
27	2021年 12月6日(月)	みんなであそぼう！ダンボールブロック
28	2021年 12月7日(火)	みんなであそぼう！ダンボールブロック
29	2021年 12月8日(水)	とばそう！シャボン玉3
30	2021年 12月16日(木)	美術館でハロウィン
31	2021年 12月17日(金)	クリスマスリースをつくろう

※2022年1月以降、次年度のイベント開催に向け、プロジェクトボランティアの活動を再開した。

シネマパーティー

No.	開催日・公開日	時間	タイトル	企画・出演	場所・公開場所	参加者数（人）	対象	参加料	参加方法
1	2021年 ①10月16日(土) ②10月17日(日)	18:00 ～ 19:30	シネマパーティー 2021 in 横須賀美術館 『ムーンライズ・キングダム』	キノ・イグルー （移動映画館）	C	①15 ②19	どなたでも	無料	c
2	2021年 ①10月21日(木)公開 ②10月28日(木)公開	①32分 39秒 ②33分 17秒	トーク動画 「ウェス・アンダーソンの世界」前後編	キノ・イグルー （移動映画館）	G				
3	2022年 ①3月26日(土) ②3月27日(日)	18:00 ～ 19:30	シネマパーティー 2022 in 横須賀美術館 『人生フルーツ』	キノ・イグルー（移動映画館）、トサカンムリフーズ（ケータリング）	B	①21 ②24	どなたでも	1,300円 （フード代）	c
4	2022年 ①②4月19日(火)公開	①21分 26秒 ②30分 43秒	トーク動画 「ドキュメンタリー映画入門編」前後編	キノ・イグルー （移動映画館）	G				

1-2-3 学校等との連携

横須賀美術館では、2007年（平成19年）の開館当初から、教育普及活動の一環として、学校連携の取り組みを積極的にすすめている。以下に、市立小・中学校をはじめとする学校等を対象とした事業について記載する。
令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小学校鑑賞会で学芸員、ボランティアによる引率を行わなかった（教員による事前下見と来館前の事前学習（YouTube動画の視聴）で対応した）。

◆小学生美術鑑賞会の受け入れ（平成19年度からの継続事業）

【内容】学芸員によるガイダンス、館内案内およびワークシートを用いた補助プログラムほか、鑑賞の前に、児童・生徒向けパンフレットを配付し鑑賞マナーについて啓発を行う。平成20年度から始めたボランティアと学芸員との連携による児童の誘導および展示室での対話鑑賞に取り組む。

実施状況

No.	実　施　日	来館時間	学　校　名	クラス数	児童数（人）	教諭数（人）	合計（人）
1	2021年11月2日㈫	10:00 ～ 11:30	荻野小学校	1	27	3	30
2	11月4日㈭	10:00 ～ 12:00	鶴久保小学校	3	91	6	97
3	11月4日㈭	12:30 ～ 14:30	浦郷小学校	3	108	5	113
4	11月5日㈮	10:00 ～ 11:30	追浜小学校	1	19	2	21
5	11月5日㈮	13:00 ～ 14:30	大塚台小学校	3	100	5	105
6	11月10日㈬	10:00 ～ 11:30	諏訪小学校	2	55	4	59
7	11月12日㈮	13:00 ～ 14:30	池上小学校	3	108	7	115
8	11月19日㈮	10:00 ～ 12:30	武山小学校	3	82	5	87
9	11月22日㈪	10:00 ～ 11:00	粟田小学校	2	61	4	65
10	11月22日㈪	13:25 ～ 14:55	走水小学校	1	3	2	5
11	11月24日㈬	13:00 ～ 14:30	小原台小学校	2	68	3	71
12	11月25日㈭	11:00 ～ 12:30	豊島小学校	2	43	3	46
13	11月25日㈭	12:45 ～ 14:30	津久井小学校	2	56	4	60
14	11月26日㈮	13:15 ～ 14:45	沢山小学校	1	20	2	22
15	11月30日㈫	10:00 ～ 11:30	桜小学校	1	36	2	38
16	12月3日㈮	13:20 ～ 14:40	城北小学校	3	91	4	95
17	12月7日㈫	13:30 ～ 15:00	大楠小学校	2	60	3	63
18	12月9日㈭	10:00 ～ 11:30	明浜小学校	3	108	3	111
19	12月10日㈮	10:15 ～ 11:45	山崎小学校	2	77	3	80
20	12月17日㈮	13:00 ～ 14:30	田浦小学校	1	23	3	26
21	12月20日㈪	10:00 ～ 11:30	岩戸小学校	2	46	4	50
22	12月21日㈫	13:20 ～ 14:30	大津小学校	2	70	3	73
23	12月22日㈬	10:00 ～ 11:30	夏島小学校	2	71	3	74
24	12月22日㈬	13:00 ～ 14:30	北下浦小学校	2	43	3	46
25	12月23日㈭	13:40 ～ 15:00	田戸小学校	3	102	4	106
26	2022年1月14日㈮	13:15 ～ 14:45	汐入小学校	1	11	2	13
27	1月18日㈫	10:00 ～ 11:45	浦賀小学校	3	79	4	83
28	1月19日㈬	10:00 ～ 11:30	大矢部小学校	2	63	4	67
29	1月20日㈭	10:00 ～ 11:30	逸見小学校	1	15	2	17
30	1月20日㈭	10:00 ～ 11:30	根岸小学校	3	82	4	86
31	1月21日㈮	10:00 ～ 11:30	久里浜小学校	3	124	4	128
32	1月21日㈮	13:45 ～ 14:45	衣笠小学校	2	77	3	80
33	1月24日㈪	10:00 ～ 12:00	神明小学校	2	76	4	80
34	中止		望洋小学校	0	0	0	0
35	1月25日㈫	10:20 ～ 11:20	野比東小学校	2	61	3	64
36	1月26日㈬	13:30 ～ 15:00	鴨居小学校	2	71	2	73
37	1月28日㈮	13:15 ～ 14:30	鷹取小学校	1	39	2	41
38	2月21日㈪	10:00 ～ 11:30	船越小学校	2	77	4	81
39	2月24日㈭	10:00 ～ 11:30	公郷小学校	3	108	4	112
40	2月24日㈭	13:25 ～ 14:50	長浦小学校	1	25	2	27
41	3月1日㈫	13:00 ～ 14:30	森崎小学校	3	98	4	102
42	3月7日㈪	10:00 ～ 11:30	野比小学校	3	82	5	87
43	3月8日㈫	13:30 ～ 15:00	高坂小学校	2	57	3	60
44	3月11日㈮	13:00 ～ 14:30	馬堀小学校	2	43	3	46
45	中止		富士見小学校	0	0	0	0
46	中止		長井小学校	0	0	0	0
			合計	90	2,756	149	2,905

◆第74回児童生徒造形作品展団体来館（小学生美術鑑賞会以外）

No.	実　施　日	来館時間	学　校　名	児童・生徒数（人）	教諭数（人）	合計（人）
1	2022年1月14日㈮	10:45 ～ 11:30	鴨居小学校4年	69	3	72
2	2022年1月14日㈮	11:00 ～ 11:40	鴨居小学校3年2組	24	1	25
3	2022年1月17日㈪	11:00 ～ 11:30	鴨居小学校3年1組	28	2	30
4	2022年1月18日㈫	10:00 ～ 11:00	鴨居小学校2年	43	2	45
5	2022年1月20日㈭	10:00 ～ 10:50	鴨居小学校1年	46	3	49
6	2022年1月20日㈭	10:00 ～ 10:30	鴨居小学校支援級	12	6	18
7	2022年1月20日㈭	10:00 ～ 11:30	ろう学校	7	9	16
8	2022年1月20日㈭	10:50 ～ 11:40	走水小学校3、4年	16	2	18
9	2022年1月24日㈪	10:00 ～	久里浜相談教室	8	0	8
10	2022年1月27日㈭	10:30 ～ 11:15	走水小学校1、2年	18	3	21
11	2022年1月28日㈮	14:00 ～ 15:00	走水小学校5、6年	17	2	19
			合計	288	33	321

◆その他の学校等対応（ガイダンスその他の鑑賞支援を実施した学校等）

No.	実　施　日	来館時間	学　校　名	生徒数（人）	教諭数（人）	合計（人）
1	2021年5月11日㈫	10:30 ～ 11:30	武山養護学校中等部・高等部	5	4	9
2	2021年7月6日㈫	10:20 ～ 11:30	市立養護学校中学部	6	8	14
3	2021年10月15日㈮	10:20 ～ 11:30	市立養護学校中学部	8	10	18
4	2022年2月18日㈮	11:30 ～ 13:30	横浜市立豊田小学校 個別支援学級	24	9	33
			合計	43	31	74

◆保育園鑑賞会

平成24年度から、保育課との連携により、市立保育園10園の年中・年長児に対する鑑賞支援活動を始めた。作品をパネル化した教材をもって学芸員が保育園に出向く「出前」活動と、その後、保育園児が来館して対話鑑賞を行う「遠足」活動とをセットにして実施している。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和3年度は「遠足」活動のみを実施した。

【内容】出前＝作品を使ったパズルやゲームなど（令和3年度は実施せず）
遠足＝対話鑑賞をベースとした学芸員によるギャラリーツアー。展示作品を基にした作品づくり などのアクティビティ。

実施状況　新型コロナウイルス感染拡大防止のため「遠足」活動のみ実施

No.	実　施　日	実施時間	園　名	対象	内容	人数（人）
1	2021年10月5日㈫	10:00 ～ 12:00	武山保育園	年長	遠足	18
2	2021年10月13日㈬	10:00 ～ 12:00	森崎保育園	年長	遠足	18
3	2021年10月19日㈫	10:00 ～ 12:00	ハイランド保育園	年長	遠足	18
4	2021年10月20日㈬	10:00 ～ 12:00	津久井保育園	年長	遠足	16
5	2022年1月18日㈫	10:00 ～ 12:00	上町保育園	年長	遠足	16
6	2022年1月26日㈬	10:00 ～ 12:00	鶴が丘保育園	年長	遠足	中止
7	2022年2月1日㈫	10:00 ～ 12:00／13:00 ～ 15:00	追浜保育園	年長	遠足	中止
8	2022年2月3日㈭	10:00 ～ 12:00	船越保育園	年長	遠足	中止
9	2022年2月9日㈬	10:00 ～ 12:00	鴨居保育園	年長	遠足	中止
					全9園・9回	86

◆中学生のための美術鑑賞教室

例年、夏休み中の中学生を対象とした「中学生のための鑑賞教室」を開催している。美術館についての説明と展示室での自由鑑賞を中心に実施する。
新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和2年度は「中学生のための美術鑑賞教室」を中止した。「中学生のための横須賀美術館鑑賞ガイド」（P.59）を美術館受付で配布し、あわせて美術館HP、ツイッター、FacebookにPDFを掲載した。

実施状況　新型コロナウイルス感染拡大防止のため「中学生のための美術鑑賞教室」を中止し鑑賞ガイドのみを配布した。

◆中学生職場（職業）体験の受入れ

例年、横須賀市立中学校からの依頼にもとづき、2年生の職場（職業）体験の受け入れを行っている。
なお例年同様令和3年度も、受け入れ態勢を計画的に整備する必要上、前年度末に教育委員会を通して受け入れ希望校を集約することとした。受け入れ生徒数は1日6名以内（1校2、3名程度）で、美術に関心のある生徒に限定して受け入れる旨も、あらかじめ各校に伝えた。希望校、日程、人数は調整の上決定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの学校が職場（職業）体験を中止した。

実施状況

No.	実　施　日	日数	学　校　名	人数（人）
1	2021年11月10日㈬～12日㈮	3	馬堀中学校	1
2	2021年11月11日㈭*	1	北下浦中学校	1

＊職場体験代替として職員へのインタビューを実施

◆高校生インターンシップの受入れ

例年、神奈川県内の高等学校からの依頼にもとづき、高校生インターンシップの受け入れを行っている。

実施状況

No.	実　施　日	日数	学　校　名	人数（人）
1	2021年8月11日㈬、12日㈭	2	神奈川県立金沢総合高等学校	1

◆学芸員実習の受入れ

実　施　日	日数	所属大学・専攻	人数（人）
2021年 7月27日㈫～29日㈭、 8月3日㈫～5日㈭ 10:00 ～17:00	6	関東学院大学人間共生学部共生デザイン科 武蔵野美術大学造形学部日本画学科日本画専攻 日本大学芸術学部美術学科絵画コース 中央大学文学部人文社会学科フランス文学文化専攻 美術史美術館コース 東京工芸大学芸術学部写真学科 東京大学文学部人文学科現代文芸論専修課程 東京工芸大学芸術学部映像学科	7

◆先生のための美術館‘もっと’活用講座

例年、学校教員を対象とした、美術館活用促進のための講座「先生のための美術館‘もっと’活用講座」を開催し、美術館が提供する教材や、その所蔵作品情報を積極的に活用して学校生活を充実させる試みについて、現場の先生方による実践例を紹介している。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン（ZOOM）で開催した。

実施状況

No.	実　施　日	日数	内　容	人数（人）
1	2022年3月29日㈫　13:30 ～16:00	1	第1部 美術館とのつきあい方について 「横須賀美術館と小学生をつなげる授業づくり～総合の授業実践を通して～」村上智彦氏（横須賀市立衣笠小学校教諭） 「美術館から生まれるもの」高松智行氏（横須賀市立明浜小学校 ことばの教室教諭） 第2部 意見交換／ヒアリング 美術館と一緒になにができるかを考える タブレットを用いた鑑賞プログラムについて	17

1-2-4 ボランティアの活動

横須賀美術館では、平成18年度から始まった「開館記念イベント企画実施ボランティア」の活動を基盤として、開館後は新たに「サポートボランティア」「プロジェクトボランティア」の2種のボランティアを募集した。
平成25年度に、ボランティアの活動実態と要望に合わせて、活動内容の見直しを行った。その結果、平成26年度から、次の5つの内容で活動を行うこととした。

1．ギャラリートークボランティア
2．小学校鑑賞会ボランティア
3．みんなのアトリエボランティア
4．プロジェクトボランティア
5．プロジェクト当日ボランティア

以下に、それぞれの活動内容を掲載する。
令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべてのボランティア活動を中止した。

◆ギャラリートークボランティアの活動

①活動内容―所蔵品展のギャラリートークを行う
②活動日時―ギャラリートークは毎週日曜日14時～ 15時　研修は毎月1回、日曜日10:30 ～ 12:00
③活動条件―資格：日曜日に活動できること
④募　　集―隔年4 ～ 5月
⑤研　　修―あり
⑥研修内容―所蔵品展レクチャー 4回+新規ボランティアメンバー向けのレクチャー 7回+館外研修1回
（日曜日とは限らない）　計12回（年）
⑦任　　期―1年間（更新有）

所蔵品展ギャラリートーク

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため所蔵品展ギャラリートークを中止。代替として第4期所蔵品展で朝井閑右衛門作品の紹介文を作成した。

◆小学生美術鑑賞会ボランティアの活動

①活動内容―小学生美術鑑賞会で来館する小学6年生の受入、鑑賞補助
②活動日時―6月～翌年3月の各小学校が希望した日時（原則として平日）
③活動条件・資格―平日に活動できること
事前研修に参加できること
最低月1回は活動できること
④募　　集―毎年4 ～ 5月
⑤研　　修―あり
⑥研修内容―企画展レクチャー 6回＋事前レクチャー 4回
⑦任　　期―1年間（更新有）

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小学校鑑賞会で学芸員、ボランティアによる引率を行わなかった。
研修　活動再開に向けて小学校鑑賞会ボランティア向けに「遊べる浮世絵展」レクチャーを行った（12月9日　10人参加）

◆みんなのアトリエボランティアの活動

①活動内容―障害児者向けワークショップ「みんなのアトリエ」の補助
②活動日時―毎月第3土曜日13:00 ～ 16:00
③活動条件・資格―18歳以上（高校生は不可）
土曜日の活動に参加できること。
④募　　集―随時
⑤研　　修―なし
⑥任　　期―1年間（更新有）

「みんなのアトリエ」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったため、活動は行わなかった。

◆プロジェクトボランティアの活動

①活動内容―ボランティアイベントの企画・準備・実施
②活動日時―原則として、毎月第2・4土曜日14:00 ～ 16:00。　※ただし、この限りではない。
　　イベント前日および開催日
③活動条件・資格―18歳以上（高校生は不可）、土曜日の活動に参加できること。
　　ボランティアイベントの当日ボランティアを一度経験すること。
④募　　集―随時
⑤研　　修―なし
⑥任　　期―1年間（更新有）

「ボランティアイベント」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、活動は行わなかった。
次年度のイベント開催の準備を行った（2022年1月8日　7人、3月12日　5人、3月23日　3人参加）。

◆プロジェクト当日ボランティアの活動

①活動内容―プロジェクトボランティアが企画したボランティアイベントの補助
②活動日時―年3回程度（春・夏・冬）
③活動条件・資格―15歳以上（中学生は不可）
④募　　集―ボランティアイベントごと
⑤研　　修―なし
⑥任　　期―ボランティアイベント当日のみ

「ボランティアイベント」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったため、活動は行わなかった。

1-2-5 託児サービス

横須賀美術館では、講演会・ワークショップ等の参加者向けの託児サービスと、月1回の定期託児サービスを実施している。
いずれの場合も対象は1歳から未就学児、事前申込制（各回5名まで）、無料。
なお、平成23年度から、土・日曜日だけではなく平日にも定期託児を実施している。
令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべての託児サービスを中止した。

実施状況　**新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止**

1-3 広報関連事業

美術館への来館を促進する広報活動の一環として、美術以外のさまざまなジャンルのイベントを開催し、また各所のイベントにブースを出展した。

◆集客イベント

No.	実　施　日	時　間	タイトル	講師・演者	場　所	参加者数（人）
1	2022年 1月10日（月・祝）	19時～ 20時	ニューイヤー コンサート2022	よこすかの音楽家を支援する会 渡邊達徳（ヴァイオリン）、石橋麻菜美（フルート）、荒井一穂（ギター）	本館地階 ギャラリー	71

一般財団法人シティサポートよこすかとの共催。当日は「よこすかの音楽家を支援する会」のYouTubeチャンネルでライブ配信を行った。

◆ブース出展

No.	実　施　日	時　間	タイトル	内　容	場　所	参加者数（人）
1	2022年 2月28日㈪～ 3月13日㈰	10時～ 17時	横須賀美術館 パネル展	横須賀美術館の紹介（所蔵作品、建築、ふるさと納税の取り組み等） 横須賀美術館の四季折々 開催中の展覧会等　チラシ・パンフレット配架コーナー	コースカ ベイサイド ストアーズ　5階 コミュニティ ルーム	—

2 刊行物

令和3年度に発行した刊行物は下記のとおりである。

2-1 出版物

◆展覧会図録

No.	図録の名称	発行年月日	販売価格（円）	発　行	発行部数（部）
1	糸で描く物語 刺繍と、絵と、ファッションと。	2021年4月	2,200	株式会社イデッフ	750
2	みみをすますように　酒井駒子展	2021年7月	4,180	ブルーシープ株式会社	501
3	ビジュツカンノススメ アートを楽しむ4つのヒント	2021年9月	1,300	横須賀美術館	700
4	遊べる浮世絵	2018年1月	2,530	青幻舎プロモーション	107
5	ミロコマチコ いきものたちはわたしのかがみ	2021年2月	3,850	朝日新聞社	1,073
6	生誕100年　谷内六郎展 公式図録 「谷内六郎　いつか見た夢」	2021年8月	2,200	新潮社	627

*1、2、4、5、6については取り扱い部数とする

1

2

3

4

5

6

2-2 配布物

◆横須賀美術館ニュース「Corridart（コリダール）」

No.	名　称	発行年月	内　容
1	横須賀美術館ニュース Corridart Vol.27	2021年9月	生誕100年　谷内六郎展 あなたの街にもあるかも？ 谷内六郎モザイク壁画マップ 1《砂山》1969年　堀越ビル（旧金竜堂書店）、2《傘の穴は一番星》1975年　山陽堂書店、3《水面のライト》1975年　くまざわ書店八王子店、4《芽生え》1979年　千歳台小学校　5《なかなかとどかない》1985年　新潮社別館、6《春の終点》1981年　世田谷美術館（屋内） 《芽の出る音》1972年　苫小牧市科学センター、《立山の早春》1972年　旧清明堂書店、《西洋館の思い出》1978年　旧谷島屋書店 まだまだあります！大切に守っていきたい六郎さんの壁画たち 《題不明》1977年　京王福祉会双葉保育園（屋内）、《動物たち》1979年　松原北保育園、《上之台遺跡》個人邸 ○展覧会紹介　ビジュツカンノススメ　アートを楽しむ4つのヒント 1アトリエのひみつ　2絵画とブックデザイン　3作品のつくりかた　4美術館を探検 ○お知らせ　「ポケット学芸員」はじめました ○この1点　阿部金剛《風景》

Corridart vol.27　　A4 四つ折（表面）

（中面）

◆小中学生用チラシ
生誕100年 谷内六郎展　いつまで見ててもつきない夢（2021年8月）

A4（表面）

（裏面）

◆中学生のための鑑賞教室　鑑賞ガイド2021（2021年7月）

A4 二つ折り（表面）

（中面）

◆年間スケジュール（2022年3月）

A4 巻三つ折（表面）

（中面）

3 調査・研究活動

令和3年度は、2. 刊行物に掲載したとおり、展覧会図録のほか、『横須賀美術館ニュースCorridart』等の刊行物を発行した。このなかで成果を発表した学芸員による調査・研究活動について以下に掲載する。

3-1 論文等

図録および横須賀美術館の印刷物等で発表した論文、執筆した解説等は次のとおりである。

執筆者	内　容	タ　イ　ト　ル	掲載誌など
冨田康子	解説等	章解説	『糸で描く物語　刺繍と、絵と、ファッションと。』（株式会社イデッフ、2021年）
	インタビュー	「樹田紅陽インタヴュー」「小林モー子インタヴュー」「蝸牛あやインタヴュー」	
	インタビュー	「インタビュー　川田祐子」	『ビジュツカンノススメ　アートを楽しむ4つのヒント』（横須賀美術館、2021年9月）
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
工藤香澄	解説等	章解説、作家略歴、解説、解題	『ビジュツカンノススメ　アートを楽しむ4つのヒント』（横須賀美術館、2021年9月）
	インタビュー	「インタビュー　内田あぐり」「インタビュー　浅見貴子」「インタビュー　滝波重人」「インタビュー　中川久」「インタビュー　高田安規子・政子」「インタビュー　廣村正彰」	
	解説等	コラム「横須賀美術館の鑑賞支援教材―アートカードと触図」	
	作品解説	この1点　阿部金剛《風景》	Corridart vol.27（横須賀美術館、2021年9月）
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
日野原清水	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
中村貴絵	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
立浪佐和子	解説等	コラム「横須賀美術館の鑑賞支援教材―アートカードと触図」	『ビジュツカンノススメ　アートを楽しむ4つのヒント』（横須賀美術館、2021年9月）
沓沢耕介	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
栗林陵	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」

4 収集・管理

4-1 作品収集

令和3年度の新収蔵品は、次のとおりである。

(1)購入

No.	分類	作家名	作　品　名	制作年	技法・支持体	寸法（cm）
1	油彩	矢崎千代二	秋の園	1900（明治33）年	油彩・画布	81.3×60.8

(2)寄贈

No.	分類	作家名	作　品　名	制作年	技法・支持体	寸法（cm）
2	油彩	野見山暁治	重い時間	2009（平成21）年	油彩・画布	162.0×194.0
3	版画	上田薫	ジェリーにナイフ C	1989（平成元）年	リトグラフ・紙	54.0×74.0
4	資料	谷内六郎／谷内こうた	〔スケッチブック〕	1955-59（昭和30-34）年頃	鉛筆・紙	21.1×39.7

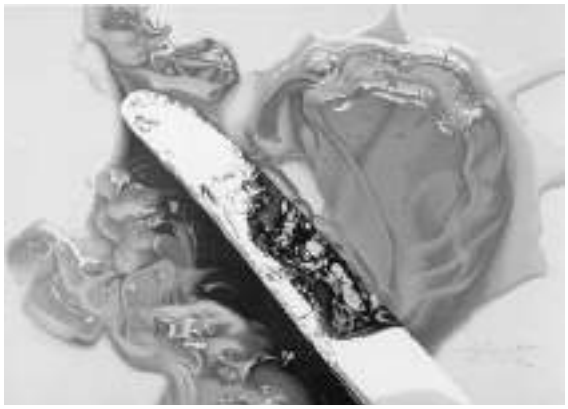
No.1

矢崎千代二
秋の園
1900（明治33）年
81.3×60.8cm
購入
油彩
油彩・画布

No.2

野見山暁治　重い時間
2009（平成21）年　162.0×194.0cm
寄贈　油彩
油彩・画布

No.3



上田薫　ジェリーにナイフ C
1989（平成元）年　54.0×74.0cm
寄贈　版画
リトグラフ・紙

No.4

谷内六郎／谷内こうた　〔スケッチブック〕
1955-59（昭和30-34）年頃　21.1×39.7cm
寄贈　資料
鉛筆・紙

4-2 保存・修復

4-2-1 保存

作品保存の観点から、収蔵・展示施設内の環境調査を年2回実施した。

期　間	第１回	第２回
	５月10日～６月７日	７月６日～８月10日
①昆虫類調査	収蔵施設では昆虫類の影響は少ない。 BF展示室、BFギャラリーでシミを確認。	収蔵施設では昆虫類の影響は少ない。 BF展示室でシミを確認。
②菌類調査	収蔵庫１・２に比べ、前室・保管庫では多い傾向がみられた。	収蔵庫１・２は問題ない環境。
③気相調査	すべての測定箇所で良好。	一部で有機酸の値が基準値を上回ったが、おおむね良好といえる。

①昆虫類調査

粘着式トラップ（歩行性昆虫）	設置箇所	第１回	第２回
収蔵庫1	18	クモ　1	捕獲なし
収蔵庫2	12	捕獲なし	捕獲なし
収蔵庫前室	3	捕獲なし	チャタテムシ　1
保管庫	4	クモ　1	チャタテムシ　2／コバエ　2／その他　2
荷解室	3	チョウバエ　1／コバエ　1／ゲシ　1	チャタテムシ　10／チョウバエ　3／アリ　2／コバエ　1
展示室1～3	8	チョウバエ　2	捕獲なし
1階展示ギャラリー	4	チョウバエ　1／コバエ　1／クモ　1	チャタテムシ　4／コバエ　2
展示室4～8	6	シミ　3／コバエ　3／チャタテムシ　2／アリ　2／その他　2	チャタテムシ　2／アリ　1／シミ　2／その他　1
地階展示ギャラリー	11	アリ　10／コバエ　8／クモ　4／チャタテムシ　2／シミ　2／コメツキムシ　2／チョウバエ　1／その他　4	チャタテムシ　20／コバエ　15／アリ　8／チョウバエ　5／クモ　3／ユスリカ　1／その他　2
谷内六郎館	5	コバエ　6／チャバネゴキブリ　3／クモ　2／アリ　2／チャタテムシ　1	チャタテムシ　21／コバエ　4／クモ　4／その他　2
閉架書庫	6	チャタテムシ　30／コバエ　1／その他　4	チャタテムシ　16／ハサミムシ　2／クモ　2／その他　2

フェロモントラップ	設置箇所	第１回	第２回
収蔵庫1	3種×2	捕獲なし	捕獲なし
収蔵庫2	3種×2	捕獲なし	捕獲なし
保管庫	3種×1	捕獲なし	捕獲なし

※タバコシバンムシ・ジンサンシバンムシ・カツオブシムシ類の3種

②菌類調査

空中浮遊菌	調査箇所	第１回		第２回	
		一般真菌	好稠性真菌	一般真菌	好稠性真菌
収蔵庫1	4	2	1	0	3
収蔵庫2	3	3	0	1	1
収蔵庫前室	1	2	2	0	0
保管庫	1	2	2	0	0
荷解室	1	55	53	4	4

※数値は、一定時間空気に曝露したサンプル（アガーストリップ）に付着した菌の数　※好稠性真菌：乾燥を好む種類の真菌（カビ）

③気相調査

	測定箇所	第１回		第２回	
		有機酸	アンモニア	有機酸	アンモニア
収蔵庫1	5	基準値内	基準値内	2箇所で基準値超	基準値内
収蔵庫2	3	基準値内	基準値内	1箇所で基準値超	基準値内
収蔵庫前室	1	基準値内	基準値内	基準値超	基準値内
保管庫	1	基準値内	基準値内	基準値内	基準値内

※基準濃度→有機酸（酢酸）：175ppb　アンモニア：30ppb

4-2-2 修復・額装

平成20年度に寄贈を受けた谷内六郎による大型の素描について、当年度の展示に合わせて修復、新規額装を行った。その他、近年受け入れた油彩作品2点について軽微な修復を行った。
油彩作品8点について、固定状態や映り込みの改善を目的とした額の改修または調整を行った。島田章三による油彩作品1点については、既存額の活用が難しかったため、意匠を継承しつつ新規に額装した。

No.	内　容	作家名	作　品　名	制作年	作品種別
1	修復・新規額装	谷内六郎	上馬交響楽団	不詳	素描
2	修復・額改修	深澤孝哉	抽象（鳥）	1964年	油彩
3	修復	淀井彩子	SOUTH Ⅰ	1981年	油彩
4	新規額装	島田章三	鳥放つ	1983年	油彩
5	額改修	中川紀元	カフェ	1920年	油彩
6	額改修	中川紀元	画室	1920年	油彩
7	額改修	朝井閑右衛門	マジョリカ台鉢	1952年	油彩
8	額改修	島田章三	オダリスク	1968年	油彩
9	額改修	高畠達四郎	網代遠望	1949年	油彩
10	額調整	島田章三	ランプの静物	1982年	油彩
11	額調整	島田章三	人ありて花あり	1988年	油彩
12	額調整	島田章三	らせんかいだんとうみ	2015年	油彩

4-3 作品の貸出

所蔵作品について、下記のとおり3件、4点の貸出を行った。

No.	作　品	点数	展　覧　会	会場（会期）
1	藤島武二《夢想》	1	あやしい絵展	東京国立近代美術館（3月23日～ 5月16日） ＊新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言のため4月25日から休館し、再開せず会期終了 大阪歴史博物館（7月3日～ 8月15日）
2	三岸節子《室内》	1	貝殻旅行 ―三岸好太郎・節子展―	北海道立三岸好太郎美術館 （6月26日～ 9月1日） 砺波市美術館（9月11日～ 11月10日） 神戸市立小磯記念美術館 （11月20日～ 2022年2月13日） 一宮市三岸節子記念美術館 （2月19日～ 4月10日）
3	奥谷博《雉子とサギ》《哀詩》	2	奥谷博―無窮へ	高知県立美術館（11月3日～ 2022年1月16日） 神奈川県立近代美術館 葉山 （2月12日～ 4月13日）

5 図書室

5-1 図書室

日本近代美術史研究者として知られる匠秀夫氏（1924 ～ 1994）から寄贈を受けた旧蔵書をもとに、美術専門の図書室として一般に公開している。美術に関する図書資料を収集、整理、保存、公開することを活動の目的とする。

5-1-1 所蔵資料数

図書室の所蔵資料数及び令和3年度の受入登録数は次の通りである。

■図書・カタログ登録冊数

	受入登録数（冊）			収蔵総数（冊）		
図　書	309	和書	307	18,783	和書	18,171
		洋書	2		洋書	612
カタログ	496	和書	492	14,715	和書	14,328
		洋書	4		洋書	387
合　計	805			33,498		

■逐次刊行物タイトル数

	受入登録数（誌）	収蔵総数（誌）
雑誌	37	529
年報・紀要類	10	252

■その他所蔵点数

	受入登録数（点）	収蔵総数（点）
AV資料（DVD、CD）	1	112

5-1-2 利用統計

年　　月	開室日数（日）	入室者数（人）	コピー機利用（枚）
2021年4月	29	914	148
5月	30	1,268	33
6月	29	1,220	118
7月	30	1,415	37
8月	21	1,626	48
9月	0	0	0
10月	30	926	111
11月	29	1,003	10
12月	27	590	81
2022年1月	27	806	16
2月	27	1,068	52
3月	30	1,368	74
令和3年度合計	309	12,204	728

6 記 録

6-1 組織

6-1-1 外部委員会

■運営評価委員会

横須賀美術館の運営・事業計画および実績が適切なものであるかについて評価し、適正化を図るため、平成19年度より横須賀美術館評価委員会を設置していた。平成25年4月1日から、横須賀美術館運営評価委員会条例を施行し、名称を「横須賀美術館運営評価委員会」と改めた。
令和3年度の委員は次のとおりである。

令和元年10月1日～令和3年9月30日

委 員 長	小林　照夫	関東学院大学名誉教授
副委員長	菊池　匡文	横須賀商工会議所専務理事
委　　員	柏木　智雄	横浜美術館副館長
委　　員	濱田　真行	観音崎京急ホテル取締役社長
委　　員	三浦　　匡	横須賀市立馬堀小学校校長
委　　員	小林　　恵	市民委員
委　　員	中村　泰久	市民委員

令和3年10月1日～

委 員 長	小林　照夫	関東学院大学名誉教授
副委員長	菊池　匡文	横須賀商工会議所専務理事
委　　員	柏木　智雄	横浜美術館副館長
委　　員	濱田　真行	観音崎京急ホテル取締役社長（令和4年3月31日まで）
委　　員	三浦　　匡	横須賀市立馬堀小学校校長
委　　員	川口　香世	市民委員
委　　員	鈴木　優子	市民委員

■美術品評価委員会

本市における美術品取得について、適正かつ円滑な選定評価を行うため、美術品選定評価委員会を設置していた。平成25年4月1日から、横須賀美術館美術品評価委員会条例を施行し、名称を「横須賀美術館美術品評価委員会」と改めた。
令和3年度の委員は次のとおりである。

【委員名簿】

委員長	新畑　泰秀	（石橋財団アーティゾン美術館学芸課長）
委　員	小泉　淳一	（茨城県天心記念五浦美術館館長）
委　員	長門　佐季	（神奈川県立近代美術館企画課長）
委　員	光田　由里	（多摩美術大学教授）
委　員	山梨絵美子	（千葉市美術館館長）

6-1-2 委員会の開催記録

■運営評価委員会

令和3年度第1回会議
日時：令和3年7月26日㈫　14:00 ～ 15:30
場所：横須賀美術館　ワークショップ室

令和3年度第2回会議
日時：令和3年11月22日㈪　10:00 ～ 12:00
場所：横須賀美術館　ワークショップ室

令和3年度第3回会議
日時：令和4年3月30日㈬　13:00 ～ 15:00
場所：横須賀美術館　ワークショップ室

■美術品評価委員会

令和3年度会議
日時：令和3年7月17日㈯　14:00 ～ 17:00
場所：横須賀美術館　ワークショップ室／収蔵庫

6-1-3 職員等

令和3年度のおもな美術館職員は次のとおりである。

【名簿】

館長	佐々木暢行	学芸員（課長補佐）	冨田　康子	図書スタッフ	北峰　直美
美術館運営課長	岡本　剛彦	（主査）	工藤　香澄		嘉山久美子
管理運営係長	下田　哲央	学芸員（主任）	日野原清水		立花　恵子
管理運営係課長補佐	久保田　毅		中村　貴絵		山田　美恵
広報係長	小川淳太朗		立浪佐和子		中原　直子
広報主任	八島　裕子		沓沢　耕介		
庶務担当	本間佑太郎	学芸スタッフ	林田ゆみ子		
広報スタッフ	江山　玲奈		栗林　　陵		
管理運営スタッフ	秋田　正司				

6-2 開館日数・観覧者数

令和3年度の美術館開館日数、観覧者数は次のとおりである。

開館日数　309日
観覧者数 91,809人（うち有料58,768人、無料33,041人）

6-3 歳入・歳出

令和3年度の美術館に関わる歳入・歳出は次のとおりである。

6-3-1　歳入

美術館観覧料	48,081,860円
美術館駐車場使用料	12,008,410円
特別利用料	39,900円
国庫補助金	9,446,825円
県補助金	1,146,000円
寄附金（ふるさと納税ほか）	2,949,000円
美術品等取得基金繰入金	1,800,000円
図録売払代等雑入	18,010,994円
（計）	93,482,989円

6-3-2　歳出

給与費	123,369,184円
美術館展覧会事業費	78,364,060円
美術館教育普及事業費	4,044,108円
美術品収集管理保管事業費	6,643,748円
美術館運営事業費	4,110,746円
美術館管理事業費	282,854,500円
美術品等取得基金	2,849,000円
（計）	502,235,346円

7 資料

7-1 条例等

7-1-1 美術館条例

平成18年6月14日
条例第35号
改正　平成25年12月17日条例第76号
令和元年9月25日条例第11号
令和3年12月17日条例第74号

美術館条例をここに公布する。

美術館条例

（設置）
第1条　美術を通じたさまざまな交流の機会を提供し、市民の美術に対する理解と親しみを深め、もって文化の向上を図るため、本市に博物館法（昭和26年法律第285号）に基づく美術館を設置する。
（位置及び名称）
第2条　美術館の位置及び名称は、次のとおりとする。
位置　横須賀市鴨居4丁目1番地
名称　横須賀美術館
（休館日等）
第3条　美術館の休館日等は、次に掲げるとおりとする。
⑴美術館棟
ア　毎月の第1月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときを除く。）
イ　12月29日から翌年の1月3日までの日
⑵屋上広場及び駐車場　無休
2　市長は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に美術館棟の休館日を変更し、若しくは設け、又は屋上広場若しくは駐車場の休場日を設けることができる。
3　臨時に休館し、又は休場するときは、その都度美術館前にその旨を掲示するものとする。
（令3条例74・一部改正）
（開館時間等）
第4条　美術館の開館時間及び開場時間は、次に掲げるとおりとする。ただし、市長において特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
⑴美術館棟
ア　1月から5月まで（4月29日から5月5日までの日を除く。）及び10月から12月まで　午前10時から午後6時まで
イ　6月から9月まで（土曜日を除く。）　午前10時から午後7時まで
ウ　6月から9月までの土曜日及び4月29日から5月5日までの日　午前10時から午後8時まで
⑵屋上広場　午前9時から午後9時30分まで
⑶駐車場　午前8時から午後10時まで
（令3条例74・一部改正）
（観覧料及び使用料）
第5条　展示室に展示する美術作品又は美術に関する資料（以下「美術作品等」という。）を観覧しようとする者は、観覧料を納付しなければならない。
2　駐車場を使用しようとする者は、使用料を納付しなければならない。
3　観覧料及び使用料の額は、別表のとおりとする。
4　前項の規定にかかわらず、市制施行記念日（その日が日曜日以外の日に当たるときは、その日に最も近い日曜日）又は国民の祝日に関する法律第2条に規定する文化の日に美術作品等を観覧する場合は、観覧料を無料とする。
5　観覧料は、市長が特別の理由があると認めるもののほか、前納しなければならない。
6　市長は、特別の理由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。
（令3条例74・一部改正）
（特別利用許可）
第6条　美術館に収蔵されている美術作品等の営利を目的とした模写、模造若しくは撮影又は当該美術作品等の写真の原版若しくは電磁的記録の使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
2　市長は、管理上必要があると認めるときは、特別利用の許可について条件を付することができる。
3　市長は、管理上支障があると認めるときは、特別利用の許可を取り消し、特別利用を制限し、又は特別利用の停止を命じなければならない。
（令3条例74・一部改正）

（特別利用料）
第７条　特別利用の許可を受けた者については、1点1回につき2,100円の特別利用料を徴収する。
　２　特別利用料は、市長が特別の理由があると認めるもののほか、前納しなければならない。
　３　市長は、特別の理由があると認めるときは、特別利用料を減免することができる。
（平25条例76・令元条例11・令3条例74・一部改正）
（観覧料等の還付）
第８条　既納の観覧料及び特別利用料は、還付しない。ただし、観覧又は特別利用をする者の責めによらない理由により観覧又は特別利用ができない場合は、その全部又は一部を還付することができる。
（行為の禁止）
第９条　美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。
　⑴物品の販売、寄付金の募集その他これらに類する行為（市長の許可を受けたときを除く。）
　⑵その他市長において管理上支障があると認める行為
（令3条例74・一部改正）
（入館の禁止）
第10条　次に掲げる者は、入館することができない。
　⑴他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる物品を携帯する者
　⑵他人に迷惑を及ぼし、又は秩序を乱すおそれのある者
　⑶その他市長において管理上支障があると認める者
（令3条例74・一部改正）
（その他の事項）
第11条　この条例に定めるもののほか、美術館の管理について必要な事項は、市長が定める。
（令3条例74・一部改正）
附　則
この条例の施行期日は、規則で定める。
（平成19年4月25日規則第64号により平成19年4月28日から施行）
附　則（平成25年12月17日条例第76号）抄
１　この条例は、平成26年4月1日から施行する。
附　則（令和元年9月25日条例第11号）抄
１　この条例は、令和2年4月1日から施行する。
附　則（令和3年12月17日条例第74号）抄
１　この条例は、令和4年4月1日から施行する。

別表（第5条第3項関係）
（平25条例76・令元条例11・令3条例74・一部改正）
１　観覧料

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">区　　分</th><th colspan="2">観　覧　料</th></tr>
<tr><th>個　人</th><th>20人以上の団体</th></tr>
<tr><td rowspan="3">常　設　展</td><td>15歳以下の者（高校生を除く。）</td><td rowspan="3">1人1日につき</td><td colspan="2">0円</td></tr>
<tr><td>高校生、大学生及び65歳以上の者</td><td>280円</td><td>220円</td></tr>
<tr><td>一般</td><td>380円</td><td>300円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">企　画　展</td><td>15歳以下の者（高校生を除く。）</td><td rowspan="2">1人1日につき</td><td colspan="2">0円</td></tr>
<tr><td>上記以外の者</td><td colspan="2">その都度市長が定める額</td></tr>
</table>

備考
１　企画展の観覧料には、常設展の観覧料を含むものとする。
２　次に掲げる者の観覧料は、無料とする。
　⑴規則で定める障害者及びその者を介助する者（障害者1人につき1人を限度とする。）
　⑵本市の区域内に住所を有する高校生
　⑶本市の区域内に存する高校に在学する者

２　使用料

<table>
<tr><th colspan="2">区　　分</th><th>使　用　料</th></tr>
<tr><td rowspan="2">普通自動車</td><td>1回1時間まで</td><td>320円</td></tr>
<tr><td>1回1時間を超えた場合は、320円に1時間を超えた時間30分までごとに160円を加算する。ただし、1,600円を超えるときは、1,600円とする。</td></tr>
<tr><td>自動二輪車及び原動機付自転車</td><td>1回につき</td><td>210円</td></tr>
<tr><td>上記以外の自動車</td><td>1回につき</td><td>1,570円</td></tr>
</table>

備考
１　普通自動車とは、道路交通法（昭和35年法律第105号）第3条に規定する普通自動車をいう。
２　自動二輪車とは、道路交通法第3条に規定する大型自動二輪車及び普通自動二輪車をいう。
３　原動機付自転車とは、道路交通法第2条第1項第10号に規定する原動機付自転車をいう。

7-1-2 美術館条例施行規則

平成19年3月12日
教育委員会規則第1号
改正　平成20年9月1日教規則第9号
平成22年4月1日教規則第9号
平成25年12月17日教規則第12号
平成28年2月25日教規則第2号
令和元年9月25日教規則第2号
令和3年6月30日教規則第11号

美術館条例施行規則を次のように定める。

美術館条例施行規則

(休館日、開館時間等の変更)
第1条　美術館条例(平成18年横須賀市条例第35号。以下「条例」という。)第3条第2項に規定する特に必要があると認めるとき及び条例第4条ただし書に規定する特別の理由があると認めるときは、次のとおりとする。
⑴美術館の施設の維持管理に係る行為を行うとき。
⑵美術館に展示する美術作品又は美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)の展示替えを行うとき。
⑶その他教育委員会が必要と認めるとき。
(観覧の手続き)
第2条　教育委員会は、条例第5条の規定による観覧料の手続きを経た者に対して、観覧券を交付するものとする。
2　前項の規定により観覧券の交付を受けた者がその日に再入館する場合は、美術館の入口において前項の観覧券を提示するものとする。
(使用の手続き)
第3条　教育委員会は、駐車場を使用しようとする者が駐車場に入場する際に、駐車券を交付するものとする。
2　前項の駐車券の交付を受けた者は、駐車場を使用した後、駐車場を出場する際に当該駐車券に使用料を添えて、提出しなければならない。
(高校生)
第4条　条例別表第1項の表に規定する高校生とは、次項に規定する高校に在学する者をいう。
2　条例別表第1項備考に関する部分第2項第3号に規定する高校とは、次に掲げるものをいう。
⑴学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第1条に規定する高等学校
⑵法第1条に規定する中等教育学校の後期課程
⑶法第1条に規定する高等専門学校
⑷法第1条に規定する特別支援学校の高等部
⑸法第124条に規定する専修学校の高等課程
⑹法第134条に規定する各種学校のうち高等学校に相当するもの
⑺その他高等学校に相当する教育施設
(平20教規則9・一部改正)
(大学生)
第5条　条例別表第1項の表に規定する大学生とは、法第1条に規定する大学、法第124条に規定する専修学校(高等課程を除く。)、法第134条に規定する各種学校(高等学校に相当するものを除く。)又はこれらに相当する教育施設に在学する者をいう。
(平22教規則9・一部改正)
(障害者)
第6条　条例別表第1項備考に関する部分第2項第1号に規定する教育委員会規則で定める障害者は、次に掲げる者とする。
⑴身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者
⑵療育手帳制度要綱(昭和48年厚生省発児第156号)の規定により療育手帳の交付を受けている者
⑶精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
(観覧料及び使用料の減免)
第7条　条例第5条第6項に規定する特別の理由があると認めるとき及び減免の割合又は額は、次のとおりとする。
⑴学校等(次に掲げるものをいう。以下同じ。)の職員又はこれに準ずる者が当該学校等の教育活動として当該学校等に在学し、又は在籍する者を引率して観覧するとき。　観覧料及び使用料の10割
ア　法第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、幼稚園又はこれらに相当する教育施設
イ　法第1条に規定する中等教育学校の前期課程
ウ　法第1条に規定する特別支援学校の小学部、中学部又は幼稚部
エ　本市の区域内に存する高校(第4条第2項に規定する高校をいう。)
オ　児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する児童福祉施設
⑵前条各号のいずれかに該当する者が駐車場を使用するとき。　使用料の10割
⑶観覧券の交付を受けた者(前条各号のいずれかに該当する者を除く。)が駐車場を使用するとき。
ア　普通自動車　320円
イ　自動二輪車及び原動機付自転車　使用料の10割
⑷その他教育委員会が特に必要と認めたとき。　教育委員会が定める割合
(平25教規則12・平28教規則2・令元教規則2・一部改正)
(観覧料及び使用料の減免手続き)
第8条　条例第5条第6項の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(第1号様式)に減免の理由を証する書類を添えて教育委員会に提出しなければならない。
2　条例第5条第6項の規定による使用料の減免を受けようとする者は、使用料減免申請書(第2号様式)に減免の理由を証する書類を添えて教育委員会に提出しなければならない。
3　前項の規定にかかわらず、前条第2号の場合にあっては身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の提示をもって、前条第3号の場合にあっては当該駐車場を使用する日付けの観覧券の提示をもって前項の申請書の提出に代えることができる。
4　教育委員会は、第1項の規定による申請を受けた場合において、観覧料の減免を決定したときは、観覧料減免決定通知

書（第3号様式）を交付するものとする。
5　教育委員会は、第2項の規定による申請を受けた場合において、使用料の減免を決定したときは、使用料減免決定通知書（第4号様式）を交付するものとする。
6　教育委員会は、第3項の提示を受けたときは、減免決定の旨を口頭により伝えるものとする。
7　前各項の規定にかかわらず、教育委員会が特に必要があると認めるときは、観覧料及び使用料の減免に係る手続きの一部を省略することができる。

（特別利用の許可手続き）
第９条　条例第6条第1項の規定により美術作品等の特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書（第5号様式）を教育委員会に提出しなければならない。この場合において、特別利用しようとする美術作品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得たことを証する書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得たことを証する書面を添付しなければならない。
2　教育委員会は、前項の規定による申請を受けた場合において、特別利用を許可したときは、特別利用許可決定通知書（第6号様式）を交付するものとする。

（特別利用料の減免）
第10条　条例第7条第3項に規定する特別の理由があると認めるとき及び減免割合は、次のとおりとする。
⑴当該特別利用が美術館の広報に資するとき。　10割
⑵教育活動又は学術研究を目的として写真の原板又は電磁的記録を使用するとき。　10割
⑶その他教育委員会が特に必要と認めたとき。　教育委員会が定める割合

（特別利用料の減免手続き）
第11条　条例第7条第3項の規定による特別利用料の減免を受けようとする者は、特別利用料減免申請書（第7号様式）を教育委員会に提出しなければならない。
2　教育委員会は、前項の規定による申請を受けた場合において、特別利用料の減免を決定したときは、特別利用料減免決定通知書（第8号様式）を交付するものとする。

（観覧料及び特別利用料の還付手続き）
第12条　条例第8条ただし書の規定による観覧料又は特別利用料の還付を受けようとする者は、観覧料については観覧券を、特別利用料については特別利用許可決定通知書を教育委員会に提示しなければならない。

（行為の禁止）
第13条　条例第9条第2号に規定するその他教育委員会において管理上支障があると認める行為は、次に掲げる行為とする。
⑴所定の場所以外における飲食、喫煙又は火気の使用
⑵所定の場所以外における動物（身体障害者補助犬法（平成14年法律第49号）第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。）の類の携帯
⑶美術作品等に触れる行為（教育委員会の許可を受けたときを除く。）
⑷美術作品等の近くでのインク等の使用（教育委員会の許可を受けたときを除く。）
⑸展示室内でのフラッシュによる撮影
⑹その他管理上支障があると認められる行為

（寄託）
第14条　教育委員会は、美術作品等の寄託を受けることができる。
2　教育委員会に美術作品等を寄託しようとする者は、寄託申込書（第9号様式）に当該美術作品等の内容を説明する書類を添えて教育委員会に提出しなければならない。
3　教育委員会は、前項の申込みによる寄託を受けたときは、受託証（第10号様式）を交付するものとする。
4　寄託品の寄託の条件、内容及び期間は、教育委員会が寄託をしようとする者と協議して定める。ただし、寄託の期間については、最長2年間とする。
5　寄託した者が寄託の期間を更新しようとするときは、寄託期間終了の15日前までに寄託申込書を教育委員会に提出しなければならない。
6　第3項及び第4項の規定は、前項の規定による寄託の期間の更新について準用する。

附　則
この規則は、条例の施行の日から施行する。

附　則（平成20年9月1日教規則第9号）
この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成22年4月1日教規則第9号）
この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成25年12月17日教規則第12号）
この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附　則（平成28年2月25日教規則第2号）
この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附　則（令和元年9月25日教規則第2号）
この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附　則（令和3年6月30日教規則第11号）
この規則は、令和3年7月1日から施行する。

第１号様式（第8条第1項関係）
第２号様式（第8条第2項関係）
第３号様式（第8条第4項関係）
第４号様式（第8条第5項関係）
第５号様式（第9条第1項関係）
（令3教規則11・一部改正）
第６号様式（第9条第2項関係）
第７号様式（第11条第1項関係）
第８号様式（第11条第2項関係）
第９号様式（第14条第2項関係）
（令3教規則11・一部改正）
第10号様式（第14条第3項関係）

7-1-3 横須賀美術館運営評価委員会条例

平成25年3月29日
条例第26号
改正　令和3年12月17日条例第74号

横須賀美術館運営評価委員会条例をここに公布する。

横須賀美術館運営評価委員会条例
（設置）
第1条　博物館法（昭和26年法律第285号）第9条の規定に基づき、横須賀美術館の運営の状況の評価及びその評価の結果に基づく改善策に関し、市長の諮問に応ずるため、本市に地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定による附属機関として、横須賀美術館運営評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。
（令3条例74・一部改正）
（組織）
第2条　委員会は、委員7人以内をもって組織する。
2　委員は、市民、学識経験者、関係団体の代表者、学校教育関係者、社会教育関係者及びその他市長が必要と認める者のうちから市長が委嘱する。
3　委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（令3条例74・一部改正）
（委員長）
第3条　委員会に委員長を置き、委員が互選する。
2　委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。
3　委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。
（会議）
第4条　委員会の会議は、委員長が招集する。
2　委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
（委員以外の者の出席）
第5条　委員会において必要があるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。
（その他の事項）
第6条　この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附　則
（施行期日）
1　この条例は、平成25年4月1日から施行する。
（経過措置）
2　第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱された委員の任期は、平成25年9月30日までとする。

附　則（令和3年12月17日条例第74号）抄
1　この条例は、令和4年4月1日から施行する。
4　この条例の施行日の前日において前項の規定による改正前の横須賀美術館運営評価委員会条例第1条に規定する横須賀美術館運営評価委員会（以下「旧運営評価委員会」という。）の委員である者は、施行日に前項の規定による改正後の横須賀美術館運営評価委員会条例(以下「新運営評価委員会条例」という。）第2条第2項の規定により委員に委嘱されたものとみなす。
5　前項の規定により委嘱されたものとみなされる横須賀美術館運営評価委員会の委員の任期は、新運営評価委員会条例第2条第3項の規定にかかわらず、施行日におけるその者の旧運営評価委員会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

7-1-4 横須賀美術館美術品評価委員会条例

平成25年3月29日
条例第27号
改正　令和3年12月17日条例第74号

横須賀美術館美術品評価委員会条例をここに公布する。

横須賀美術館美術品評価委員会条例
（設置）
第1条　横須賀美術館における美術品の取得において、当該美術品の評価に関し、市長の諮問に応ずるため、本市に地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定による附属機関として、横須賀美術館美術品評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。
（令3条例74・一部改正）
（組織）
第2条　委員会は、委員5人以内をもって組織する。
2　委員は、学識経験者その他の美術品の評価に関し専門的知識を有する者のうちから市長が委嘱する。
3　委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（令3条例74・一部改正）
（臨時委員）
第3条　委員会に、特別の事項を調査させるため必要があるときは、臨時委員若干人を置くことができる。
2　臨時委員は、市長が委嘱する。
3　臨時委員の任期は、第1項に係る事案の調査期間とする。
（令3条例74・一部改正）
（委員長）
第4条　委員会に委員長を置き、委員が互選する。
2　委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。
3　委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。
（会議）
第5条　委員会の会議は、委員長が招集する。
2　委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
（委員以外の者の出席）
第6条　委員会において必要があるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。
（その他の事項）
第7条　この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附　則
（施行期日）
1　この条例は、平成25年4月1日から施行する。
（経過措置）
2　第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱された委員の任期は、平成26年9月30日までとする。

附　則（令和3年12月17日条例第74号）抄
1　この条例は、令和4年4月1日から施行する。
7　この条例の施行日の前日において前項の規定による改正前の横須賀美術館美術品評価委員会条例第1条に規定する横須賀美術館美術品評価委員会（以下「旧美術品評価委員会」という。）の委員である者は、施行日に前項の規定による改正後の横須賀美術館美術品評価委員会条例（以下「新美術品評価委員会条例」という。）第2条第2項の規定により委員に委嘱されたものとみなす。
8　前項の規定により委嘱されたものとみなされる横須賀美術館美術品評価委員会の委員の任期は、新美術品評価委員会条例第2条第3項の規定にかかわらず、施行日におけるその者の旧美術品評価委員会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

8 紀要

8-1 横須賀市における新型コロナウイルス感染症対応記録

令和3年

4月12日　（国）まん延防止等重点措置（東京都、京都府、沖縄県）
4月20日　（国）まん延防止等重点措置（埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、5月11日まで）
4月20日　（県）まん延防止等重点措置区域に横浜市、川崎市、相模原市を指定
4月25日　（国）緊急事態宣言（東京都、京都府、大阪府、兵庫県、5月11日まで）
4月28日　（県）まん延防止等重点措置区域に鎌倉、厚木等6市を追加（横須賀市は対象外）
5月7日　（国）緊急事態宣言、5月末まで延長決定。福岡県、愛知県を追加
5月10日　（市）80歳以上の高齢者約4万人分のワクチン接種予約開始
5月12日　（県）まん延防止等重点措置区域に横須賀、藤沢等8市町を追加
5月16日　（国）緊急事態宣言の対象地域に北海道、岡山県、広島県を追加
5月17日　（市）ワクチンの集団接種を開始
5月23日　（国）緊急事態宣言の対象地域に沖縄県を追加（6月20日までの予定）
5月28日　（国）緊急事態宣言、6月20日まで延長（9都道府県に対し）
6月1日　（県）まん延防止等重点措置区域に平塚、小田原、秦野3市を追加
（都）映画館、美術館などの大規模文化施設について、休業要請から時短要請に緩和
6月21日　（国）9都道府県の緊急事態宣言解除（沖縄県は継続）、まん延防止等重点措置に切り替え
（県）横須賀市のまん延防止等重点措置解除（横浜市ほか5市は継続）
7月12日　（国）東京都に緊急事態宣言、延長する沖縄県とともに8月22日まで
7月22日　（県）横須賀市にまん延防止等重点措置適用
7月22日　レストランの営業時間を短縮（20時まで）
7月23日　東京オリンピック開会式
8月2日　（国）緊急事態宣言の対象地域に神奈川、千葉、埼玉、大阪の4府県を追加し、東京、沖縄の宣言を延長（ともに8月31日まで）
（市）業務継続計画（BCP）発動（フェーズ1）
8月8日　東京オリンピック閉会式
8月14日　（市）一部の市公共施設を休止＊美術館、博物館、図書館、公園等の施設（レベル2）を除く。市内の新規陽性者数が2日連続で100人を上回った場合、レベル2の施設についても休止とする
8月17日　（国）緊急事態宣言の期間を9月12日まで延長
8月23日　（市）横須賀美術館を含むレベル2の市施設を休止＊月曜日から日曜日までの1週間の市内新規陽性者が300人を下回ることを再開の条件とする
8月24日　東京パラリンピック開会式
8月27日　（国）緊急事態宣言の対象地域に北海道や愛知など8道県を追加。宣言は計21都道府県となる。まん延防止等重点措置は4県を追加、期間は9月12日まで
9月5日　東京パラリンピック閉会式
9月7日　（市）市施設の休止期間を9月26日まで延長（レベル1・2とも）
9月9日　（国）神奈川県を含む19都道府県の緊急事態宣言を9月30日まで延長
9月10日　（市）市施設の休止期間を9月30日まで延長
9月24日　（市）休止中の市施設のうち、主に市民が利用する施設から順次再開
10月1日　（国）全国の緊急事態宣言およびまん延防止措置を解除
10月1日　（市）美術館を含むすべての市施設を再開
11月30日　（国）オミクロン株の急拡大を受け、全世界からの外国人の新規入国を停止（その後段階的に緩和）

令和4年

1月7日　（都）上野動物園等、建設局所管施設を臨時休園・休館
1月9日　（国）まん延防止等重点措置を沖縄、山口、広島の3県に実施。期間は1月31日まで
1月21日　（国）まん延防止等重点措置に東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、愛知、岐阜、三重、新潟、香川、長崎、熊本、宮崎の1都12県を追加、期間は2月13日まで
1月21日　（市）業務継続計画（BCP）改訂、発動（フェーズ0）
1月27日　（国）まん延防止等重点措置に北海道、青森、山形、福島、茨城、栃木、石川、長野、静岡、京都、大阪、兵庫、島根、岡山、福岡、佐賀、大分、鹿児島の18道府県を追加、期間は2月20日まで。沖縄、山口、広島の3県も2月20日まで延長。
2月10日　（国）まん延防止等重点措置の適用地域に高知を加え、東京、神奈川を含む13都県の適用期間を3月6日まで延長。
2月18日　（国）20日が期限の関西3府県を含む16道府県および27日が期限の和歌山について、まん延防止等重点措置の適用を3月6日まで延長。沖縄、山形、島根、山口、大分の5県は20日の期限をもって解除。
3月4日　（国）神奈川を含む18都道府県について、まん延防止等重点措置を3月21日まで延長。
3月22日　（国）18都道府県のまん延防止等重点措置をすべて解除。

8-2「コロナ禍」と横須賀美術館2　教育普及事業の実施状況を中心に

冨田康子

はじめに

新型コロナウイルス感染症の流行、いわゆる「コロナ禍」での横須賀美術館の活動については、すでに、「「コロナ禍」と横須賀美術館」（『横須賀美術館年報令和2年度版』）において、令和2年度末までの状況を一旦、整理してある。

本稿は、その後の記録とあわせ、前稿で多くは触れなかった教育普及事業の開催状況について、まとめたものである。

以下では、まず前稿で扱った令和2年度に続き、令和3年度の展覧会開催状況を記す（表1，p.75）。次いで、2020年2月から2022年3月（令和3年度末）までの教育普及事業の開催状況を、横須賀市が定めた「市施設の運営方針」や「イベント開催方針」等と照らし合わせて報告する（表2, p.76～82）。

1．令和3年度（2021年4月～ 2022年3月）の展覧会開催状況

まず、当館における令和3年度の展覧会開催状況は表1（p.75）のとおりである。

2021年8月23日から9月30日まで、緊急事態宣言にともなう臨時休館が約40日間あり、2つの企画展および所蔵品展に影響が出た。ちなみに、令和2年度は、2回の臨時休館（計5か月）があったが、それに比べれば、影響は少なかったといえる。

2．教育普及事業の開催状況（2020年2月～ 2022年3月）

次いで、教育普及事業の実施状況について、2020年2月から2022年3月末までの対応を表2（p.76 ～ 82）のとおり整理した。

また、以下では、「コロナ禍」に際しての教育普及事業の対応パターンを大きく3つに分けて振り返っておきたい。

まず前提となるのは、新型コロナウイルス感染症流行下で、従来と同じスタイルの教育普及活動を実施することは、ほぼ不可能だったということである。感染リスクを低下させるため、人との接触をできる限り回避すべきだとの認識が、国や自治体の方針として示され、また一般社会においても広く共有されていたためである。

したがって、主催者の対応は、①事業を中止する、②代替となる事業を実施する、③感染症対策を踏まえた上で慎重に実施する、のいずれかになる。

当館の場合、①のケースにはおもに2つのパターンがあった。一つは、すでに実施に向けて準備作業が進行中であったが、感染状況の悪化、あるいは臨時休館により、やむなく開催を取りやめたパターンである。

もう一つは、計画当初から、あえて実施しない選択をしたパターンである。事業対象が感染リスクの高い層である場合が、それに該当する。当館のボランティア活動や福祉関連の事業は、そうした観点から、令和元年度末（2020年2月）以降2年以上、実施をすることができなかった。

次いで、②の代替事業であるが、これは、多くの場合、オンラインの活用という形をとった。感染拡大の初期である2020年2月末、アーティストトークをSNS配信したのが最初期の事例である。その後、2020年4月26日に公式YouTubeチャンネルを開設して以来、講演会やギャラリートーク等のトーク系事業の多くを動画公開に切り替えた。

さらに、オンライン・ワークショップ、Zoomを活用した鑑賞会等、双方向型の事業や、計画になかった新規事業（表2で項目の冒頭に●を付した事業）など、オンラインへの取り組みを推進して、一定のノウハウを蓄積することができた。特に講演会やアーティストトークの場合、動画化することで記録として蓄積でき、また、SNSを通して従来以上に多くの参加者・聴衆を獲得できるという良さを確認できた。

一方で、②の推進は、主催する側からすれば、動画制作にかかる時間や経費が担保されない限り、負担が増大すること、また、参加者側からすれば、通信環境や利用機器等の制約が参加のハードルを上げることなどの課題も見出される。新規システムを導入しない限りは参加費徴収が難しいことも、主催者側にとっては課題である。

最後に③であるが、これは、厚労省の示す「新しい生活様式」や「ウィズコロナ」といったキーワードが、2020年6月頃から浸透していったことに伴う選択肢である。

いわゆる「ウィズコロナ」の視点に立った国や自治体の方針は、感染症の波に応じて一進一退しながら現在に至るが、当館でも、2020年11月以降、各時期の指針の内容を慎重に検討し、可能な範囲で教育普及事業の対面開催を決断してきた。

対面型事業開催の条件は、自由参加型ではなく事前申込制とし参加者を把握すること、会場に応じた適正規模の定員とすること、道具等の共有をしないことの3点である。

すべての事業が、このような条件下で開催可能であるわけではないが、それでも、室内での少人数制のワークショップ、人数制限しながらの屋外イベント、エントランスを使ったシネマパーティー等、それぞれ性質の異なる事業事例を経験することができた。

ただし、少人数事業は、内容によっては参加者の快適性が向上するという良さがあるものの、事前申込制による事務作業の増大など、主催者側の負担は増える傾向にある。参加を希望する人にとっても、参加機会が減少するという難点がある。

おわりに

横須賀市では、2022年4月15日、「イベント開催方針」において、条件付きながらも「市主催のイベントを積極的に開催する」と発表した。当館でも、令和2年度以来、長く中止としていた事業のいくつかを少しずつ再開させている。

とはいえ、この先も当面は、パターン②で新たに導入し

た事業形態と、パターン③の「ウィズコロナ」対応の事業形式とを、状況に応じて使い分けたり組み合わせたりする状況が続くだろう。そうした中、今後の教育普及事業の発展につながる新たな道筋が見出されることが期待される。一方で、人的にも経費的にも増大した主催者側の負担をどう吸収していくか、また参加のハードルが高くなっていく中で、教育普及事業をどこまで開かれた場として維持していくことができるかが、新たな課題となるだろう。

（表1）令和3年度（2021年4月〜 2022年3月）の企画展・所蔵品展開催状況

2021年
1月7日（国）
緊急事態宣言
（〜 3月21日）
1月12日
↑
休館
↓
3月7日

8月2日（国）
緊急事態宣言
（〜 9月30日）
8月23日
↑
休館
↓
9月30日

企画展	開催期間		開催日数	所蔵品展	開催期間		開催日数
ヒコーキと美術	実際	2021年2月6日〜 4月11日	65	令和2年度 第4期所蔵品展 谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展	予定	2020年12月19日 〜 2021年4月4日	104
	実際	2021年 3月8日〜 4月11日	35		実際	12月19日〜 2021年1月11日/3月8日〜 4月4日	52
糸で描く物語 ―刺繍と、絵と、ファッションと。	予定	4月24日〜 6月20日	56	令和3年度 第1期所蔵品展 谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展	予定	4月10日〜 7月11日	51
	実際	変更なし	変更なし		実際	変更なし	変更なし
みみをすますように 酒井駒子	予定	7月10日〜 9月5日	57	令和3年度 第2期所蔵品展 谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展	予定	7月17日〜 9月19日	63
	実際	7月10日〜 8月22日	43		実際	7月17日〜 8月22日	36
ビジュツカンノススメ アートを楽しむ4つのヒント	予定	9月18日〜 11月7日	51	令和3年度 第3期所蔵品展 「生誕100年 谷内六郎展」 ＊谷内六郎館は修繕休館	予定	9月25日〜 12月12日	76
	実際	10月1日〜 11月7日	36		実際	10月1日〜 12月12日	70
くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展	予定	11月20日〜 12月26日	36	令和3年度 第4期所蔵品展 谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展	予定	12月18日〜 2022年4月3日	99
	実際	変更なし	変更なし		実際	変更なし	変更なし
第74回児童生徒造形作品展	予定	2022年 1月13日〜 1月31日	19				
	実際	変更なし	変更なし				
ミロコマチコ いきものたちはわたしのかがみ	予定	2月11日〜 4月10日	57				
	実際	変更なし	変更なし				

（表2）教育普及事業の開催状況

各行頭の◎は講演会、トークなど、□はワークショップ、○はボランティア活動とその他事業、●は新規事業。また、美術館運営全般に関わる事項や公的な政策・方針等は★を付した。

令和元年度末（2020年2月～ 3月）

★2月20日　**（国）「イベントの開催に関する国民の皆様へのメッセージ」発表。イベント開催の必要性を改めて検討するようお願い。**

★2月21日　**（市）「新型コロナウイルス感染拡大防止のための市主催イベント等の開催可否を判断する考え方について」発表。**
市主催のイベントは一部を除き2020年6月末まで中止とする。
講習会等は「延期または中止を前提とする」イベントに位置づけられる。

★2月26日　**（国）「社会教育施設において行われるイベント・講座等の開催に関する考え方について」発表。**
今後2週間のイベントの中止、延期又は規模縮小等の対応を要請。

事業名・内容		実施状況	対策・代替案など
◎	「長沢明展　オワリノナイフーケイ」（2020年2月8日～ 4月12日。ただし3月3日以降臨時休館）関連アーティストトーク、講師：長沢明、2月29日開催予定	中止	オンライン化。アーティストトーク「長沢明展 オワリノナイフーケイ」1～6（2020年2月撮影、3月よりFacebook、twitter、YouTubeで順次公開）

★3月10日　**（国）「社会教育施設において行われるイベント・講座等の開催に関する考え方について」発表。**
今後概ね10日間程度はこれまでの取り組みを継続するよう協力をお願い。

★3月4日　**（美術館）臨時休館（～ 2020年6月19日）。**

◎	「長沢明展　オワリノナイフーケイ」関連　学芸員によるギャラリートーク、3月20日開催予定	中止
□	福祉とアートが出会うとき2「スタンプをつかって作品をつくろう」、講師：Snip Love（イラストレーター、デザイナーら4名）、①1月23日、②2月26日、③3月4日開催予定	②③中止
□	未就学児ワークショップ「新聞紙であそぼう」、講師：オガサワラマサコ、3月7、8日開催予定	中止
□	みんなのアトリエ（2020年度第12回目）、講師：後藤敦史、3月21日開催予定	中止
○	みんなのアトリエボランティア（2020年度第12回目）、3月21日実施予定	中止
○	ボランティアによる所蔵品展ギャラリートーク	3月開催分中止
○	ボランティア会議、研修等	3月開催分中止
□	「長沢明展　オワリノナイフーケイ」関連ワークショップ「金箔銀箔でキラキラコラージュをつくろう」、講師：長沢明、3月15日開催予定	中止

令和2年度（2020年4月～ 2021年3月）

★4月7日　**（国）緊急事態宣言（～ 5月25日）**

★4月26日　**（美術館）公式Youtubeチャンネルを開設**

★5月25日　**（市）「休止施設等の段階的な再開等について」により休止施設の段階的再開（STEP1 ～ 3）を発表。**
美術館は再開施設対象外。
また、「施設再開の利用条件」として、「新しい生活様式」に基づく利用ルールの徹底、座席は2mを目安として四方を開ける、市外者の利用を禁止する等の条件を定める。

◎	「マルク・シャガール展」（4月25日～ 6月21日）関連講演会、「宇都宮のシャガールを横須賀で見る楽しみ」、講師：藤原啓、5月23日開催予定	臨時休館による展覧会中止。関連事業も実施せず
□	「マルク・シャガール展」関連ワークショップ「はじめてのリトグラフ」、講師：城戸宏、5月17日開催予定	臨時休館による展覧会中止。関連事業も実施せず

★6月5日　**（市）「市主催イベント等の開催可否及びSTEP 3に位置付けた施設の再開について」により美術館が再開施設の対象となる。**
また、市が主催する大規模イベントを2020年12月31日まで中止と発表。人数制限ができない等、リスク対応が整わない不特定多数が集まるイベント（例えば1000人程度を超える参加者が見込まれるイベント）を大規模イベントと位置づける。
一方、小規模イベント（1000人以下）は条件付きで開催可能とする。その場合、屋内50人、屋外100人程度、収容率50%以下の人数制限（8月1日以降は屋内100人、屋外200人に緩和）、参加者連絡先の把握、「新しい生活様式の実践例」（＊図表1）等に基づく感染予防策を講じる等。

★6月20日　**（美術館）再開**

（図表1）「新しい生活様式」の実践例（厚生労働省）

●	第2期所蔵品展「特集：川端実」他・谷内六郎館（2020年6月20日～9月13日開催予定）	臨時休館の可能性を考慮し、展示風景を動画公開		8月12日公開
○	「ミロコマチコ　いきものたちはわたしのかがみ」展（7月4日～8月30日）関連講演会	展覧会延期により実施せず		
□	「ミロコマチコ　いきものたちはわたしのかがみ」展関連ワークショップ	展覧会延期により実施せず		
○	夏のシネマパーティ『kino』キノ・イグルー	例年は野外開催、自由参加のところ、屋内開催、事前申込の少人数制とし実施		8月29日、30日
◎	「上田薫展」（9月12日～12月3日）関連講演会	動画公開	アーティストトーク「上田薫　制作と語り」上田薫	10月1日公開
			ギャラリートーク「上田薫　娘と妻が語る上田薫展」1～4、上田朱、上田葉子	10月15日～27日順次公開
□	「上田薫展」関連ワークショップ（子ども・親子対象）	実施せず		
□	第3期所蔵品展（特別展示：浦賀奉行所解説三百周年記念　長島雪操展。9月19日～12月13日）関連ワークショップ	実施せず		

★9月23日　**（市）「今後のイベント開催方針及び施設利用条件の改訂について」により市が主催する大規模イベント中止を2021年3月31日まで延期する決定。ただし、小規模イベント（屋内外1000人以内）の場合、参加者が歓声・声援を発しない場合の収容率を100%、歓声・声援を発する場合は50%とする（＊図表2）。**

（図表2）各種イベントにおける大声での歓声・声援等がないことを前提としうる・想定されるものの例

◎	「倉重光則＋天野純治展　ミニマリズムのゆくえ」（11月14日～12月25日）関連アーティストトーク	動画公開	天野純治『field of water』制作過程	11月14日公開
			倉重光則アーティストトーク	12月4日公開
□	「倉重光則＋天野純治展　ミニマリズムのゆくえ」関連ワークショップ	実施せず		
□	おやこワークショップ「干支（うし）の絵付け教室」、講師：五十嵐祐輔	当初計画通り開催		11月20日
●	おやこワークショップ	オンラインワークショップ	おやこワークショップ「干支（うし）の絵付け教室」五十嵐祐輔	12月1日～2021年1月31日（限定公開）
□	福祉ワークショップ「福祉とアートが出会うとき2　スタンプをつかって作品をつくろう！」、講師：Snip Love（スニップアートスタンプ）	当初計画通り開催		12月14日

★2021年1月7日　**（国）緊急事態宣言（～3月21日）**

★1月8日　**（市）「施設の休止及び今後のイベント開催について」により市主催の大規模イベント中止を6月30日まで延長。また、緊急事態宣言が解除されるまで、小規模イベントを中止と発表。**

★1月12日　**（美術館）臨時休館（～3月7日）**

◎	「ヒコーキと美術」展（2021年2月6日～4月11日。ただし3月7日まで臨時休館）関連講演会	臨時休館による展覧会会期短縮のため実施せず		
◎	「ヒコーキと美術」展関連ワークショップ	臨時休館による展覧会会期短縮のため実施せず		
●	令和2年度第4期所蔵品展「特集：島田章三」（2020年12月19日～2021年4月4日。ただし3月7日まで臨時休館）	会期短縮に伴い展示風景を動画公開	第4期所蔵品展　会場風景	3月9日公開

○	冬のシネマパーティー『ローラ』キノ・イグルー(1月30日、31日開催予定)	中止し別内容で動画公開	冬のシネマパーティ番外「ジャック・ドゥミ入門編」トーク（オンライン）キノ・イグルー	3月17日～31日(限定公開)
◎	学芸員によるギャラリートーク（「ヒコーキと美術」展	動画公開	「ヒコーキと美術」会場風景	2月12日公開
		動画公開	「ヒコーキと美術」関連展示「横須賀海軍航空隊と秋水」会場風景	3月14日公開

★3月8日　（美術館）再開

★3月22日　（市）「市主催の小規模イベント及び市施設の利用条件について」により、小規模イベント（屋内外1000人以内）を開催可能とする（「イベント開催方針」令和3年3月22日改訂版）。また、「施設の利用条件」改訂により、市外居住者の利用制限を解除する。

□	おやこワークショップ「羊毛の工作バッジ作り」、講師：イワタマユミ	計画通り実施	3月27日

【令和2年度（2020年4月～2021年3月）に年間を通じて計画変更した事業】

◎	学芸員によるギャラリートーク （企画展ごと年間5、6回予定）	実施せず		
◎	学芸員による親子ギャラリーツアー （企画展ごと年間3、4回予定）	実施せず		
◎	福祉関連講演会（8月開催予定）	実施せず		
□	オトナワークショップ（年間2回予定）	実施せず		
□	谷内六郎関連ワークショップ（年1回予定）	実施せず		
□	みんなのアトリエ（年間12回）	動画公開、PDF公開（当館HP）	「さわって楽しい！ふしぎないきもの」（おうちでできる「みんなのアトリエ」Vol.1）、ゆにここ	9月3日公開
			「クシャクシャキラキラアルミホイルで遊ぼう！」（おうちでできる「みんなのアトリエ」Vol.2）、後藤敦史	9月3日公開
			「くんくんカップをつくって、あそぼう！」（おうちでできる「みんなのアトリエ」Vol.3）、井上尚子	10月9日公開
			「新聞紙とガムテでオブジェを作ろう！（おうちでできる「みんなのアトリエ」Vol.4）、後藤敦史	2021年 3月31日公開
○	プロジェクトボランティアによるイベント （春、夏、クリスマスの3回開催予定）	スライド公開（すかび隊Facebook、Instagram）	すかび隊presentsおうちでできるガリバーキャンバス	5月21日公開
			すかび隊presentsおうちでできるシャボン玉いろいろ	6月2日公開
			すかび隊presentsおうちでできるTシャツペインティング	6月17日公開
			すかび隊presentsおうちでできる段ボールいろいろ	7月15日公開
			すかび隊presentsおうちでできる旗づくり	8月6日公開
			すかび隊presentsおうちでできる透明シートにお絵かき	9月8日公開
			すかび隊presentsおうちでできるフォトプロップスづくり	10月8日公開
			すかび隊presentsおうちでできるカラフルダンボールでミニツリーをつくろう！	11月17日 公開
			すかび隊presentsおうちでできる2021のカレンダーをつくっちゃおう！	12月13日 公開
			すかび隊presentsおうちでできる鬼のお面づくり	2021年 1月26日公開
			すかび隊presentsおうちでできる光るプレゼントボックス	2021年 3月9日公開
○	ギャラリートークボランティアによる所蔵品展ギャラリートーク（年間60回程度開催予定）	実施せず		

○	小学生美術鑑賞会ボランティアによる鑑賞会サポート （46校の受け入れに際し実施）	小学生美術鑑賞会中止のため実施せず
○	ギャラリートークボランティア、小学生美術鑑賞会ボランティアのボランティア研修（年間16回程度実施予定）	実施せず
○	みんなのアトリエボランティアによるみんなのアトリエ活動サポート（年間12回実施予定）	みんなのアトリエ中止のため実施せず
○	「視覚障害者のための出張鑑賞会in横須賀市点字図書館」	実施せず
○	託児サービス（年間20回程度実施予定）	実施せず
○	小学生美術鑑賞会（市立小学校46校を受け入れ予定）	中止
○	中学生のための美術鑑賞教室（夏休み期間中13回程度のツアーとガイド配布を予定）	ツアーを中止し、鑑賞ガイド配布のみ実施
○	保育園鑑賞会（市立保育園10園で実施予定）	中止
○	先生のための美術館活用講座	実施せず

令和3年度（2021年4月～ 2022年3月）

★2021年4月12日　（市）「市主催の大規模イベントの中止期間延長および公園水泳プール営業の中止について」により、大規模イベントの中止延長を決定（9月30日まで）。

◎	「糸で描く物語　刺繍と、絵と、ファッションと。」展 関連講演会	動画公開	出品作家トーク「糸で描く物語:樹田紅陽」	5月13日公開
			出品作家トーク「糸で描く物語:蝸牛あや」	5月23日公開
			出品作家トーク「糸で描く物語:小林モー子」	6月9日公開

★4月20日　（国）神奈川県に対しまん延防止等重点措置（～ 5月31日）。

★5月12日　（県）横須賀市に対しまん延防止等重点措置（～ 6月21日）。

□	「糸で描く物語　刺繍と、絵と、ファッションと。」展 関連ワークショップ	野外コンサートと動画公開	「海の広場の東欧音楽コンサート」森裕美子、山崎千晶、遠藤万里、渡辺雅之、永富さおり、原田遼太郎	5月30日開催、6月25日動画公開

★6月21日　（市）「令和3年10月以降の市主催の大規模イベントについて」により、大規模イベント（1000人以上）の中止延長を決定（12月30日まで）。

★6月21日　（市）「施設の利用条件」の改訂により、市外居住者の利用制限を解除する。

□	オトナWS「あずま袋を美術館でチョキチク」講師：三橋友美	計画通り実施	7月3日
◎	「みみをすますように　酒井駒子」（7月10日～ 9月5日。ただし8月23日より臨時休館）関連講演会	実施せず	
□	「みみをすますように　酒井駒子」関連ワークショップ	実施せず	

★8月2日　（国）緊急事態宣言（～ 9月30日）。

●	新規学校連携事業	出張ワークショップ	「こっちの街とあっちの街　衣笠商店街と谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉」（衣笠小学校5、6年生）	8月18日、19日
		サテライト展示	「こっちの街とあっちの街　衣笠商店街と谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉8月18日、19日（衣笠小学校5、6年生対象）	10月2日～12月12日

★8月23日　（美術館）臨時休館（～ 9月30日）。

★9月2日　（市）施設の休止・再開の基準を陽性者数等を目安として明確化（レベル1、レベル2）。

◎	「ビジュツカンノススメ　アートを楽しむ4つのヒント」展（9月18日～11月7日開催予定、ただし9月18日～30日臨時休館）アーティストトーク	動画公開	「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー　廣村正彰	9月25日公開
			「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー　中川久	9月29日公開
			「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー　浅見貴子	10月2日公開
			「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー　滝波重人	10月6日公開
			「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー　内田あぐり	10月9日公開
			「ビジュツカンノススメ」出品作家インタヴュー　髙田安規子・政子	10月13日公開

★10月1日　（美術館）再開。
（市）「今後のイベント開催方針及び施設利用条件の改訂について」により、大規模イベントの中止延長を決定（2022年3月31日まで）。また、小規模イベント（屋内外1000人以内）の場合、参加者が歓声・声援を発しない場合の収容率を100%に緩和する（歓声・声援を発する場合は50パーセント）。

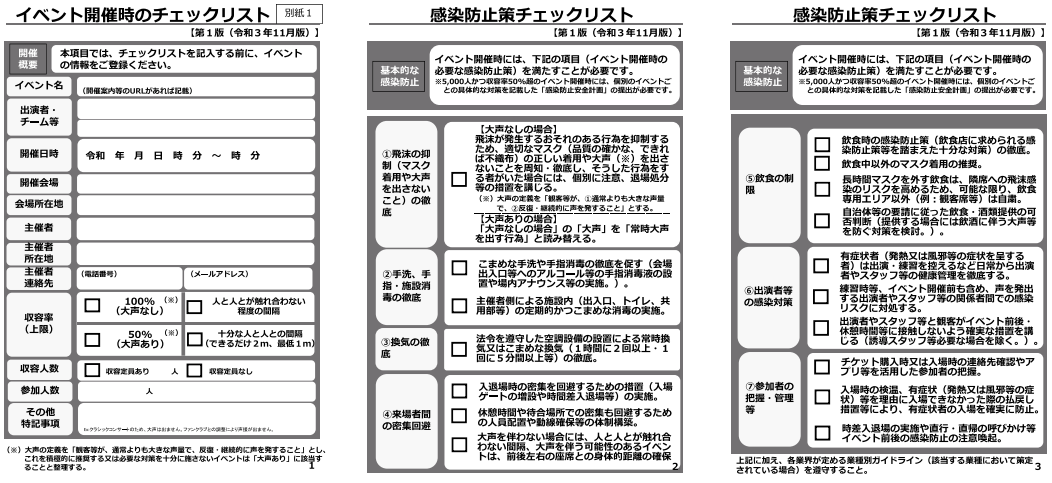
□	「ビジュツカンノススメ　アートを楽しむ4つのヒント」展関連ワークショップ	ワークショップ	内田あぐり＋松原東洋のムーヴィング・ドローイング～ダンサーの動きを描いてみよう！	10月9日
		オンライン開催（哲学カフェ）	「ビジュツカンノススメ　アートを楽しむ4つのヒント」展関連「オンライン哲学カフェ　ビジュツについておしゃべりしよう！」、清水将吾	10月23日
○	シネマパーティ 2022 in 横須賀美術館『ムーンライズ・キングダム』、キノ・イグルー（有坂塁・渡辺順也）	夏季・野外開催の計画を変更し、事前申込制として屋内開催		10月16日、17日
□	令和3年度第2期所蔵品展 生誕100年 谷内六郎展（2021年9月25日～12月12日。ただし9月30日まで臨時休館）関連ワークショップ「アート縁日」 （モビールづくり）UNICORN UNICORN （カルトナージュの折り紙箱づくり）coffret （ゴムパチンコづくりとパチンコ遊び）CHATOY （創作昆虫ムシボットとムシバトル）ザリガニワークス武笠太郎 （物販、プチワークショップ）CHATOY、Lavoratory Lantern、IRIKI、ニコニカ、ちきゅうすくい、日本ベイゴマ協会、baby toi、mameritsuko、馬場わかな、SAITOE	計画通り実施		10月30日、31日
●	新規	動画公開	シネマパーティー特別編「ウエス・アンダーソンの世界」vol.1, 2 キノ・イグルー（有坂塁・渡辺順也）	10月21日、28日公開
○	「遊べる浮世絵展」（2021年11月20日～12月26日）関連講演会	動画公開	WEB講演会その1「浮世絵と江戸文化」、藤井紫（以下同）	11月22日公開
			WEB講演会その2「おもちゃの浮世絵」	
			WEB講演会その3「おかしな浮世絵」	
			WEB講演会その4「なぞ解き浮世絵」	12月10日公開
			WEB講演会その5「怖～い！浮世絵」	12月21日公開
□	「遊べる浮世絵展」関連ワークショップ	動画公開	WEBワークショップその1「風車をまわそう！」、國學院大学藤井紫研究室（杉浦里彩、石隈聡美、山口希、浅川綾菜、長瀬由香）（以下同）	11月22日公開
			WEBワークショップその2「うつしゑ劇場であそぼう」	11月25日公開
			WEBワークショップその3「きれいな小箱をつくろう！」	11月30日公開
			WEBワークショップその4「よろいかぶとをくみたてよう」	12月7日公開
			WEBワークショップその5「すごろくで運だめし！」	12月20日公開
□	おやこワークショップ「干支（寅）の絵付け教室」、講師：五十嵐祐輔	計画通り実施		11月23日

★11月29日　（市）「イベント開催方針」の改訂により、屋内外1000人以上の不特定多数の集まるイベントの開催を可能とする。収容率の制限は変更なし。有料興行の人数制限の廃止。また、「感染防止安全計画」を策定（「イベント開催方針」令和3年11月29日改訂版）。

□	令和3年度第4期所蔵品展（12月18日～ 2022年4月3日）関連ワークショップ（動画制作ワークショップを予定）	動画公開	「横須賀市立横須賀総合高校美術活動の歩み展　高校生が描く友だち、学校、家族、そして私」、横須賀市立横須賀総合高校美術部、高野芳幸	3月14日公開
◎	「児童生徒造形作品展」（2022年1月13日～ 1月31日）関連講演会「造形的な見方・考え方を働かせた神奈川県の授業実践と学習評価」、講師：山田真（神奈川県教育委員会指導主事）、「研究発表」、講師：齊藤見依（鴨居中学校教諭）、1月19日開催予定	中止		
□	「児童生徒造形作品展」関連ワークショップ	実施せず		
□	オトナワークショップ「和紙にほどこす　キラキラ箔もよう」講師：森田千晶	計画通り実施		2022年1月23日
○	福祉関連イベント「認知症当事者と介護者を対象とした美術鑑賞プログラム「アートリップ」（デモンストレーション及びレクチャー）、講師：林容子（一般社団法人アーツアライブ代表理事）	計画通り実施		2月14日
◎	「ミロコマチコ　いきものたちはわたしのかがみ」展（2022年2月11日～ 4月10日）親子ギャラリーツアー	オンライン鑑賞会	「子どもオンライン鑑賞家～絵を見ておしゃべりしよう」、NPO法人芸術資源開発機構ARDA	2月26日
□	「ミロコマチコ　いきものたちはわたしのかがみ」展関連ワークショップ「くさっぱらの舟」、講師：ミロコマチコ、3月20日	計画通り実施		3月20日
○	「ミロコマチコ　いきものたちはわたしのかがみ」展関連LIVE PAINTING「海を混ぜるV」、出演：ミロコマチコ、haruka nakamura、原田郁子	計画通り実施		3月20日
○	シネマパーティー 2022in横須賀美術館『人生フルーツ』、キノ・イグルー（有坂塁・渡辺順也）、2022年1月開催予定	延期後、開催		3月26日、27日
○	先生のための美術館活用講座	オンライン開催	先生のための美術館活用講座2021（オンライン）、村上智彦、高松智行、中村貴絵（当館学芸員）	3月29日
○	新規	動画公開	シネマパーティ―特別編「ドキュメンタリー映画入門編」vol.1, 2、キノ・イグルー（有坂塁・渡辺順也）	4月19日公開
□	「児童生徒造形作品展」関連ワークショップ	実施せず		

★2022年1月21日　（国）神奈川県に対しまん延防止等重点措置（～ 3月22日）

★3月21日　（市）「イベント開催方針」として、開催条件を緩和。1000人以上5000人未満の不特定多数が参加するイベント、および5000人以上が参加するイベントを条件付きで開催可能とする。「イベント開催時のチェックリスト」（＊図表3）を会場入口に表示すること、感染防止安全計画を県に提出すること（5000人以上の場合）、収容率は歓声・声援のない場合を100%、ある場合を50%とすることなど（「イベント開催方針」令和4年3月8日改訂版）。



（図表3）「イベント開催時のチェックリスト」

【令和3年度（2021年4月～ 2022年3月）に年間を通じて計画変更した事業】

◎	学芸員によるギャラリートーク（企画展ごと。年間5、6回予定）	実施せず		
◎	学芸員による親子ギャラリーツアー （企画展ごと。年間3、4回予定）	実施せず		
○	触察教材横須賀美術館点字・触図パンフレット （美術館案内、フロアガイド）制作	実施 従来の福祉講演会実施は困難と見込み、R3より事業計画を変更		
□	みんなのアトリエ（年間12回）	動画公開＊ PDF公開 （当館HP）	「つくって・コレクション！触覚ボール」（おうちでできる「みんなのアトリエ」Vol.5）ゆにここ	7月6日公開
			「コネコネンド［カラフルな軽量粘土を使った造形活動］」（おうちでできる「みんなのアトリエ」Vol.6）後藤敦史	7月13日公開
			「ペタペタペストリー［フェルトを使った造形活動］」（おうちでできる「みんなのアトリエ」Vol.7）後藤敦史	7月20日公開
			「バンバンハクバン！［スチロール板を使った造形活動］」（おうちでできる「みんなのアトリエ」Vol.8）	2022年 2月15日公開
			「えのぐのえ！［絵の具を使った造形活動］」（おうちでできる「みんなのアトリエ」Vol.9）後藤敦史	2022年 2月18日公開
			「くんくんウォーク」（おうちでできる「みんなのアトリエ」Vol.10）井上尚子	2022年 6月20日公開
○	プロジェクトボランティアによるイベント （春、夏、クリスマスの3回開催予定）	スライド公開 （すかび隊Facebook、Instagram）	「すかび隊presentsおうちでできる」海風に泳げ！こいのぼり	5月1日公開
			すかび隊のこれまで（2007～2016年、31回の振り返り）	6月～12月 順次公開
○	ギャラリートークボランティアによる所蔵品展ギャラリートーク（年間60回程度開催予定）	実施せず		
○	小学生美術鑑賞会ボランティアによる鑑賞会サポート（46校の受け入れに際し実施）	実施せず		
○	ギャラリートークボランティア、小学生美術鑑賞会ボランティアのボランティア研修（年間16回程度実施予定）	実施せず		
○	みんなのアトリエボランティアによるみんなのアトリエ活動サポート（年間12回実施予定）	みんなのアトリエ中止のため実施せず		
○	「視覚障害者のための出張鑑賞会in横須賀市点字図書館」	実施せず		
○	託児サービス（年間20回程度実施予定）	実施せず		
○	小学生美術鑑賞会（46校、11月～ 2022年3月）	期間を短縮し実施（2校中止）		
○	中学生のための美術鑑賞教室（7～ 8月に13回程度のツアーを実施予定。また、7月下旬～ 8月末までガイド配布予定）	ツアーを中止し、鑑賞ガイド配布のみ実施		
○	保育園鑑賞会（市立保育園9園で実施予定）	実施時期短縮、規模縮小	出張プログラムおよびアクティビティの取りやめ。	10月～ 2022年2月

★2022年4月15日　（市）「イベント開催方針」として市主催のイベントを条件付きで積極的に開催することとする（「イベント開催方針」令和4年4月15日改訂版）。

8-3 ふるさと納税を活用した美術作品購入の取り組み

工藤香澄

はじめに

横須賀美術館は2007年に開館し、今年度2022年に開館15周年を迎えた。開館前の2006年より作品購入は行っていなかったが、2019年からふるさと納税を活用し、寄附を積み立てて購入する取り組みを始めた。ここでは美術館開館前のコレクションの成り立ち、開館後の状況、そして実際にふるさと納税の活用方法や広報について述べたい。

美術館開館前のコレクションとその形成

横須賀市は2007年に市制施行100周年を迎え、それを機に横須賀美術館を設置し、2007年4月28日に開館した。開館に先立つ1996年に郷土ゆかりの洋画家・朝井閑右衛門（1901 ～ 1983）のまとまった作品の寄贈及び、美術史家・匠秀夫（1924 ～ 1994）の蔵書2万冊の寄贈を受け、これが美術館建設の直接の契機となった。朝井作品の内訳は、油彩281点、水墨画82点、素描・原稿多数、その他朝井が収集した書画、陶器などである。続いて1998年1月には、イラストレーターであり週刊新潮の表紙絵を手がけていた谷内六郎（1921 ～ 1981）の原画が約1,300点寄贈される。

こうしたまとまったコレクションの寄贈を受け、美術館開館に向けて本格的に歩み始める。1998年4月には、美術館建設準備事務が教育委員会に移管され、これに先立ち美術館基本構想策定委員会で収集方針が話し合われる。また、8月には美術品選定評価委員会が設置され、美術に関する専門的な知識を有する5名の委員に新たに収蔵する作品について審議を仰ぐこととなった。

1999年には新たに美術品収集のための定額型基金が設置され、より体系的な作品収集を開始した。収集方針は以下の4つである。

①横須賀･三浦半島にゆかりのある（出身、居住、在住等）作家の作品
②横須賀・三浦半島を題材とした作品
③「海」を描いた作品
④日本の近現代美術を概観できる作品

1999年から開館前年の2006年度まで予算が計上され、日本近現代美術を中心に購入を進めていった。開館時には寄贈作品も総計して収蔵作品は約4,500点となった。

美術館開館後のコレクション状況

しかし、開館の2007年から作品の購入予算を計上できなくなった。理由としては財政的な面が大きいが、その他にも、横須賀美術館の開館に際し、大きな建設反対運動があったという点も挙げられる。市民の反対が大きい中、開館前に一定程度の作品購入は済んだと考えられ、これ以上購入することに対する理解は得にくいという理由で、しばらく予算要求も行わなかった。

開館後には展覧会や教育普及活動を継続して行い、来館者からのアンケートを見ても、美術館の存在や活動が認知されるに従って、開館当初のような「反対の声」は徐々に減少していった。開館5周年という節目の年には、特定の作品を念頭に置いて予算要求を行ったが、予算はつかなかった。

作品の収集については、購入予算はなかったが、ありがたいことに継続的に寄贈の申し込みはあり、その都度先の①～④の収集方針に則っているか検討し、美術品選定評価委員会の審議の後、作品を受け入れ、コレクションの充実を図っていった。

ふるさと納税活用の検討、広報

こうした状況が続いてきたが、開館前に設置した「基金」が10年以上使用されていないことに対して、市議会から今後の活用について方針を問われたこともあり、基金や作品購入のあり方について、2018年度から本格的に再検討を始めた。結論からいうと横須賀市の一般財源ではなく、広く一般の方々の寄附を積み立てて、作品購入を行うという計画が俎上に上がり、新たな積立型基金の設立と、ふるさと納税の仕組みを用いた寄附を活用することにした。

公立美術館の美術作品の購入方法としては珍しい手法だが、横須賀市のふるさと納税の仕組み自体が既にあったので、それを利用している。具体的な方法としては、ふるさと納税の多様な返礼品のいずれかを選び、その収める税の使い道として複数の基金の中から一つを選ぶ。横須賀市の基金はこれまで13あったが、さらにそのメニューに「美術品等取得基金」を追加したのである。

美術館のホームページでは例として「ふるぽ」「ふるさとチョイス」「楽天市場」「ANAのふるさと納税」「JREMALL ふるさと納税」のウェブサイトを紹介している[i]。このサイトから、寄附先として「横須賀市」を選び、さらに使い道として「美術品等取得基金」を指定していただくことで、基金に積み立てられる仕組みになっている。

また返礼品として美術館からも複数のメニューを提供している。「横須賀美術館お食事券付観覧チケットペア券」のように、観覧券に加えて、併設しているレストランの食事券をセットにしたものや、同じく併設するミュージアムショップで販売するグッズをセットにした「横須賀美術館谷内六郎グッズセットA」などのプランがある。ただし、美術館が提供している返礼品ではなく、横須賀市が提供する他の返礼品を選択しても、使い道として「美術品等取得基金」を選択すれば積み立ては可能である。

さらにこの基金の存在を周知するために行った広報として、「ロゴの作成」「チラシの作成」を行った。ロゴ（fig.1）については、横須賀美術館のVI、サイン計画を行った廣村正彰氏（廣村デザイン事務所）に依頼した。作成したロゴは横須賀美術館のホームページや、チラシに使用している。その他にも、各企画展のポスター、チラシ、DMに寄附のお願いの文言を入れ、周知を図っている。

こうして2019年度には返礼品のメニューをととのえ、新たに積立型の「美術品等取得基金」を設立し、作品購入のためのスタートを切ることになった。順調に積み立ては行われ、2020年度には次年度の作品購入の予算を計上した。積み立てた基金は購入の手続きが済んだ後、横須賀市の一般会計に繰り入れる予定である。そして2021年に開館以来初めて作品購入を行った。作品は横須賀出身の画家・矢崎千代二（1872 ～ 1947）の貴重な初期の代表作であり、1900年の第5回白馬会展に出品している《秋の園》（fig.2）を選んだ。

矢崎千代二は東京美術学校で黒田清輝に師事し、白馬会や官展を舞台に出品していた。1918年頃からはパステルに転向し、日本だけでなく、世界中を旅しながら作品を描いている。当館では油彩、パステルを含めて約100点を所蔵し、特集展示や企画展を通じて調査、紹介に努めてきた。そうした過程で所蔵家から本作の所在を教えていただき、当館に長く寄託していた。

購入作品は2022年の4月9日から6月26日まで開催した第1期所蔵品展で「新収蔵記念　生誕150年　矢崎千代二」と題して、所蔵作品も加えた特集展示でお披露目をした。その際には、寄附をしてくださった方々には展覧会の案内を送付し、お知らせをした。展覧会では、《秋の園》を紹介すると同時に、これまで蓄積してきた矢崎コレクションも展示した。そして多くの方々のご理解、ご協力を得て作品購入に至った経緯や、このふるさと納税を活用した基金についてもパネルの掲出、チラシやホームページを活用してお伝えしている。

今年度も継続して予算を計上し、第二弾の購入についても着々と進めており、順調に運べば次年度の早い段階で再び、新購入作品を展示でお披露目する予定である。今後も継続してこの寄附の仕組みを活用し、美術館のコレクション充実を進め、市民の方々に還元していきたく、今回の作品購入は、その計画の第一歩である。

＊本稿は『美術の窓』2022年4月号に掲載した内容に、加筆修正したものである。

---

[i] 横須賀美術館のホームページ。https://www.yokosuka-moa.jp/outline/furusato.html（2022年11月29日現在）。

fig.1 ふるさと納税の寄附のロゴ。

fig.2 矢崎千代二《秋の園》1900年、油彩・カンヴァス、横須賀美術館蔵

横須賀美術館年報　令和 3 年度版

編　集：横須賀美術館（日野原清水、林田ゆみ子）
発行者：横須賀美術館
〒239-0813 横須賀市鴨居4-1　電話 046-845-1211
印　刷：文明堂印刷株式会社
発　行：令和4年10月31日

横須賀
美術館
YOKOSUKA
MUSEUM OF ART